

平成27年度岡山県学力・学習状況調査 調査結果報告書

倉敷市教育委員会 指導課

平成27年8月

目 次

	ページ
1 調査目的	1
2 調査対象者・実施日・問題作成の基本方針	1
3 倉敷市の学力の特徴	2
(1) 4教科・各教科の県平均正答率との比較	3
(2) 基礎問題・活用問題の県平均正答率との比較	3
(3) 各教科の正答数分布について	5
(4) 各教科のカテゴリー別正答率について	7
(5) 平均正答率が高い問題・低い問題	11
(6) 設問別の比較・出題のねらい	15
(7) 4教科の調査問題・正答・平均正答率	23
4 倉敷市の学習状況の特徴	77
(1) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問	78
(2) 自分自身について	80
(3) 家庭での様子について	81
(4) 学校での学習について	85
(5) その他の学習について	86
5 総括	87
(1) 学力調査の結果から	88
(2) 学習状況調査の結果から	89
(3) 考察	89
○ 倉敷市の取組	90
○ 〈参考資料〉	92

3 倉敷市の学力の特徴

市と県の平均正答率の差については、小数第2位以降の数値も反映されていることから、0.1ポイントの差異が生じている場合がある。

(1) 4教科・各教科の県平均正答率との比較 [%]

年度	4教科			国語			社会			数学			理科		
	市	県	差	市	県	差	市	県	差	市	県	差	市	県	差
H27	60.3	60.9	-0.6	62.8	62.7	+0.1	51.4	51.6	-0.2	61.8	63.4	-1.6	65.1	65.7	-0.6
H26	57.2	57.9	-0.7	67.4	67.4	0.0	53.7	53.9	-0.3	56.5	57.7	-1.3	51.4	52.4	-1.0
H25	52.5	53.2	-0.7	57.2	58.0	-0.8	61.9	62.4	-0.6	45.1	46.2	-1.1	45.7	46.0	-0.3
H24	60.2	62.1	-1.9	69.7	71.4	-1.7	56.9	58.7	-1.9	61.0	63.2	-2.2	53.0	54.9	-1.8

〈参考〉今年度公表された県立中学校・中等教育学校進学者も含めた数値 [%]

	4教科	国語	社会	数学	理科
倉敷市	61.1	63.6	52.2	62.7	65.9
岡山県	60.9	62.7	51.6	63.4	65.7
差	+0.2	+1.0	+0.6	-0.7	+0.2

○市の平均正答率は、国語では県平均を上回っている。他の3教科は、県平均をわずかに下回っている。今年度から参考として公表された、県立中学校・中等教育学校進学者も含めた数値では、数学以外の教科において、県平均を上回っている。

○4教科では、市と県との差は、昨年度より0.1ポイント改善が見られ、過去4年間で最も開きが少ない。

○社会・理科では、昨年度より県平均との差が縮まっており、数学では県平均と差が開いている。

○数学と理科は昨年度の正答率を上回っている。

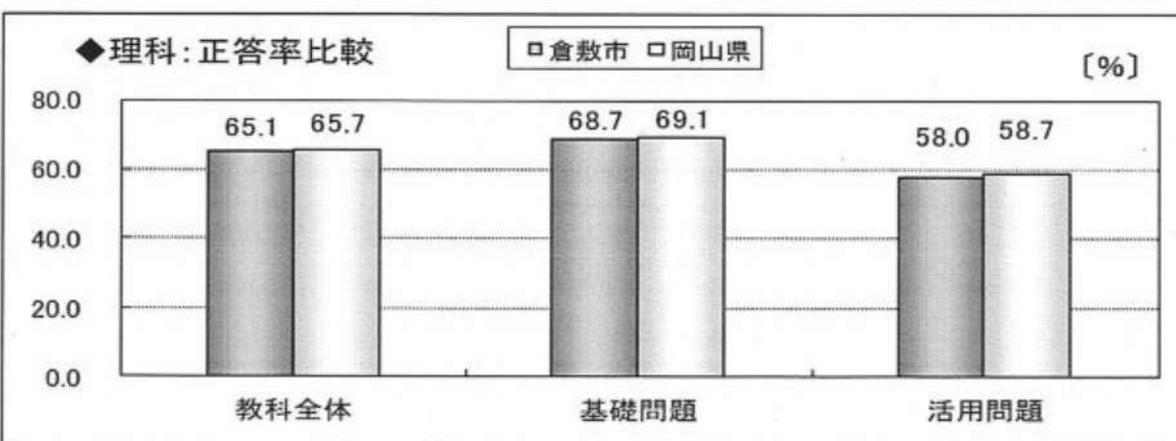
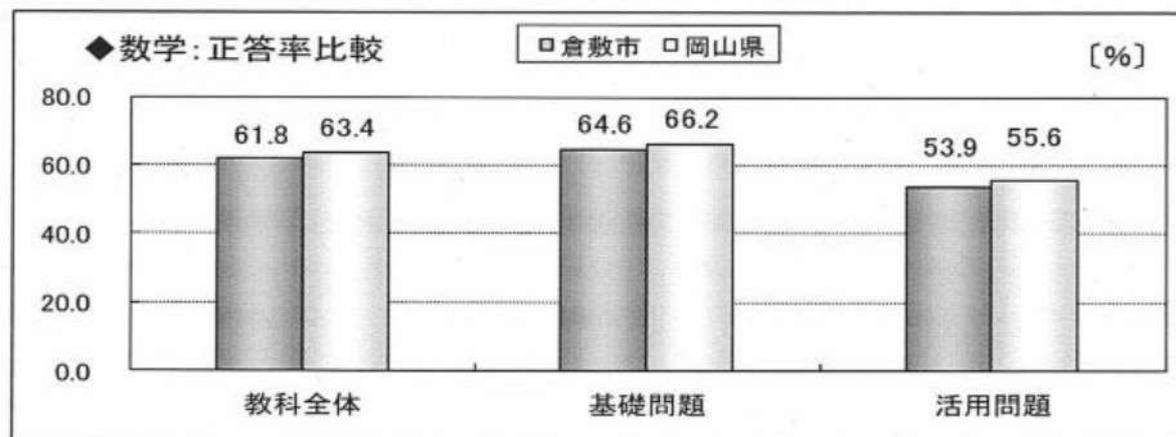
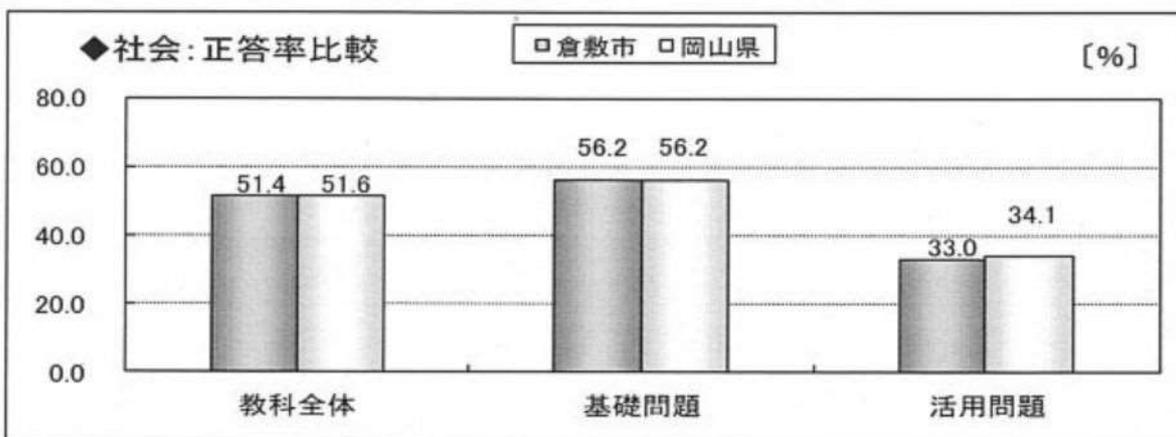
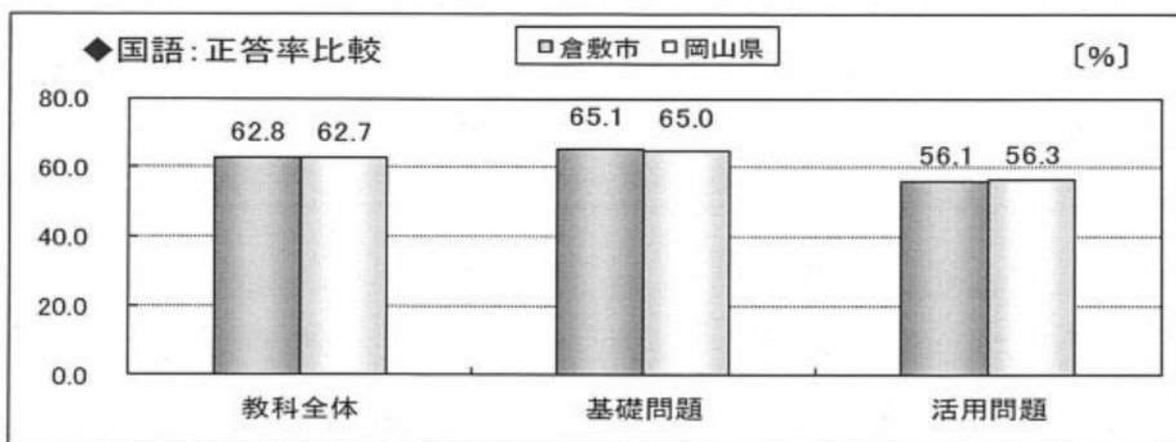
(2) 基礎問題・活用問題の県平均正答率との比較 [%]

	国語		社会		数学		理科	
	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用	基礎	活用
倉敷市平均	65.1	56.1	56.2	33.0	64.6	53.9	68.7	58.0
岡山県平均	65.0	56.3	56.2	34.1	66.2	55.6	69.1	58.7
県との差	0.2	-0.2	-0.1	-1.1	-1.6	-1.7	-0.4	-0.7

○平均正答率は、国語の基礎は、県平均を上回っている。

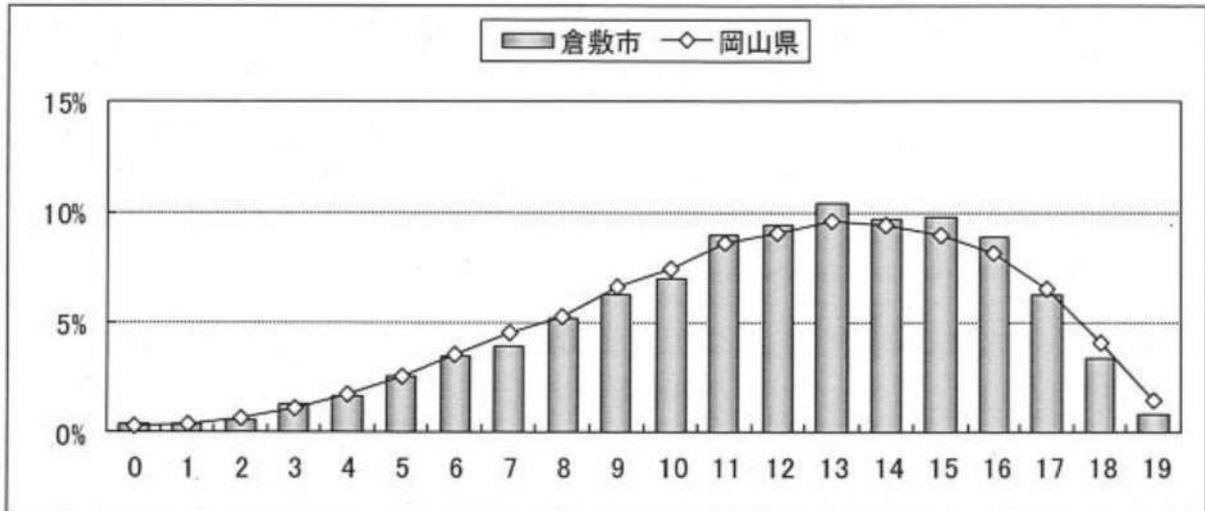
○活用において、4教科とも県平均を下回っている。

○数学の活用において、差が最も開いており、県平均を下回っている。

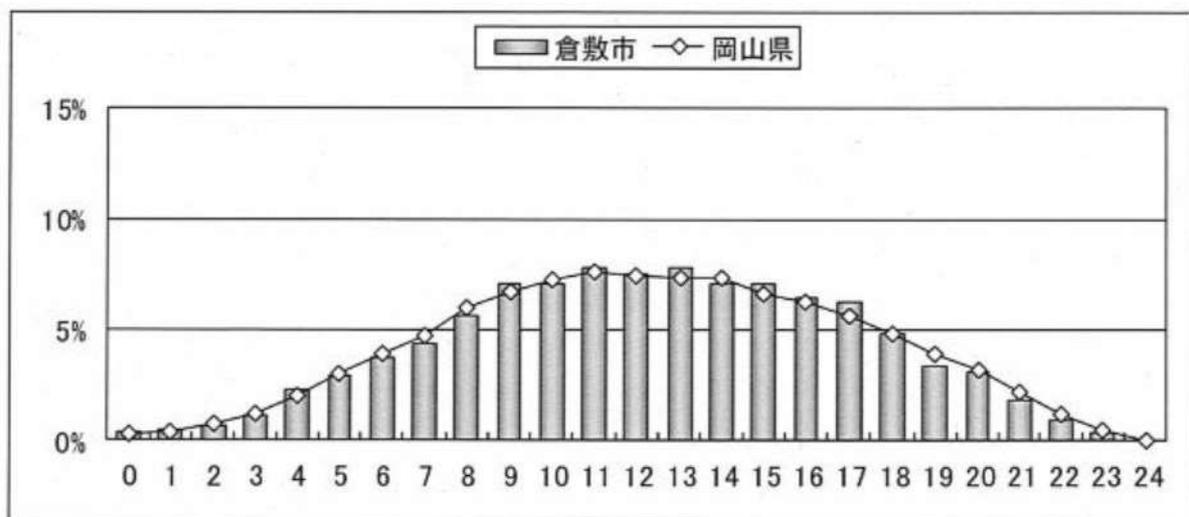


(3) 各教科の正答数分布について

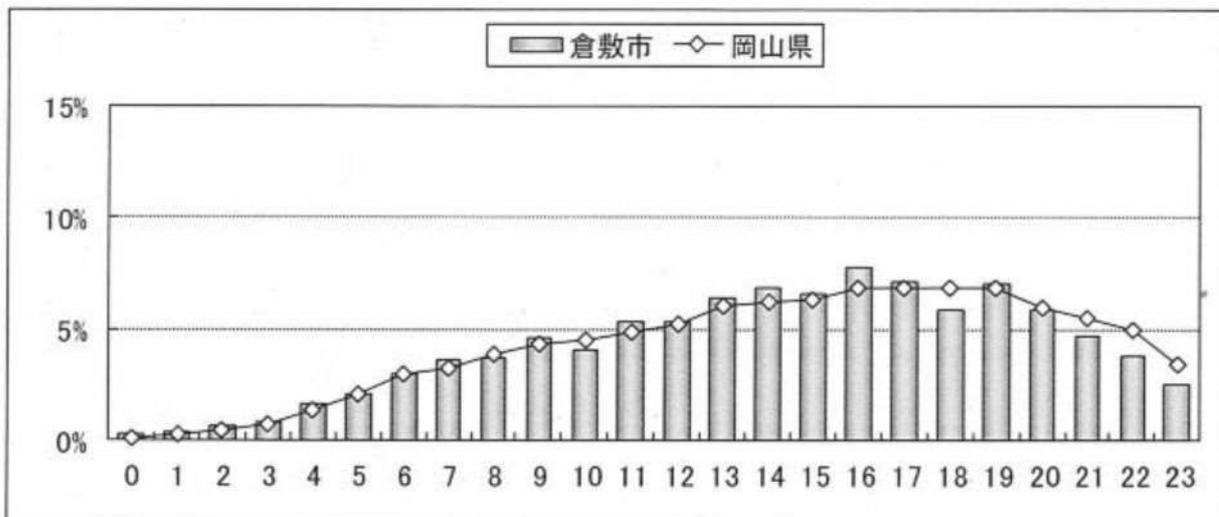
【国語】(全19問)



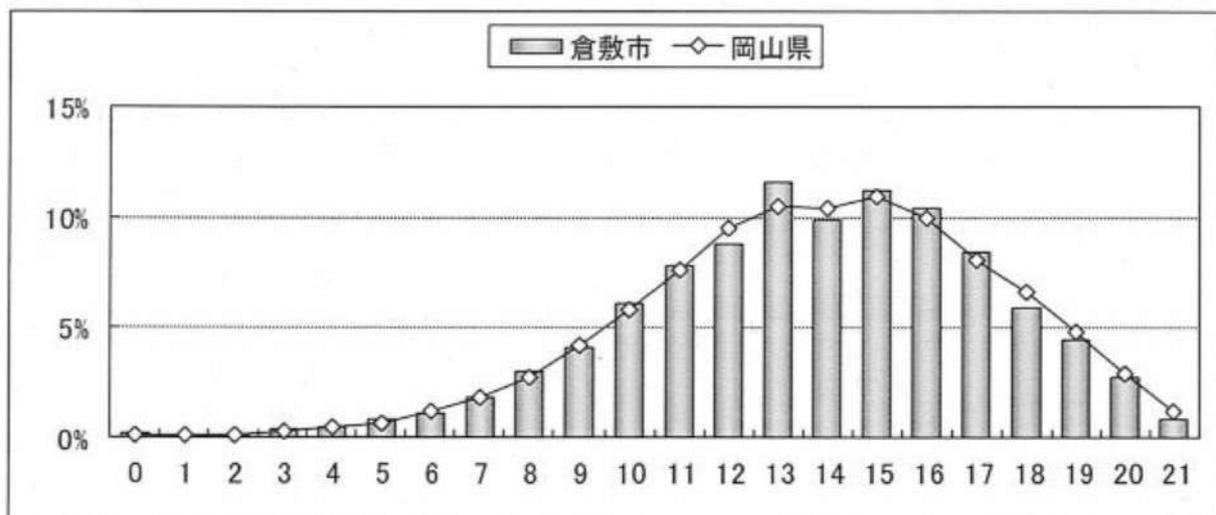
【社会】(全24問)



【数学】（全23問）



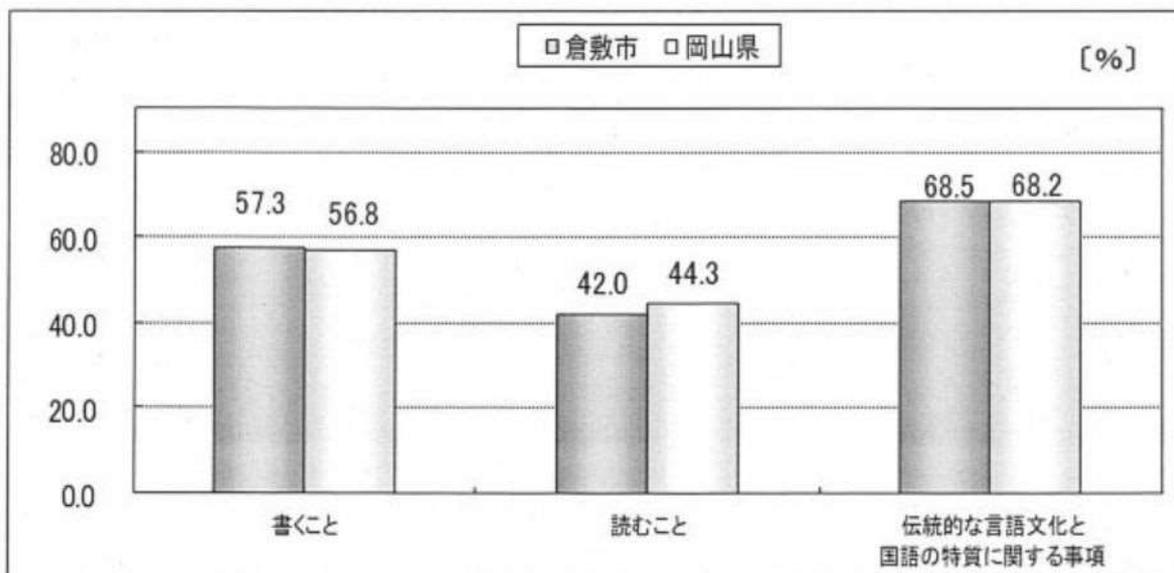
【理科】（全21問）



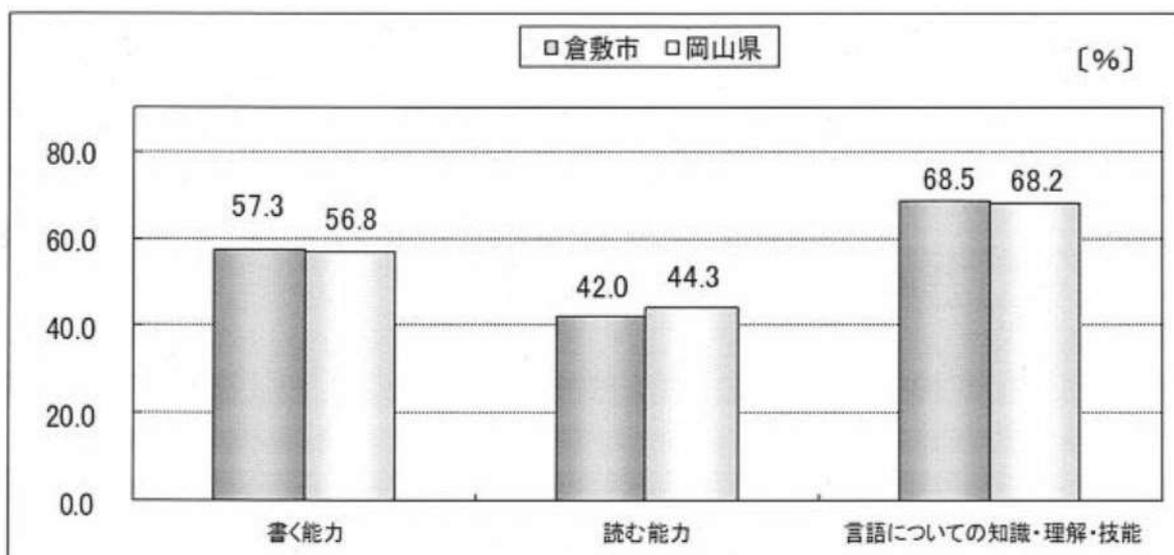
- 4教科とも、正答数分布は、県と概ね同様の傾向になっている。
- 国語については、中間層から上位層にかけての割合が県よりもやや高い。
- 社会については、中間層がやや多く、上位層がやや少ない。
- 数学については、県、市とも他教科に比べ、ややなだらかな山型になっており、上位層の割合が県よりもやや低く、中間層の割合が県よりもやや高い。
- 理科については、中間層がかなり高い山型になっており、上位層の割合が県よりもやや低く、中間層の割合が県よりもやや高い。

(4) 各教科のカテゴリ別正答率について

【国語・領域】



【国語・観点】

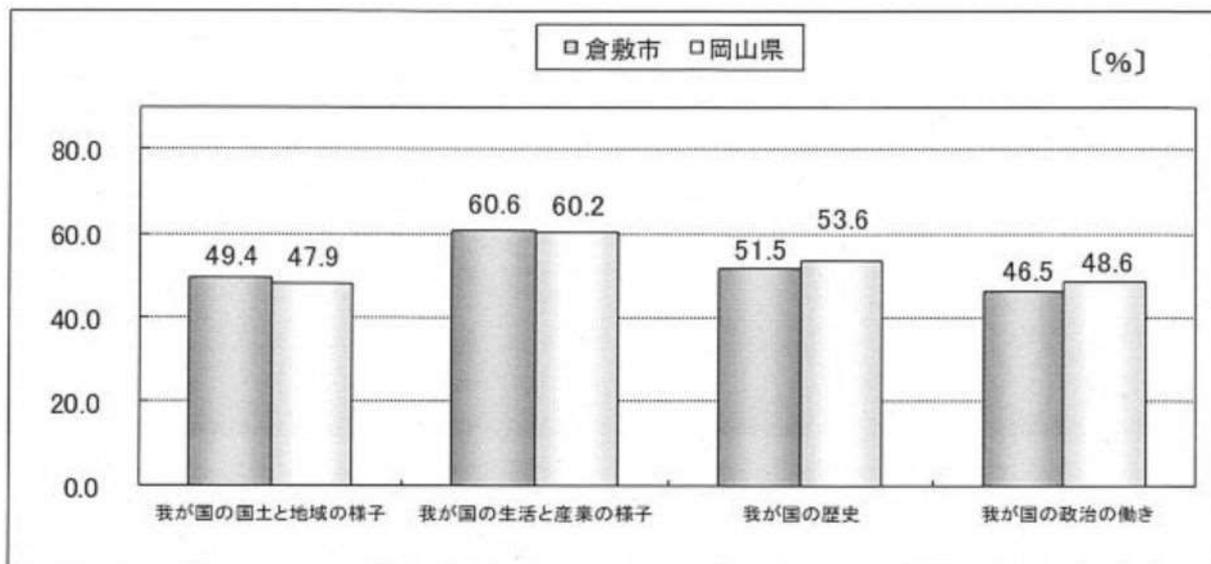


【領域】○県、市ともに、正答率の高い領域は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」であり、低い領域は、「読むこと」である。

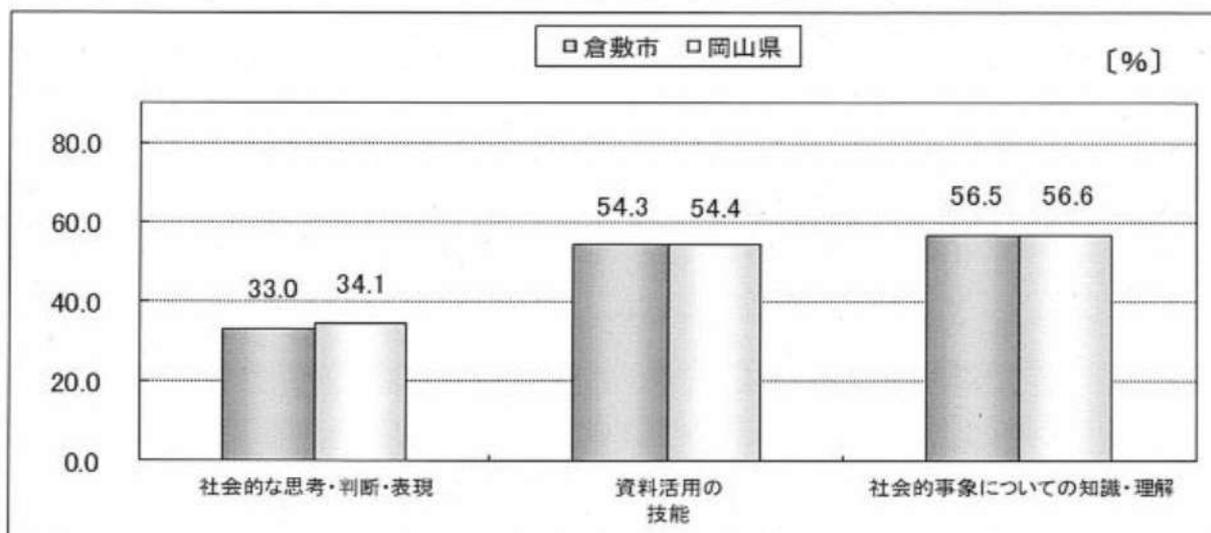
○本年度は「書くこと」と、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、県平均を上回っている。

【観点】○「読む能力」の正答率が低いとともに、県を下回っている。特に初見の文章を読んで登場人物の心情を読み取ったり、読み取ったことを基に自分の考えを書いたりすることに課題が見られる。

【社会・領域】



【社会・観点】

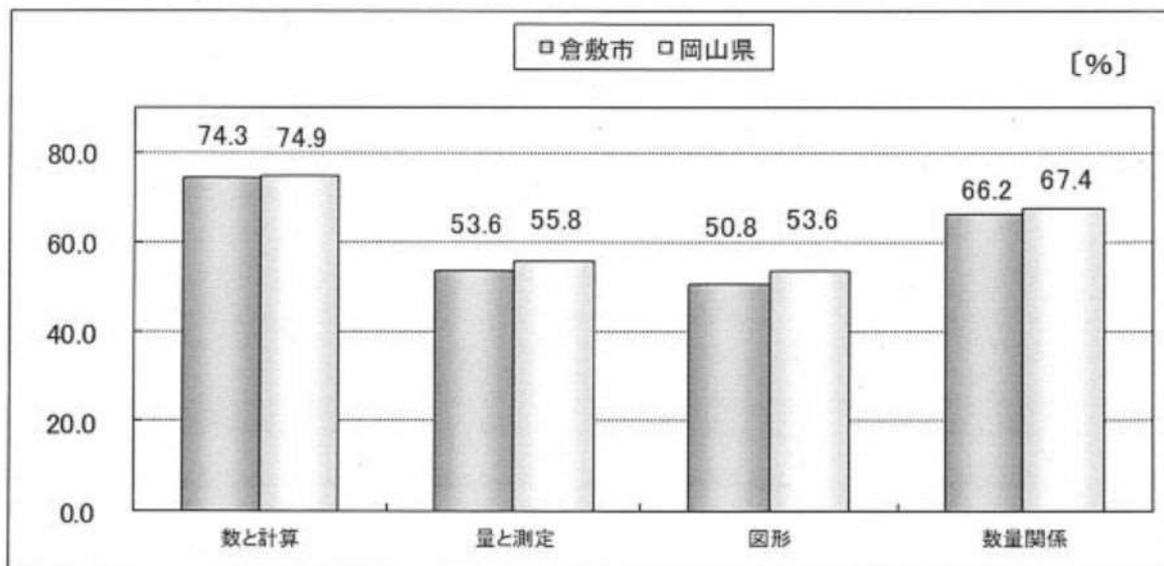


【領域】○「我が国の国土と地域の様子」と、「我が国の生活と産業の様子」の領域において本市は、県平均を上回っている。「我が国の歴史」「我が国の政治の働き」においては、県平均を2ポイント以上下回っている。

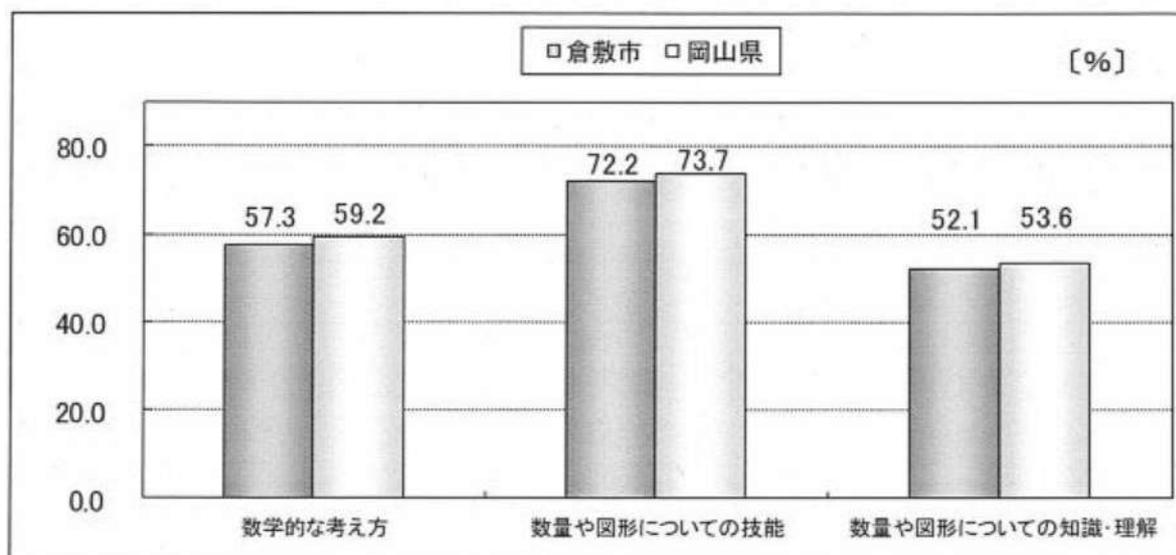
【観点】○「資料活用の技能」「社会的事象についての知識・理解」は、県の平均正答率とほぼ同じである。

○「社会的な思考・判断・表現」は、県・市ともに平均正答率が低い。

【数学・領域】



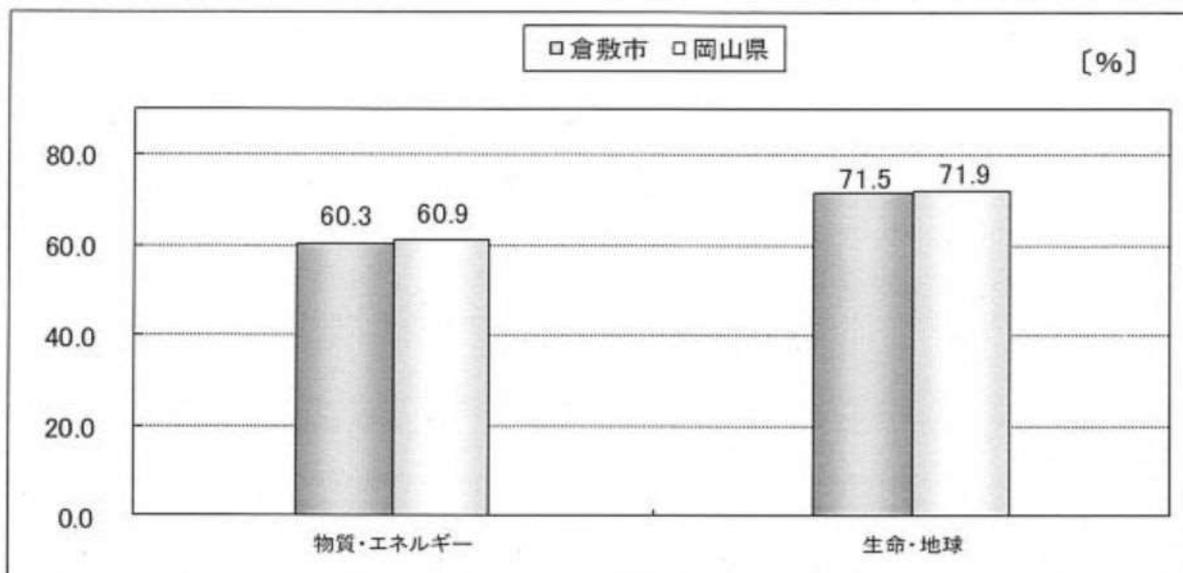
【数学・観点】



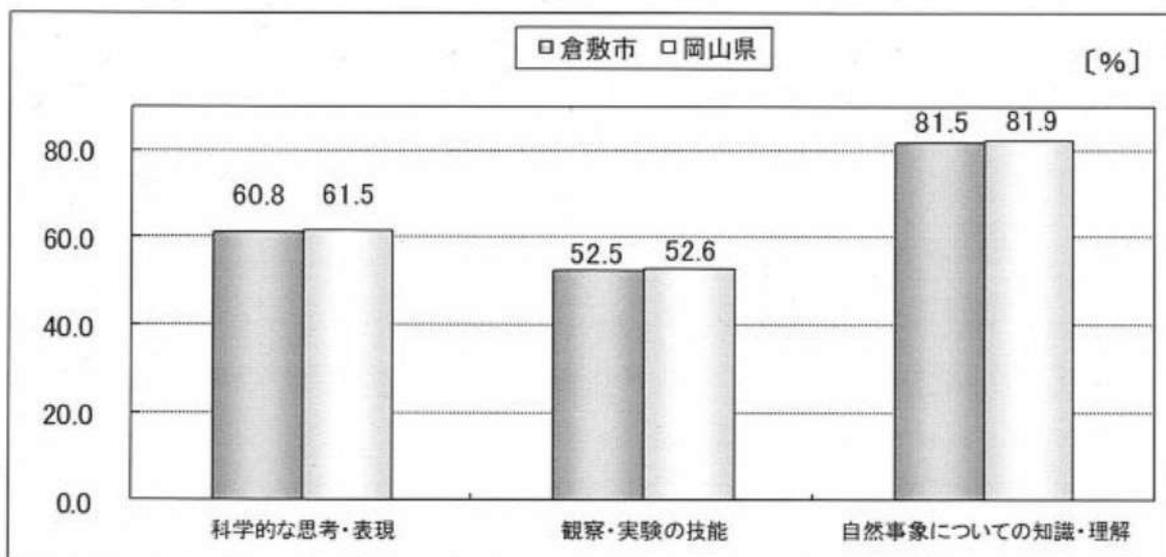
【領域】○「数と計算」は、H25 (-1.8)、H26 (-1.0) と比べて、本年度は県との差が-0.6ポイントまで縮まり、昨年度に引き続き、改善傾向にある。しかし、「図形」において逆に、H26と比べて、-2.8ポイントと開きが大きくなっている。(H26は-0.9)

【観点】○3観点とも、県平均よりやや低いですが、「数量や図形についての技能」については、H26と比べて県との差がやや縮まっている。(H26は-1.8)

【理科・領域】



【理科・観点】



【領域】○2つの領域ともに県平均をわずかに下回っている。物質とエネルギーの領域は、県との差が-0.6ポイントで、H26の-1.9ポイントに比べて改善が見られる。

【観点】○すべての観点において、県平均を下回っているが、「科学的な思考・表現」「観察・実験の技能」については、H26と比べて県との差が縮まり、差がわずかとなっている。

(5) 平均正答率が高い問題・低い問題
 ◆各教科で、平均正答率が県平均正答率より高い問題(上位3問)

国語

通し番号	大問番号	中間番号	小問番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	ウ	エ	オ							-10	10	倉敷市	県
7	1	(2)	③	☆					◎	○	漢字の書き(モウける)	62.1	55.4	6.7			25.3	28.9	
10	2	(2)		☆				◎	◎	○	主語と述語を理解することができる。	62.0	57.3	4.7			1.1	1.1	
9	2	(1)		☆					◎	○	文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	54.5	50.7	3.8			3.2	4.6	

社会

通し番号	大問番号	中間番号	小問番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	ウ	エ	オ							-10	10	倉敷市	県
1	1	(1)	①	☆					◎	○	岡山県の河川について、その名称と位置を理解している。	55.0	34.3	20.7			16.5	15.6	
5	2	(1)		☆				◎	◎	○	日本の位置について、地図を読み取ることができる。	61.3	58.3	3.1			0.8	0.8	
2	1		②	☆					◎	○	岡山県の平野について、その名称と位置を理解している。	53.3	51.7	1.6			0.8	0.8	

数学

通し番号	大問番号	中間番号	小問番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ							-10	10	倉敷市	県
3	1	(3)		☆					◎	○	減法と除法の混合した整数の計算(80-30÷5)	85.6	83.2	2.5			0.6	0.5	
6	2	(1)		☆						◎	数量を等分したときの1つ分の量は分数で表せることを理解している。	49.3	47.8	1.5			5.0	5.8	

理科

通し番号	大問番号	中間番号	小問番号	問題形式			観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ							-10	10	倉敷市	県
1	1	(1)		☆						◎	サクラの1年間のようすがわかる。	60.3	58.1	2.2			0.4	0.2	
6	2	(2)		☆					◎	○	乾電池のつなぎ方から、もっとも速く走る軍がわかる。	46.1	45.1	1.0			0.5	0.3	
10	3	(3)								◎	月が光る理由を理解し、月の見え方を推測することができる。	68.6	67.7	0.9			1.7	1.7	

◆各教科で、平均正答率が高い問題(上位3問)
国語

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	ウ							エ	オ	-10	10
4	1	(1)	④	☆				○		漢字の読み(目次)	98.6	98.3	0.3			0.5	0.5
3	1	(1)	③	☆				○		漢字の読み(招待)	97.9	97.9	0.0			0.9	0.9
2	1	(1)	②	☆				○		漢字の読み(収納)	91.6	93.1	-1.5			2.5	1.9

社会

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	ウ							エ	オ	-10	10
15	5	(2)	①	☆				○		長篠の戦いについて理解している。	93.4	93.8	-0.4			1.0	0.8
6	2	(2)		☆				○		大韓民国の名称と位置を理解している。	76.2	77.2	-1.0			6.3	5.4
11	4	(1)		☆				○		自動車生産の工程の様子について、資料をもとに写真 を合致することができる。	75.2	74.1	1.1			1.0	0.9

数学

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ							ウ	エ	-10	10
2	1	(2)		☆				○		小数の加法(10.5-2.9)	93.3	93.8	-0.5			0.5	0.3
4	1	(4)		☆				○		分数の除法(約分あり)の計算(3/4÷3/2)	92.4	93.3	-0.9			1.5	1.4
1	1	(1)		☆				○		繰り下がりのある減法(200-93)	89.9	91.1	-1.2			0.5	0.3

理科

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ							ウ	エ	-10	10
1	4	(1)		☆				○		メスシリンダーを使うときの液面の読み方がわかる。	96.5	96.2	0.3			0.5	0.4
6	2	(1)		☆				○		日光が当たらないと光電池はモーターを回せないことが わかる。	91.3	91.0	0.3			0.3	0.2
10	1	(2)		☆				○		ヘチマの実の中には種ができることがわかる。	90.2	90.2	0.1			1.6	1.8

◆各教科で、平均正答率が県平均正答率より低く、その差が大きい問題(上位3問)

国語

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	ウ	エ	オ						-10	10	
8	1	(2)	④		☆					◎	41.1	46.2	-5.1			18.7	15.8
11	2	(3)	①	☆					◎	◎	43.1	46.1	-3.0			1.6	1.4
18	4	(1)		☆				◎	◎		24.4	26.8	-2.4			5.3	4.6

社会

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	ウ	エ	オ						-10	10	
21	6	(3)		☆					◎	◎	47.5	54.2	-6.6			3.4	2.8
22	6	(4)			☆				◎	◎	24.6	29.9	-5.3			25.1	24.1
18	5	(4)			☆		◎			◎	29.9	32.8	-2.9			11.9	11.9

数学

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ						-10	10	
9	2	(4)	①		☆				◎	◎	42.0	46.9	-4.9			5.0	5.0
12	3	(1)		☆					◎	◎	49.3	53.2	-3.9			1.3	1.1
18	5	(3)	④⑤		☆					◎	42.9	46.2	-3.3			9.8	9.7

理科

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点			基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	イ	ウ	エ						-10	10	
12	3	(5)		☆						◎	70.5	74.1	-3.6			0.9	0.9
15	4	(3)		☆					◎	◎	57.8	60.3	-2.5			0.8	0.7
19	5	(1)		☆						◎	80.4	82.5	-2.1			0.8	0.7

◆各教科で、平均正答率が低い問題(下位3問)

国語

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	ウ	エ							オ	-10	
18	4	(1)		☆				◎	○		24.4	26.8	-2.4			5.3	4.6
16	3	(3)		☆		◎			○	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	27.6	27.9	-0.3			3.4	3.0
8	1	(2)	④	☆					◎	漢字の書き(トウヒヨウする)	41.1	46.2	-5.1			18.7	15.8

社会

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	ウ	エ							オ	-10	
10	3	(3)			☆			◎	○	同じ季節でも地域によって気候が異なる理由を、表現することができる。	3.9	4.0	-0.1			16.0	16.3
7	2	(3)		☆				◎	○	北方領土の構成や背景を理解している。	20.9	23.8	-2.9			1.1	1.0
22	6	(4)		☆					◎	開拓自主権について理解している。	24.6	29.9	-5.3			25.1	24.1

数学

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	イ	ウ							エ	-10	
22	7	(2)			☆			◎	○	縮図や拡大図について理解し、モデル化された図から岡山県の天守閣の高さを求めることができる。	20.2	22.2	-2.1			16.5	16.0
14	4			☆					◎	反比例の意味について理解している。	32.9	35.7	-2.7			0.9	0.7
11	2	(5)		☆					◎	単位数あたりの値を求める式を選択できる。	36.6	38.2	-1.6			0.6	0.5

理科

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式			観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	イ	ウ							エ	-10	
12	5	(3)		☆				◎	○	まわりの空気とつぼの中の空気中の気体の体積の割合がわかる。	29.6	29.4	0.2			1.2	1.0
15	4	(2)		☆				◎	○	てのはたらきから、水の重さの求め方がわかる。	31.9	32.5	-0.7			1.4	1.4
19	4	(5)	①		☆				◎	溶解度のグラフから、溶け残ったものがミョウバンであることを説明できる。	31.9	33.5	-1.5			6.1	6.2

(6) 設問別比較・出題のねらい

国語(設問順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点			基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	記述	ウ	エ	オ							-10	10		倉敷市
1	1	(1)	①	☆				◎	漢字の読み(敬う)	81.1	81.2	-0.2	9			3.4	3.7	
2	1	(1)	②	☆				◎	漢字の読み(収納)	91.6	93.1	-1.5	6			2.5	1.9	
3	1	(1)	③	☆				◎	漢字の読み(招待)	97.9	97.9	0.0	10			0.9	0.9	
4	1	(1)	④	☆				◎	漢字の読み(目次)	98.6	98.3	0.3	12			0.5	0.5	
5	1	(2)	①	☆				◎	漢字の書き(イワラ)	51.5	53.9	-2.4	4			12.6	11.1	
6	1	(2)	②	☆				◎	漢字の書き(ヒキいる)	61.0	60.9	0.1	11			20.7	20.6	
7	1	(2)	③	☆				◎	漢字の書き(モウける)	62.1	55.4	6.7	19			25.3	28.9	
8	1	(2)	④	☆				◎	漢字の書き(トウヒヨウする)	41.1	46.2	-5.1	1			18.7	15.8	
9	2	(1)		☆				◎	文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	54.5	50.7	3.8	17			3.2	4.6	
10	2	(2)		☆				◎	主題と述語を理解することができる。	62.0	57.3	4.7	18			1.1	1.1	
11	2	(3)	①	☆				◎	故事成語を理解することができる。	43.1	46.1	-3.0	2			1.6	1.4	
12	2	(3)	②	☆				◎	慣用句を理解することができる。	77.9	77.2	0.6	13			0.9	0.8	
13	3	(1)		☆				◎	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	51.0	50.2	0.8	14			4.0	4.1	
14	3	(2)	①	☆				◎	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	65.4	64.5	0.9	15			2.2	2.1	
15	3	(2)	②	☆				◎	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	77.2	75.9	1.3	16			6.3	6.7	
16	3	(3)	☆					◎	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	27.6	27.9	-0.3	8			3.4	3.0	
17	3	(4)		☆				◎	目的に応じて文章と意見を読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	65.1	65.6	-0.5	7			8.4	8.9	
18	4	(1)		☆				◎	文章の内容を整理して、時系列を正しく理解することができる。	24.4	26.8	-2.4	3			5.3	4.6	
19	4	(2)		☆				◎	文章を読んでうかんだ疑問点について、新たに資料を使って自分で調べて学ぶことができる。	59.5	61.8	-2.3	5			18.8	17.5	
											62.8	62.7	0.1					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

教科の正答率

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(ウ)書く能力、(エ)読む能力、(オ)言語についての知識・理解・技能

国語(県との差 降順)

選し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点			基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	記述	ウ	エ	オ							-10	10		倉敷市
7	1	(2)	③	☆				◎	○	漢字の書き(モウける)	62.1	55.4	6.7	19		25.3	28.9	
10	2	(2)		☆				◎	○	主語と述語を理解することができる。	62.0	57.3	4.7	18		1.1	1.1	
9	2	(1)		☆				◎	○	文の意味のつながりを考えて、一文を二文に分けて書くことができる。	54.5	50.7	3.8	17		3.2	4.6	
15	3	(2)	②		☆				○	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	77.2	75.9	1.3	16		6.3	6.7	
14	3	(2)	①	☆				◎	○	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	65.4	64.5	0.9	15		2.2	2.1	
13	3	(1)			☆			◎	○	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	51.0	50.2	0.8	14		4.0	4.1	
12	2	(3)	②	☆				◎	○	慣用句を理解することができる。	77.9	77.2	0.6	13		0.9	0.8	
4	1	(1)	④		☆			◎	○	漢字の読み(目次)	98.6	98.3	0.3	12		0.5	0.5	
6	1	(2)	②	☆				◎	○	漢字の書き(ヒキいる)	61.0	60.9	0.1	11		20.7	20.6	
3	1	(1)	③	☆				◎	○	漢字の読み(招待)	97.9	97.9	0.0	10		0.9	0.9	
1	1	(1)	①	☆				◎	○	漢字の読み(敬う)	81.1	81.2	-0.2	9		3.4	3.7	
16	3	(3)		☆					○	目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考へて書くことができる。	27.6	27.9	-0.3	8		3.4	3.0	
17	3	(4)			☆			◎	○	目的に応じて文章と意見を読み取り、条件に沿ってまとめを書くことができる。	65.1	65.6	-0.5	7		8.4	8.9	
2	1	(1)	②	☆				◎	○	漢字の読み(収録)	91.6	93.1	-1.5	6		2.5	1.9	
19	4	(2)		☆				◎	○	文章を読んでうかんだ疑問点について、新たに資料を使って自分で調べて学習することができる。	59.5	61.8	-2.3	5		18.8	17.5	
5	1	(2)	①	☆				◎	○	漢字の書き(イワラ)	51.5	53.9	-2.4	4		12.6	11.1	
18	4	(1)		☆				◎	○	文章の内容を整理して、時系列を正しく理解することができる。	24.4	26.8	-2.4	3		5.3	4.6	
11	2	(3)	①	☆				◎	○	故事成語を理解することができる。	43.1	46.1	-3.0	2		1.6	1.4	
8	1	(2)	④	☆				◎	○	漢字の書き(トウヒョウする)	41.1	46.2	-5.1	1		18.7	15.8	
											62.8	62.7	0.1					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

教科の正答率

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(ウ)書く能力。(エ)読む能力。(オ)言語についての知識・理解・技能

社会(設問順)

通し 番号	大問 番号	中問 番号	小問 番号	問題形式		観点		基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率
				選択	短答 記述	イ	ウ								-10	10	
1	1	(1)	①	☆				◎		岡山県の河川について、その名称と位置を理解している。	55.0	34.3	20.7	24		16.5	15.6
2	1		②	☆				◎		岡山県の平野について、その名称と位置を理解している。	53.3	51.7	1.6	22		0.8	0.8
3	1	(2)	①	☆				◎		岡山県の周辺の県について、その名称と位置を理解している。	71.6	73.4	-1.8	7		0.4	0.3
4	1		②	☆				◎		岡山県の周辺の海洋について、その名称を理解している。	67.5	69.0	-1.5	11		9.2	9.1
5	2	(1)		☆				◎		日本の位置について、地図を読み取ることができる。	61.3	58.3	3.1	23		0.8	0.8
6	2	(2)		☆				◎		大韓民国の名称と位置を理解している。	76.2	77.2	-1.0	13		6.3	5.4
7	2	(3)		☆				◎		北方領土の構成や背景を理解している。	20.9	23.8	-2.9	4		1.1	1.0
8	3	(1)		☆				◎		日本海側の気温と降水量のグラフを選択することができる。	32.2	34.0	-1.8	8		1.1	1.1
9	3	(2)		☆	☆				○	出雲地方に松林が多く見られる理由を、表現することができる。	52.0	53.7	-1.8	10		8.9	8.7
10	3	(3)		☆	☆				○	同じ季節でも地域によって気候が異なる理由を、表現することができる。	3.9	4.0	-0.1	16		16.0	16.3
11	4	(1)		☆				◎		自動車生産の工程の様子について、資料をもとに写真を合致することができる。	75.2	74.1	1.1	20		1.0	0.9
12	4	(2)		☆				◎		自動車の関連工場の役割について理解している。	71.8	71.7	0.1	18		1.1	1.0
13	4	(3)		☆	☆					豊田市の工業生産の様子について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	34.8	34.7	0.0	17		9.3	9.7
14	5	(1)		☆				◎		戦国大名の勢力図をもとに、織田信長の領土拡大の状況について把握することができる。	69.2	71.0	-1.8	9		1.9	1.5
15	5	(2)	①	☆				◎		長篠の戦いについて理解している。	93.4	93.8	-0.4	15		1.0	0.8
16	5		②	☆				◎		長篠の戦いについて理解している。	63.1	65.4	-2.3	6		1.3	1.0
17	5	(3)		☆				◎		豊臣秀吉の政策や功績について理解している。	36.9	36.4	0.5	19		1.6	1.4
18	5	(4)		☆	☆				○	豊臣秀吉による戦地の目的について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	29.9	32.8	-2.9	3		11.9	11.9
19	6	(1)		☆				◎		日清戦争について理解している。	54.6	53.1	1.5	21		10.7	9.1
20	6	(2)		☆	☆				○	不平等条約による影響について、従軍裁判権の側面から考察し、その内容を表現することができる。	44.4	45.3	-0.9	14		9.1	8.2
21	6	(3)		☆				◎		陸奥宗光の功績について理解している。	47.5	54.2	-6.6	1		3.4	2.8
22	6	(4)		☆				◎		関根自主権について理解している。	24.6	29.9	-5.3	2		25.1	24.1
23	7	(1)		☆				◎		国金の働きと国民との関わりについて理解している。	38.1	40.9	-2.8	5		3.8	3.4
24	7	(2)		☆				◎		裁判員制度の導入の目的について理解している。	55.0	56.3	-1.3	12		4.3	3.9

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

教科の正答率

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)社会的な思考・判断・表現、(ウ)資料活用の技能、(エ)社会的現象についての知識・理解

社会(県との差 降順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点		基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答 記述	イ	ウ							エ	10	10	倉敷市
1	1	(1)	①	☆				○	岡山県の河川について、その名称と位置を理解している。	55.0	34.3	20.7	24			16.5	15.6
5	2	(1)		☆		◎		○	日本の位置について、地図を読み取ることができる。	61.3	58.3	3.1	23			0.8	0.8
2	1		②	☆				○	岡山県の平野について、その名称と位置を理解している。	53.3	51.7	1.6	22			0.8	0.8
19	6	(1)		☆				○	日清戦争について理解している。	54.6	53.1	1.5	21			10.7	9.1
11	4	(1)		☆				○	自動車生産の工程の様子について、資料をもとに写真を合成することができる。	75.2	74.1	1.1	20			1.0	0.9
17	5	(3)		☆				○	豊臣秀吉の政策や功績について理解している。	36.9	36.4	0.5	19			1.6	1.4
12	4	(2)		☆				○	自動車の関連工場の役割について理解している。	71.8	71.7	0.1	18			1.1	1.0
13	4	(3)			☆	◎		○	豊田市の工業生産の様子について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	34.8	34.7	0.0	17			9.3	9.7
10	3	(3)			☆	◎		○	同じ季節でも地域によって気候が異なる理由を、表現することができる。	3.9	4.0	-0.1	16			16.0	16.3
15	5	(2)	①	☆				○	長篠の戦いについて理解している。	93.4	93.8	-0.4	15			1.0	0.8
20	6	(2)			☆	◎		○	不平等条約による影響について、領事裁判権の側面から考察し、その内容を表現することができる。	44.4	45.3	-0.9	14			9.1	8.2
6	2	(2)		☆				○	大韓民国の名称と位置を理解している。	76.2	77.2	-1.0	13			6.3	5.4
24	7	(2)		☆				○	裁判員制度の導入の目的について理解している。	55.0	56.3	-1.3	12			4.3	3.9
4	1		②	☆				○	岡山県の周辺の海洋について、その名称を理解している。	67.5	69.0	-1.5	11			9.2	9.1
9	3	(2)			☆	◎		○	出雲地方に茶地松が多く見られる理由を、表現することができ。	52.0	53.7	-1.8	10			8.9	8.7
14	5	(1)		☆			◎	○	戦国大名の勢力図をもとに、織田信長の領土拡大の状況について把握することができる。	69.2	71.0	-1.8	9			1.9	1.5
8	3	(1)		☆			◎	○	日本海側の気温と降水量のグラフを選択することができる。	32.2	34.0	-1.8	8			1.1	1.1
3	1	(2)	①	☆				○	岡山県の周辺の県について、その名称と位置を理解している。	71.6	73.4	-1.8	7			0.4	0.3
16	5		②	☆				○	長篠の戦いについて理解している。	63.1	65.4	-2.3	6			1.3	1.0
23	7	(1)		☆				○	国会の働きと国民との関わりについて理解している。	38.1	40.9	-2.8	5			3.8	3.4
7	2	(3)			☆			○	北方領土の構成や背景を理解している。	20.9	23.8	-2.9	4			1.1	1.0
18	5	(4)			☆	◎		○	豊臣秀吉による倭寇の目的について、複数の資料をもとに考察し、その内容を表現することができる。	29.9	32.8	-2.9	3			11.9	11.9
22	6	(4)		☆				○	関税自主権について理解している。	24.6	29.9	-5.3	2			25.1	24.1
21	6	(3)		☆				○	陸奥宗光の功績について理解している。	47.5	54.2	-6.6	1			3.4	2.8
									教科の正答率	51.4	51.6	-0.3					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)社会的な思考・判断・表現、(ウ)資料活用の技能、(エ)社会的現象についての知識・理解

数学(設問順)

通し 番号	大問 番号	中問 番号	小問 番号	問題形式		観点			基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ	ウ								エ	-10		10
1	1	(1)		☆			◎		○		繰り下がりのある減法(200-93)	89.9	91.1	-1.2	15		0.5	0.3	
2	1	(2)		☆			◎		○		小数の加法(10.5+2.9)	93.3	93.8	-0.5	20		0.5	0.3	
3	1	(3)		☆			◎		○		減法と除法の混合した整数の計算(80-30÷5)	85.6	83.2	2.5	23		0.6	0.5	
4	1	(4)		☆			◎		○		分数の除法(約分あり)の計算(3/4÷3/2)	92.4	93.3	-0.9	18		1.5	1.4	
5	1	(5)		☆			◎		○		減法と乗法の混合した、整数と小数と分数の計算 (1-0.5×1/3)	59.1	59.3	-0.2	21		7.9	6.7	
6	2	(1)		☆				◎	○		数量を等分したときの1つ分の量は分数で表せること を理解している。	49.3	47.8	1.5	22		5.0	5.8	
7	2	(2)	☆				◎		○		展開図から、組み立てたときにできる立体の展開図を 選択できる。	75.8	77.6	-1.8	12		0.5	0.3	
8	2	(3)	☆				◎		○		メートル法の単位のしくみについて理解し、最も近い 層を選択できる。	56.0	58.0	-1.9	10		0.7	0.7	
9	2	(4)	①	☆			◎		○		円柱の展開図から、側面の長方形の横の長さを求め ることができる。	42.0	46.9	-4.9	1		5.0	5.0	
10	2	(4)	②	☆			◎		○		円柱の展開図から、組み立てたときにできる円柱の 体積を求めることができる。	51.8	54.7	-2.9	4		7.3	6.4	
11	2	(5)		☆				◎	○		単位数あたりの値を求める式を選択できる。	36.6	38.2	-1.6	14		0.6	0.5	
12	3	(1)		☆			◎		○		比を用いて、全体の量から一方の量を求める式を選 択できる。	49.3	53.2	-3.9	2		1.3	1.1	
13	3	(2)		☆			◎		○		柱状グラフから、累積度数を読み取ることができる。	86.2	87.9	-1.7	13		0.9	0.7	
14	4			☆				◎	○		反比例の意味について理解している。	32.9	35.7	-2.7	5		0.9	0.7	
15	5	(1)			☆		◎		○		2つの三角形に分けて、ひし形の面積を求める考え方 について説明することができる。	65.2	66.4	-1.2	16		7.4	7.3	
16	5	(2)		☆			◎		○		ひし形を長方形に変形して、ひし形の面積を求める考 え方を表している式を選択できる。	70.5	72.4	-1.9	11		1.5	1.2	
17	5	(3)	②③	☆			◎		○		ひし形の面積の求め方について、等積変形を用いら れていることを説明することができる。	51.9	54.3	-2.3	8		8.3	7.9	
18	5	(3)	④⑤	☆			◎		○		ひし形を二等辺三角形に変形して求める考え方の説 明を、言葉や式を用いて完成させることができる。	42.9	46.2	-3.3	3		9.8	9.7	
19	6	(1)		☆			◎		○		2つの折れ線グラフを読み取ることができる。	76.7	77.7	-1.0	17		0.8	0.8	
20	6	(2)		☆				◎	○		場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解し ている。	61.8	64.2	-2.4	7		1.9	1.8	
21	7	(1)		☆			◎		○		線対称な図形といえる家紋を選択し、その図形の対 称の軸の本数を求めることができる。	65.1	67.6	-2.5	6		1.6	1.5	
22	7	(2)		☆			◎		○		展開図や拡大図について理解し、モデル化された図か ら岡山城の天守閣の高さを求めることができる。	20.2	22.2	-2.1	9		16.5	16.0	
23	8				☆		◎		○		規則的に並んだ正方形の棋の枚数について、10番目 の図の枚数の求め方について説明することができる。	66.2	66.7	-0.5	19		13.1	13.8	
												61.8	63.4	-1.6					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています

教科の正答率

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ) 数学的な考え方。(ウ) 数量や図形についての技能。(エ) 数量や図形についての知識・理解

数学(県との差 降順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点			基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率
				選択	短答	記述	イ	ウ							エ	-10	
3	1	(3)		☆			◎	◎	○	減法と除法の混合した整数の計算(80-30÷6) 数量を等分したときの1つ分の量は分数で表せることを理解している。	85.6	83.2	2.5	23		0.6	0.5
6	2	(1)		☆			◎	◎	○	減法と除法の混合した、整数と小数と分数の計算(1-0.5×1/3) 小数の加法(10.5+2.9)	49.3	47.8	1.5	22		5.0	5.8
5	1	(5)		☆			◎	◎	○	規則的に並んだ正方形の紙の枚数について、10番目の紙の枚数の求め方について説明することができる。	59.1	59.3	-0.2	21		7.9	6.7
2	1	(2)		☆			◎	◎	○	分数の除法(約分あり)の計算(3/4÷3/2)	93.3	93.8	-0.5	20		0.5	0.3
23	8				☆		◎	◎	○	2つの折れ線グラフを読み取ることができる。	66.2	66.7	-0.5	19		13.1	13.8
4	1	(4)		☆			◎	◎	○	2つの三角形に分けて、ひし形の面積を求める考え方について説明することができる。	92.4	93.3	-0.9	18		1.5	1.4
19	6	(1)		☆			◎	◎	○	繰り下がりのある減法(200-93)	76.7	77.7	-1.0	17		0.8	0.8
15	5	(1)		☆			◎	◎	○	単位量あたりの値を求める式を選択できる。	65.2	66.4	-1.2	16		7.4	7.3
1	1	(1)		☆			◎	◎	○	柱状グラフから、累積度数を読み取ることができる。	89.9	91.1	-1.2	15		0.5	0.3
11	2	(5)		☆			◎	◎	○	展開図から、組み立てたときにできる立体の見取図を選択できる。	36.6	38.2	-1.6	14		0.6	0.5
13	3	(2)		☆			◎	◎	○	ひし形を長方形に変形して、ひし形の面積を求める考え方を表している式を選択できる。	86.2	87.9	-1.7	13		0.9	0.7
7	2	(2)		☆			◎	◎	○	メートル法の単位のしくみについて理解し、最も近い量を選択できる。	75.8	77.6	-1.8	12		0.5	0.3
16	5	(2)		☆			◎	◎	○	楕圓や弧大園について理解し、モデル化された図から岡山城の天守閣の高さを求めることができる。	70.5	72.4	-1.9	11		1.5	1.2
8	2	(3)		☆			◎	◎	○	場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解している。	56.0	58.0	-1.9	10		0.7	0.7
22	7	(2)		☆			◎	◎	○	異なる図形といえる裏故を選択し、その図形の対称の軸の本数を求めることができる。	20.2	22.2	-2.1	9		16.5	16.0
17	5	(3)	②③	☆			◎	◎	○	反比例の意味について理解している。	51.9	54.3	-2.3	8		8.3	7.9
20	6	(2)		☆			◎	◎	○	円柱の展開図から、組み立てたときにできる円柱の体積を求めることができる。	61.8	64.2	-2.4	7		1.9	1.8
21	7	(1)		☆			◎	◎	○	ひし形を二等辺三角形に変形して求める考え方の説明を、言葉や式を用いて完成させることができる。	65.1	67.6	-2.5	6		1.6	1.5
14	4			☆			◎	◎	○	比を用いて、全体の量から一方の量を求める式を選択できる。	32.9	35.7	-2.7	5		0.9	0.7
10	2	(4)	②	☆			◎	◎	○	円柱の展開図から、側面の長方形の横の長さを求めることができる。	51.8	54.7	-2.9	4		7.3	6.4
18	5	(3)	④⑤	☆			◎	◎	○	「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています	42.9	46.2	-3.3	3		9.8	9.7
12	3	(1)		☆			◎	◎	○	教科の正答率	49.3	53.2	-3.9	2		1.3	1.1
9	2	(4)	①	☆			◎	◎	○	教科の正答率	42.0	46.9	-4.9	1		5.0	5.0

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ) 数学的な考え方、(ウ) 数量や図形についての技能、(エ) 数量や図形についての知識・理解

理科(設問順)

通し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点	基礎	活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答 記述									イ	ウ		10
1	1	(1)		☆			○		サクラの1年間のようすがわかる。	60.3	58.1	2.2	21			0.4	0.2
2	1	(2)		☆			○		ヘチマの美の中には種ができることがわかる。	90.2	90.2	0.1	14			1.6	1.8
3	1	(3)		☆			○		冬のヒキガエルのようなようすがわかる。	89.3	90.4	-1.1	7			0.3	0.2
4	1	(4)		☆			○		種かくなつたときの植物と動物のようすがわかる。	89.8	89.8	0.0	12			0.3	0.2
5	2	(1)		☆		◎	○		日光が当たらないと光電池はモーターを回せないことがわかる。	91.3	91.0	0.3	18			0.3	0.2
6	2	(2)		☆		◎	○		乾電池のつなぎ方から、もっとも速く走る車がかかる。	46.1	45.1	1.0	20			0.5	0.3
7	2	(3)		☆		◎	○		実験の変える条件、変えない条件がわかる。	68.6	68.7	-0.0	11			5.0	5.1
8	3	(1)		☆		◎	○		方位を読む道具を、「方位磁針」とよぶことがわかる。	88.8	88.7	0.1	13			2.5	2.2
9	3	(2)		☆		◎	○		方位磁針の正しい使い方がわかる。	35.3	36.6	-1.3	6			1.2	1.1
10	3	(3)		☆	☆	◎	○		月が光る理由を理解し、月の見え方を推測することができる。	68.6	67.7	0.9	19			1.7	1.7
11	3	(4)		☆		◎	○		月の動き方がわかる。	50.9	51.9	-1.0	8			0.7	0.7
12	3	(5)		☆		◎	○		満月のときの、太陽の光に対する月の位置がわかる。	70.5	74.1	-3.6	1			0.9	0.9
13	4	(1)		☆		◎	○		メスシリンダーを使うときの液面の読み方がわかる。	96.5	96.2	0.3	17			0.5	0.4
14	4	(2)		☆		◎	○		てこのはたらきから、水の重さの求め方がわかる。	31.9	32.5	-0.7	10			1.4	1.4
15	4	(3)		☆		◎	○		水に溶け残りがあっても全体の重さが変わらないことがわかる。	57.8	60.3	-2.5	2			0.8	0.7
16	4	(4)		☆		◎	○		水に溶けた食塩のようすがわかる。	53.1	54.6	-1.5	5			1.0	1.0
17	4	(5)	①		☆	◎	○		溶解度のグラフから、溶け残ったものがミヨウバンであることを説明できる。	31.9	33.5	-1.5	4			6.1	6.2
18	4	(5)	②		☆	◎	○		溶け残ったミヨウバンをすべて溶かす方法がわかる。	77.9	78.7	-0.8	9			1.5	1.4
19	5	(1)		☆		◎	○		炭が燃えているときの空気の流れがわかる。	80.4	82.5	-2.1	3			0.8	0.7
20	5	(2)			☆	◎	○		こんろの穴を再び開けると、炭の燃え方が強くなる理由を説明できる。	59.1	58.8	0.3	16			4.1	3.8
21	5	(3)		☆		◎	○		まわりの空気とつぼの中の空気中の気体の体積の割合がわかる。	29.6	29.4	0.2	15			1.2	1.0
									教科の正答率	65.1	65.7	-0.5					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)科学的な思考・表現、(ウ)観察・実験の技能、(エ)自然事象についての知識・理解

理科(県との差 降順)

測し 番号	大問 番号	中間 番号	小問 番号	問題形式		観点		基礎 活用	問題のねらい	倉敷市	県	県との差	県との差 順位	県平均との差		無回答率	
				選択	短答	記述	イ							ウ	エ		-10
1	1	(1)		☆				○	サクラの1年間のようすがわかる。	60.3	58.1	2.2	21			0.4	0.2
6	2	(2)		☆				○	乾電池のつなぎ方から、もっとも速く走る車がかかる。	46.1	45.1	1.0	20			0.5	0.3
10	3	(3)			☆			○	月が光る理由を理解し、月の見え方を推測することができる。	68.6	67.7	0.9	19			1.7	1.7
5	2	(1)		☆				○	日光が当たらないと光電池はモーターを回せないことがわかる。	91.3	91.0	0.3	18			0.3	0.2
13	4	(1)		☆				○	メスシリンダーを使うときの液面の読み方がわかる。	96.5	96.2	0.3	17			0.5	0.4
20	5	(2)			☆			○	こんろの穴を再び開けると、炭の燃え方が強くなる理由を説明できる。	59.1	58.8	0.3	16			4.1	3.8
21	5	(3)		☆				○	まわりの空気とつぼの中の空気中の気体の体積の割合がわかる。	29.6	29.4	0.2	15			1.2	1.0
2	1	(2)		☆				○	ヘチマの実の中には種ができることがわかる。	90.2	90.2	0.1	14			1.6	1.8
8	3	(1)		☆				○	方位を調べる道具を、「方位磁針」とよぶことがわかる。	88.8	88.7	0.1	13			2.5	2.2
4	1	(4)		☆				○	理かなくなったときの植物と動物のようすがわかる。	89.8	89.8	0.0	12			0.3	0.2
7	2	(3)		☆				○	実験の変わる条件、変えない条件がわかる。	68.6	68.7	0.0	11			5.0	5.1
14	4	(2)		☆				○	てこのはたらきから、水の重さの求め方がわかる。	31.9	32.5	-0.7	10			1.4	1.4
18	4	(5)	②	☆				○	溶け残ったミヨウバンをすべて溶かす方法がわかる。	77.9	78.7	-0.8	9			1.5	1.4
11	3	(4)		☆				○	月の動きがわかる。	50.9	51.9	-1.0	8			0.7	0.7
3	1	(3)		☆				○	冬のヒキガエルのようなようすがわかる。	89.3	90.4	-1.1	7			0.3	0.2
9	3	(2)		☆				○	方位磁針の正しい使い方がわかる。	35.3	36.6	-1.3	6			1.2	1.1
16	4	(4)		☆				○	水に溶けた食塩のようすがわかる。	53.1	54.6	-1.5	5			1.0	1.0
17	4	(5)	①		☆			○	溶媒量のグラフから、溶け残ったものがミヨウバンであることを説明できる。	31.9	33.5	-1.5	4			6.1	6.2
19	5	(1)		☆				○	炭が燃えているときの空気の流れがわかる。	80.4	82.5	-2.1	3			0.8	0.7
15	4	(3)		☆				○	水に溶け残りがあっても全体の重さが変わらないことがわかる。	57.8	60.3	-2.5	2			0.8	0.7
12	3	(5)		☆				○	満月のときの、太陽の光に対する月の位置がわかる。	70.5	74.1	-3.6	1			0.9	0.9
									教科の正答率	65.1	65.7	-0.5					

「選択式」、「短答式」、「記述式」を☆で表しています。

観点のカタカナ表記の意味は右記の通りです。(イ)科学的な思考・表現、(ウ)観察・実験の技能、(エ)自然事象についての知識・理解

(7) 4教科の調査問題・正答・平均正答率

○国語・社会・数学・理科の全調査問題・正答及び、各問題の市・県の平均正答率とその差等を掲載。

※市・県の数値は%，差の数値はポイントとして表示。

※過去の調査問題と類似している問題については，その数値を掲載。

※自校の平均正答率を，追記して御活用ください。

(2)

石田さんは、この文章の内容をまとめたノートの最後に、次のような感想を書きました。そして、自らの疑問を解決するために本を使って調べることになりました。その結果、下のA・Bの二冊の本を見つけました。あなたが石田さんなら、どちらの本を選びますか。どちらの本を選んでも構いませんが、選んだ本のどこを読めば、石田さんのどのような疑問が解決するのかわ、具体的に書きなさい。

宇宙への興味が広がる文章で、とてもおもしろかった。特に、太陽が宇宙の中心ではないことにおどろいたので、宇宙全体の姿はどうなっているのかわくわしく調べてみたくなった。

(2) (正答例)

【Aを選んだ場合】

『宇宙の中の地球』の「銀河系」のページを読めば、石田さんの宇宙全体の姿はどうなっているのかという疑問が解決できると思う。

【Bを選んだ場合】

『宇宙はこうしてできた』の「宇宙の構造」のページを読めば、石田さんの宇宙全体の姿はどうなっているのかという疑問が解決できると思う。

市59.5

県61.8

差-2.3

自校()

『宇宙はこうしてできた』

目次

第1章 太陽系

太陽系のはじまり	6
地球	12
太陽系のデータ	38

第2章 恒星

恒星とは	44
恒星の一生	58
星雲・星団のデータ	80

第3章 宇宙論

ビッグバン～宇宙の誕生～	118
宇宙の構造	140
宇宙の96%はなぜである	152

B

『宇宙の中の地球』

目次

第1章 太陽系の星

母なる太陽	10
最も小さい水星	22
～(中略)～	

第2章 太陽と地球

もし太陽がなくなったら?	80
太陽まで行くには?	146

第3章 太陽を知ろう

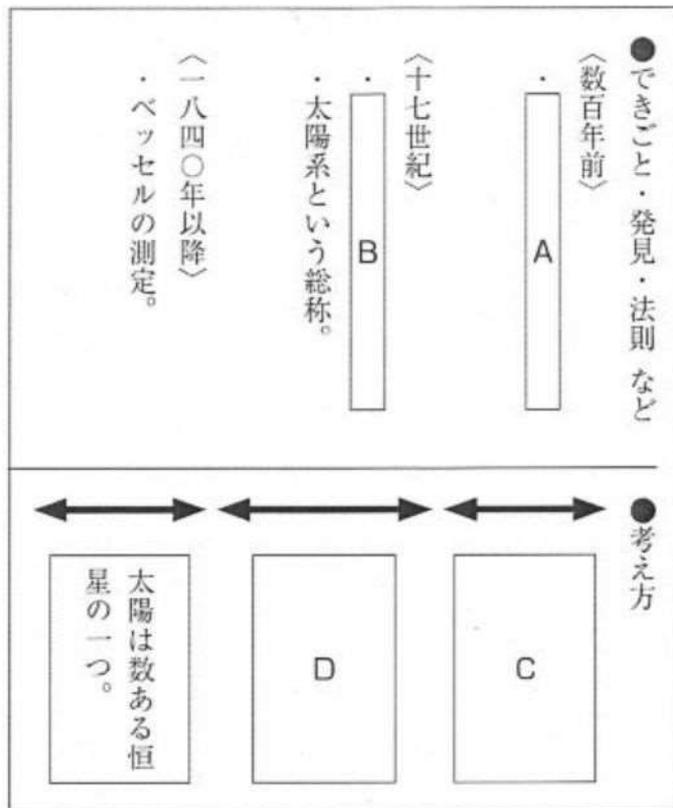
太陽ってどんな星?	168
皆既日食・部分日食	184

第4章 銀河系

銀河の誕生	192
銀河のデータ	200

A

(1) この文章を読んだ石田^{いしだ}さんは、人間の宇宙の中心のとりえ方がどのように移り変わったかを、次のようにノートにまとめました。A、Dにあてはまる言葉を、下の1から4までの中から、それぞれ一つずつ選んで、その番号を書きなさい。



⑩

(1) (正答)
 (A) 4 (B) 2
 (C) 3 (D) 1
 【完答】
 市24.4
 県26.8
 差-2.4
 自校()

- 1 太陽が宇宙の中心。
- 2 ニュートンが力学を体系的にまとめる。
- 3 宇宙の中心は地球。
- 4 ガリレオが地動説を唱える。

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

私たちは地球の上で生活していて、地球は太陽の周りを回っています。ほんの数百年前まではこのこともわかっていませんでした。人間は、宇宙の中心は地球だと信じてきたのです。コペルニクスやガリレオが、「そうではなく、地球が太陽の周りを回っている」という地動説を唱えても信じる人はあまりいませんでした。人間が地動説を信じるようになったのは十七世紀になってからです。ニュートンが力学を体系的にまとめ、太陽系の天体の動きを説明することができる法則が明らかになってはじめて、私たちは地球が太陽の周りを回っていることを理解するようになったのです。

そして、太陽を中心とした天体の総称を太陽系というようになりました。それからしばらくは、太陽が宇宙の中心だと考えられてきました。太陽系は私たちの感覚からしたらとても大きなものですが、宇宙全体からみるととても狭い範囲です。太陽系よりも宇宙が大きく広がっているとわかってきたのは一八四〇年ごろになってからです。このころになると、夜空を彩る星々の距離がわかるようになりました。

たとえば、ドイツの天文学者フリードリッヒ・ベッセルは、^{※1}はくちよう座六十一番星までの距離を測ることに成功しました。

その距離は地球から十一・二光年でした。つい数年前まで太陽系惑星の仲間では太陽から最も遠くに位置していた、めい王星までの距離でさえ約五十九億キロメートルです。一光年は光が一年間で進む距離で、約九兆四千六百億キロメートルですので、明らかに太陽系の外に位置します。そして、研究が進むにつれて、太陽は星たちと同じ恒星の一つであることや、たくさんの恒星が集まって銀河をつくっていることもわかってきました。私たちがいる銀河は銀河系とか、天の川銀河と呼ばれています。

たまたま地球が太陽の近くに誕生し、私たちは太陽の恩恵を受けて生活をしているので、太陽を特別な存在だと思っているわけですが、物理学の立場から見れば、太陽は特別な存在ではなく、数ある恒星の中の一つにすぎないというのです。しかも、太陽系は天の川銀河の中心から遠く離れた場所にありました。太陽は宇宙の中心という考えは崩れ去り、太陽は天の川銀河の端っこに位置する恒星の一つという認識に書き替えられたのです。

(村山斉「宇宙は本当にひとつなのか」より)

- ※注 1 はくちよう座六十一番星：太陽以外で初めて、地球との距離が確定された恒星。
- 2 恒星：位置が動くことがなく、自ら光を発する天体。
- 3 恩恵：めぐみ。

(4) 大下さんたちは、リーフレットの最後にまとめとして、自分たちの気持ちや願いを載せたいと考え、次のように話し合っています。これを参考にして、リーフレットの最後に載せる文章を、下の条件に合わせて書きなさい。

読んだ人に、有松しほりにもっと興味をもってもらいたいです。そのためには、長い歴史があることを強調して、有松しほりがいつの時代から、どこで発展した工芸品なのかを書くことよと思います。



井上さん

私も体験してみても初めて、有松しほりのよさがわかりました。やはり一度、実際に染め物体験に参加してみると、有松しほりのよさがわかると思うので、読んだ人にぜひ参加してほしいです。



大下さん

条件1 井上さんと大下さんの両方の意見を取り入れて書くこと。

条件2 井上さんの意見については、「下書きA」の(ウ)の言葉を使って書くこと。

条件3 「有松しほりは、」に続けて、八十字以上、百字以内で書くこと。段落分けはしなくてよい。

まとめ

「読んでくださったみなさんへ」

有松しほりは、

(4) (正答例)
江戸時代初期の一六〇八年から尾張藩で発展した、非常に長い歴史のある工芸品です。みなさんもぜひ一度、実際に染め物体験に参加してみてください。有松しほりのよさがわかると思います。(87字)
市65.1
県65.6
差-0.5
自校()

編集委員一同

② 【表】の「ウ」にあてはまる言葉を、次の条件に合わせて書きなさい。

条件1 【下書きB】の言葉を使って書くこと。

条件2 【表】の書き方に合わせて書くこと。

②(正答例) 布を台の針に
かけ、雨がさの骨のよ
うにひだを寄せ、糸を
巻いてしぼる。
市77.2 県75.9
差+1.3 自校()

(3) 大下さんたちは、【編集会議で出た意見】に従って、「下書きC」を、下のように書き直しました。どのような意見が出たと考えられますか。出た意見としてあてはまらないものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

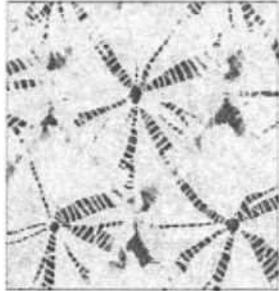
- 1 「作業の手順がくわしく説明されているけれど、ここまでくわしく書かなくてもよいのではないでしょうか。」
- 2 「『ボンチ』『青花』など、わかりにくい言葉が出てきているので、説明した方がよいと思います。」
- 3 「作業の手順がよくわかるように、文章の段落を分けて書いてらるうですか。」
- 4 「矢印や記号を使って箇条書きにしたり、文字の大きさを変えたりすると、見る人もわかりやすいと思います。」

有松しぼりの手順

- ① 図案を決める
模様によって用いる技法がちがう。
- ② 型ぼり
図案に合わせ、^{*}ボンチで型紙に穴をあける。
- ③ 絵刷り
型紙を布に当て、^{*}青花という液を使って図案を写す。
- ④ くくり
針と糸などの道具を使って布をしぼる。
- ⑤ 染色
それぞれの色の液に布をつけて染める。
- ⑥ 糸ぬき
布を傷めないように糸をぬく。

※ボンチ：先端に鋭い鋼の棒のついた道具。
※青花：水洗いすると消える特殊な液。

(3)(正答) 3
市27.6
県27.9
差-0.3
自校()

しぼり方	道具	模様	しぼりの種類
ウ	・ 針 ・ 糸		手ぐもしぼり
布にかいた下絵に沿って糸でぬい、輪かくをぬった線と平行に、内側に五ミリメートル間かくでぬってしぼる。	・ 針 ・ 糸	イ ①(正答) (ア) から松しぼり (イ) 2 【完答】 市65.4 県64.5 差+0.9 自校()	ア

【表】

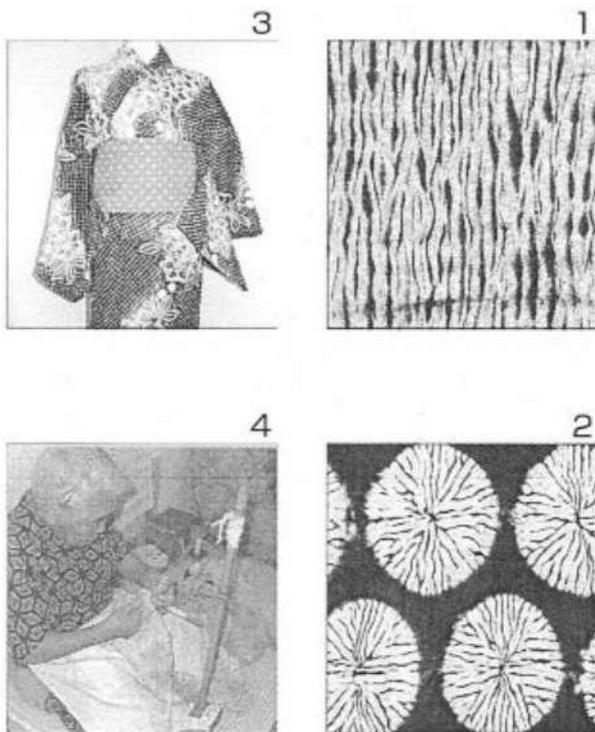
(2) 有松しぼりの特徴について、大下さんたちは初め、「下書きB」のような紙面を作成していましたが、下の【編集会議で出た意見】を受けて、次の【表】のように書き直しました。「下書きB」と【表】、【編集会議で出た意見】を見比べて、あとの①・②の間に答えなさい。

【編集会議で出た意見】

二つの技法が紹介されていますが、具体的にどのような模様になるのかが、わからないと思います。二つの技法のちがいを短く示したり、模様の写真を入れたりしたらどうでしょう。



① 【表】の「ア」にあてはまる言葉を、「下書きB」の中から抜き出して書きなさい。また、「イ」にあてはまる写真として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。



【下書きC】

有松しぼりの手順

初めに、模様の図案を決めます。模様によって、用いるしぼり技法がちがうので、一枚の布を、複数の技法でしぼることもあります。図案ができたなら、型紙を作ります。これを「型ほり」と言います。ポンチで型紙に直径二、三ミリメートルの穴をあけ、しぼる箇所が目印にします。こうしてできた型紙を布に当て、青花あかぼなを使って図案を写していきます。これを「絵刷り」と言います。絵刷りができたら、針や糸などの道具を使ってしぼっていく、「くくり」の作業です。複数の技法を使ってしぼる図案の場合は、何人もの職人が関わります。しぼりが終わった布は、工場に運ばれ、それぞれの色の液につけて染められます。この作業を「染色」と言います。最後に染まった布を乾かしてから、布を傷めないように「糸ぬき」をします。

(1) 【下書きA】は、事前に準備した次の【構想メモ】をもとに書かれました。【構想メモ】の内容をもとに、【下書きA】の□にあてはまる一文を書きなさい。

【構想メモ】

有松しぼりの豆知識

(ア) 有松しぼりとは？

- ・愛知県名古屋市緑区あいち ながらの有松地域で生産
- ・国内のしぼり染め製品の大半が有松地域で生産
- ・この地域で生産されるしぼり染め製品が「有松しぼり」
- ・「有松しぼり」は、国の伝統工芸品にも指定される名産品



(イ) しぼりの技法と製品

（以下省略）

(1) (正答例)

愛知県名古屋市緑区の有松地域では、国内のしぼり染め製品の大半を生産しています
市51.0
県50.2
差+0.8
自校()

3

お話し
 大下さんたちは、総合的な学習の時間に「有松しほり」について調べ、染め物体験をしました。その後、学習をもとに「有松しほり」を多くの人に紹介するリーフレットを作ることになりました。今日の編集会議では、各自が分担して書いてきた記事について検討しています。次の、「下書きA」～「下書きC」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【下書きA】

有松しほりの豆知識

(ア) 有松しほりとは？

この地域で生産されるしほり染め製品は「有松しほり」と呼ばれ、国の伝統工芸品にも指定される名産品です。



(イ) しほりの技法と製品

しほり染めとは、布にしわを寄せて糸などできつくしほり、染料につける技法です。しほった部分は染料で染まらないので、しほり方によって美しい模様ができます。

有松しほりで染められた布は、手ぬぐいや浴衣だけでなく、さまざまな小物などにも加工され、流通しています。

(ウ) 有松しほりの歴史

有松しほりは、江戸時代初期の一六〇八年に、竹田庄九郎という人が作ったのが始まりだと言われています。九州から来た人が持っていた、しほり染めの製品を参考にしたそうです。その後、尾張藩にも保護された名産品となりました。葛飾北斎や歌川広重の浮世絵にも描かれるほど、有名なものだったのです。

【下書きB】

代表的なしほり

○手ぐもしほり

針のついたし字型の台と、針、糸を使う。布を台の針にかけてしほる。針を中心に、雨がさの骨のようにひだを寄せ、糸を巻いてしほる。有松しほりの代表的な技法で、くもの巣のような模様ができる。

○から松しほり

針と糸だけを使う。布にかいた下絵に沿って、糸でぬってしほる。輪かくをぬった線と平行に、内側に五ミリメートル間かくでぬってしほる。布を半分に分けて折るので、左右対称の円やひし形の模様ができる。

(1) —部①を、「しかし、」を使って二つの内容に分けて書き直すことにしました。一つめの文の終わりの七文字と、二つめの文の「しかし、」に続く七文字を書きなさい。

(2) ……部②「訓練によって、イヌは自分の仕事を理解する。」の文で、主語と述語はどの部分ですか。次の1から5までの中から、それぞれ一つずつ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 訓練によって
- 2 イヌは
- 3 自分の
- 4 仕事を
- 5 理解する

(2) (正答)
 (主語) 2
 (述語) 5 【完答】
 市62.0
 県57.3
 差+4.7
 自校()

(1) (正答)
 (一つめの文の終わり)
 働くことが多い
 (二つめの文の始まり)
 知能だけをみれ
 市54.5 県50.7
 差+3.8 自校()

H26岡山県調査の類似問題の平均正答率は44.8%

H25全国調査の同一問題の平均正答率は22.7%

10

(3) このレポートのまとめとして、上野さんは自分の考えを次のように書きました。これを読んで、あとの①・②の問いに答えなさい。

チンパンジーも、イヌと同じく人間の三歳児と同じくらいの知能をもつと言われている。だから知能だけでみると、チンパンジーとイヌはAである。しかし、イヌに警察犬や盲導犬のような、重要な任務を任せられるのは、イヌが人にBいるからだ。人とイヌは信頼関係を築きやすいので、人はさまざまな場面で、イヌに働いてもらっているのだろう。

① Aにあてはまる最も適切な故事成語を、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 雲泥うんでいの差
- 2 矛盾むじごん
- 3 五十歩百歩
- 4 蛇足だそく

①(正答) 3
 市43.1
 県46.1
 差-3.0
 自校()

H26全国調査の類似問題の平均正答率は48.2%

② Bにあてはまる最も適切な慣用句を、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 心を許して
- 2 心を痛めて
- 3 心をこめて
- 4 心を入れ替えて

②(正答) 1
 市77.9
 県77.2
 差+0.6
 自校()

1 次の問いに答えなさい。

(1) 次の①から④までの文の——部の漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

- ① 先生を敬う。
- ② 洋服を収納する。
- ③ 友達を家に招待する。
- ④ 本の目次を見る。

①(正答)うやま
市81.1
県81.2
差-0.2
自校()

②(正答)しゅうのう
市91.6
県93.1
差-1.5
自校()

③(正答)しょうたい
市97.9
県97.9
差 0.0
自校()

④(正答)もくじ
市98.6
県98.3
差+0.3
自校()

(2) 次の①から④までの文の——部のカタカナを、漢字で書きなさい。

- ① 勝利をイワう。
- ② チームをヒキいる。
- ③ 委員会をモウける。
- ④ 選挙でトウヒョウする。

①(正答)祝
市51.5
県53.9
差-2.4
自校()

H26全国調査の同一問題の平均正答率は55.0%

②(正答)率
市61.0
県60.9
差+0.1
自校()

③(正答)設
市62.1
県55.4
差+6.7
自校()

H25全国調査の同一問題の平均正答率は60.2%

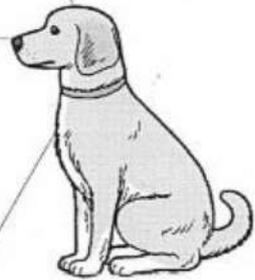
④(正答)投票
市41.1
県46.2
差-5.1
自校()

2 次は、上野さんが自由研究で作った、イヌについてのレポートの一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

■なぜイヌについて調べたか

一般的にイヌは知能が高いとされ、警察犬や盲導犬のように、人のために働くことが多いが、知能だけをみれば、チンパンジーなどの動物も高いはずである。なぜ他の動物ではなく、イヌに頼るのか、その理由を調べたかった。

■イヌの能力



【頭脳】
・三歳児程度の知能をもつ。
→訓練によって、イヌは自分の仕事を理解する。

【鼻】
・人の1億倍まで感知できる。
→かすかなにおいを手がかりに、ものを探すことができる。

【習性】
・リーダーに従って群れで行動する。
・群れを大切に、仲間を守ろうとする。
・人に飼われるようになってから1万年以上たつ。
→人をリーダーとして従うので、信頼関係を築きやすい。

中学校 第 1 学年

国語

中学校 第 1 学年

社会

1 ゆうたさんのクラスでは、^{おかやま}岡山県とその周辺の県について学習しました。あとの問いに答えなさい。

(1) ゆうたさんは、岡山県の地形について、右のような資料をつくりました。

① 右の資料の(A)の中にあてはまる川の名前を書きなさい。 ❶

② 右の資料の(B)の中にあてはまる平野の名前として正しいものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ❷

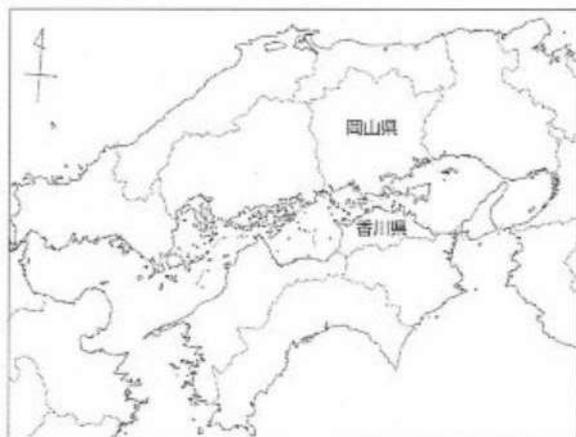
- | | | | |
|---|--------------------|---|------------------|
| 1 | ^{つやま} 津山 | 2 | ^{きび} 吉備 |
| 3 | ^{ひるぜん} 蒜山 | 4 | 岡山 |



①(正答)高梁(川)
市55.0 県34.3 差+20.7 自校()

②(正答) 4
市53.3 県51.7 差+1.6 自校()

(2) のぼるさんは、次の地図を使って岡山県とその周辺の県の位置について、右下のように説明しました。



【のぼるさんの説明】

岡山県から見て、

- ① 東隣には近畿地方の(A)県があります。
- ② 西隣には世界文化遺産に指定された原爆ドームのある(B)県があります。
- ③ 北隣には(C)県があります。
- ④ (D)をはさんで、南には香川県があります。

① 【のぼるさんの説明】の(A)から(C)の中にあてはまる県名として正しいものを、次の1から5までの中からそれぞれ1つずつ選んで、その番号を書きなさい。 ❸

- | | | | | | | | | | |
|---|--------------------|---|--------------------|---|--------------------|---|-------------------|---|-------------------|
| 1 | ^{やまぐち} 山口 | 2 | ^{とっとり} 鳥取 | 3 | ^{ひろしま} 広島 | 4 | ^{しまね} 島根 | 5 | ^{ひろこ} 兵庫 |
|---|--------------------|---|--------------------|---|--------------------|---|-------------------|---|-------------------|

② 【のぼるさんの説明】の(D)の中にあてはまる海の名前を書きなさい。 ❹

①(正答)〈A〉5 〈B〉3 〈C〉2 【完答】
市71.6 県73.4 差-1.8 自校()

②(正答)瀬戸内海
市67.5 県69.0 差-1.5 自校()

2

けんとさんのクラスでは、日本とその周辺の国々について学習しました。あとの問いに答えなさい。



(1) 上の地図からわかることを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 日本の南のはしに位置しているのは、南鳥島である。
- 2 日本は、ユーラシア大陸の西に位置している。
- 3 日本列島は、4つの大きな島と小さな島々からなる。
- 4 日本の南北の範囲は、北緯50度から北緯30度までである。

(1) (正答) 3
市61.3 県58.3
差+3.1
自校()

(2) 上の地図中の㊸で示した国の名前を書きなさい。

(2) (正答) 大韓民国(韓国)
市76.2 県77.2
差-1.0 自校()

(3) けんとさんは、上の地図中の㊹の島々について、次のように説明しました。



㊹の島々は、日本固有の領土である(A)です。現在、この島々は(B)によって不法に占領されています。

けんとさんの説明の(A)の中にあてはまる言葉を書きなさい。
また、(B)の中にあてはまる国名を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 アメリカ合衆国
- 2 イタリア
- 3 ロシア連邦
- 4 スイス

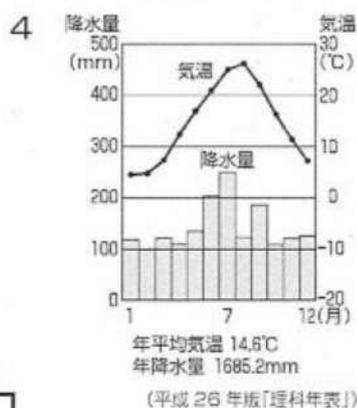
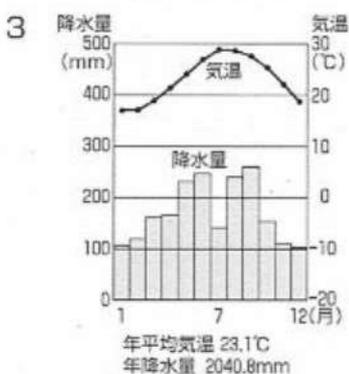
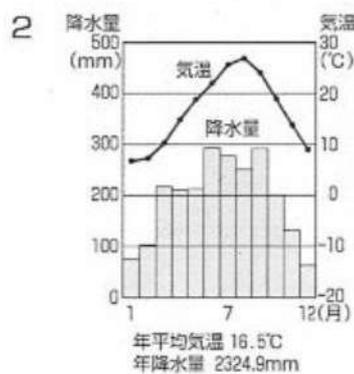
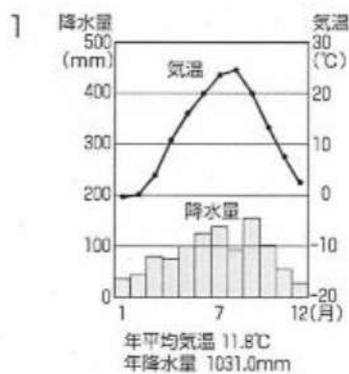
(3) (正答) 〈A〉北方領土 〈B〉3 【完答】
市20.9 県23.8 差-2.9 自校()

3

えりかさんのクラスでは、日本の国土と気候について学習しました。そのまとめとして、冬の季節風の吹く方向や代表的な山脈・山地について、次のような地図に表しました。あとの問いに答えなさい。



(1) 上の地図中の出雲市の気温と降水量を示すグラフを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

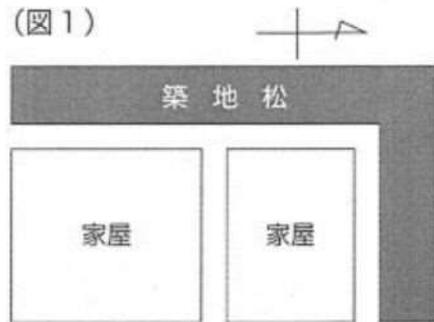


(1) (正答) 4
市32.2 県34.0 差-1.8 自校()

- (2) 次の写真は、地図中の出雲市周辺でよく見られる、築地松と呼ばれる防風林です。家のまわりに(図1)のように松を植える理由を、「季節風」の語句を使って説明しなさい。



家を東側から写した写真



家を上から見た図

- (3) ある冬の日の出雲市の天気は雪でしたが、岡山市は晴れでした。出雲市が雪で、岡山市が晴れていた理由を、「季節風」・「中国山地」の2つの語句を使って説明しなさい。

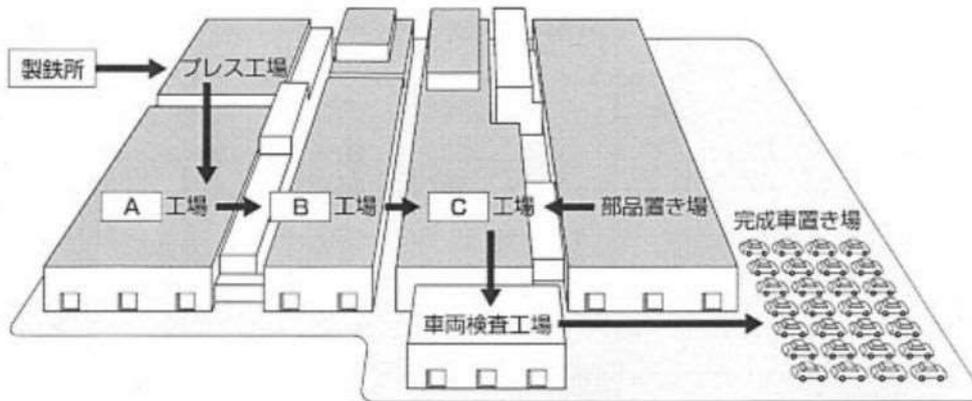
(2) (正答) 冬の北西の季節風から、松によって家を守るため
 市 52.0
 県 53.7
 差 -1.8
 自校 ()

(3) (正答) しめった季節風が、中国山地にあたって雪を降らせ、中国山地をこえるとかわいた風になるため。
 市 3.9
 県 4.0
 差 -0.1
 自校 ()

4

つよさんのクラスでは、自動車づくりについて学習する中で、自動車をつくる工場には、自動車工場と関連工場があることを学習しました。あとの問いに答えなさい。

- (1) つよさんたちは、次の図のような自動車工場を見学しました。
 ※下の図の中の→は自動車をつくる作業の流れを表しています。

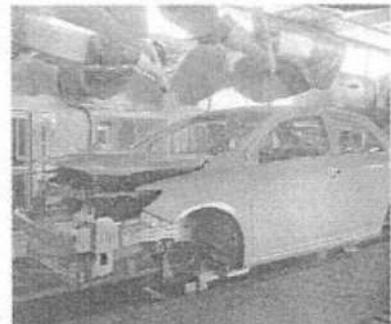
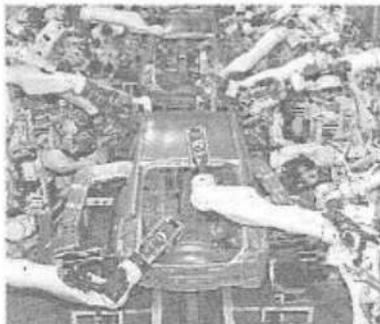


また、次の写真は、それぞれの工場での様子を撮影したものです。

(よう接)

(組立)

(と装)



①

②

③

上の図中の工場A～Cと写真①～③の組み合わせとして正しいものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

⑩

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | A工場：① | B工場：② | C工場：③ |
| 2 | A工場：③ | B工場：① | C工場：② |
| 3 | A工場：③ | B工場：② | C工場：① |
| 4 | A工場：① | B工場：③ | C工場：② |

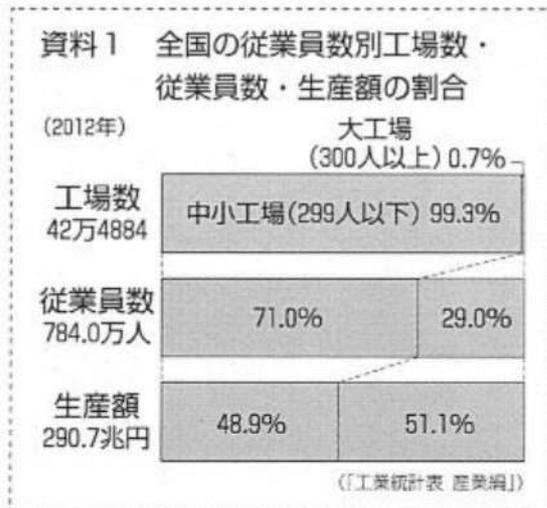
(1) (正答) 4 市75.2 県74.1 差+1.1 自校()
--

(2) 見学を終えたつよしさんたちは、関連工場の役割について調べました。その役割として、最もふさわしいものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 多くの従業員で、部品づくりをすべて手作業で行っている。
- 2 工場は、すべて海外にあって、注文された部品をつくっている。
- 3 1つの工場で、すべての自動車部品をつくっている。
- 4 注文の通りに部品をつくり、決められた時刻に必要な数を工場に届けている。

(2) (正答) 4
市71.8
県71.7
差+0.1
自校()

(3) つよしさんは、自動車工場と関連工場の関係について学習する中で、大工場と中小工場があることに気がつき、資料をもとに2種類の工場を比べてノートにまとめました。



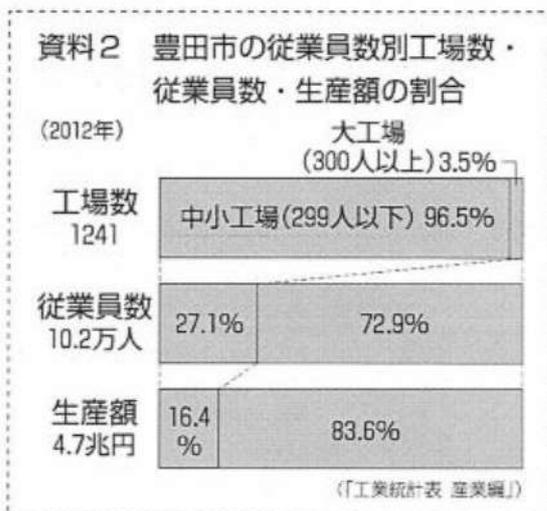
【つよしさんのまとめ】

①全国では、工場数の99.3%は中小工場であり、従業員数も大工場より多い。

②全国の生産額は、中小工場より大工場のほうが多い。

これらのことから、全国の中小工場は、工場数が多く従業員数も多いが、生産額は大工場より少ないことがわかりました。

ただしさんは、自動車工業が盛んな豊田市の工場についての資料2をもとに、ノートにまとめました。つよしさんのまとめを参考に、「工場数」・「従業員数」・「生産額」の3つの語句を使って、【ただしさんのまとめ】を完成させなさい。 ㊦



【ただしさんのまとめ】

①豊田市では、工場数の96.5%は中小工場だが、従業員数は大工場のほうが多い。

②豊田市の生産額は、中小工場より大工場のほうが多い。

これらのことから、豊田市の大工場は、()がわかりました。

(3) (正答例)
工場数が少ないが、従業員数と生産額は中小工場より多いこと
市34.8 県34.7 差 0.0 自校()

5 まもるさんとひろみさんのクラスでは、戦国時代の人物を1人選び、その人物に関するテーマを決めて調べ学習をしました。あとの問いに答えなさい。

(1) まもるさんは、織田信長を選び、調べるテーマを決めるために、当時の勢力図を用意し、それぞれの資料から次のように考えました。

まもるさんの考えと資料の組み合わせとして正しいものを、あとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

【考え①】

現在の愛知県のあたりだけを領土とする小さな戦国大名だ。

【考え②】

日本で、一番大きな領土をもつ戦国大名だ。

【考え③】

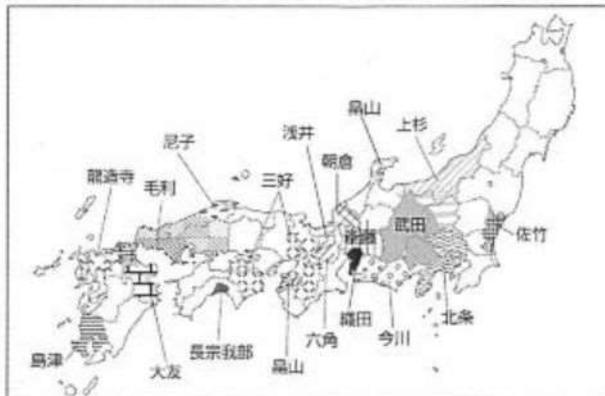
現在の京都府の一部も領土とし、武田氏に負けないくらい大きな領土をもつ戦国大名だ。



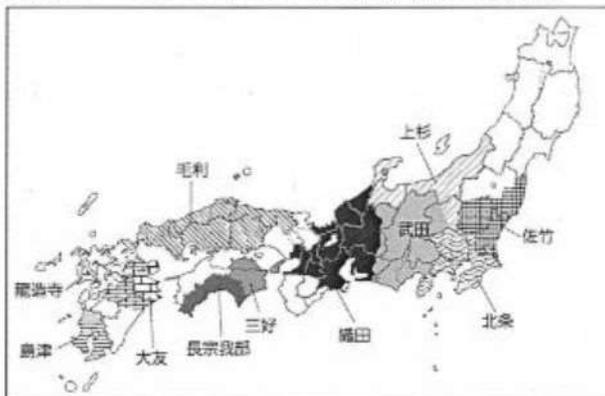
【まもるさんのテーマ】

なぜ、織田信長は、領土を広げることができたのだろう。

資料1 1560年ごろの戦国大名の勢力図



資料2 1575年ごろの戦国大名の勢力図



資料3 1580年ごろの戦国大名の勢力図



- | | | | |
|---|---------|---------|---------|
| 1 | 考え①：資料1 | 考え②：資料2 | 考え③：資料3 |
| 2 | 考え①：資料2 | 考え②：資料1 | 考え③：資料3 |
| 3 | 考え①：資料1 | 考え②：資料3 | 考え③：資料2 |
| 4 | 考え①：資料2 | 考え②：資料3 | 考え③：資料1 |

(1) (正答) 3
市69.2
県71.0
差-1.8
自校()

- (2) 次の資料は、織田信長が豊臣秀吉や徳川家康をしたがえて、武田氏の軍勢と戦っている様子を表したものです。まもるさんは、この資料から織田信長が領土を広げることができた理由を考えました。



【まもるさんの考え】

当時の新しい武器である (A) を大量にそろえ、武田氏の騎馬隊に (B) の戦いで勝利しました。

このように、外国からの新しい技術をどんどん取り入れたことも、織田信長が領土を広げられた理由の1つだと考えました。

- ① 【まもるさんの考え】の (A) の中にあてはまる言葉を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 銅剣 2 弓矢 3 大砲 4 鉄砲

①(正答) 4
市93.4
県93.8
差-0.4
自校()

- ② 【まもるさんの考え】の (B) の中にあてはまる言葉を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 壇ノ浦 2 桶狭間 3 長篠 4 島原・天草

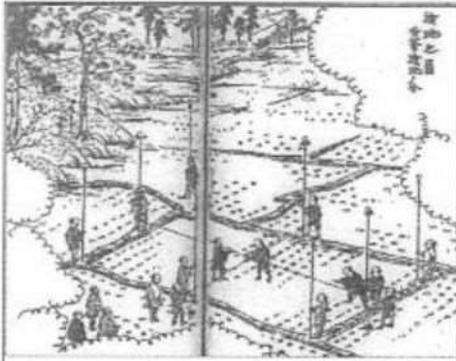
②(正答) 3
市63.1
県65.4
差-2.3
自校()

- (3) ひろみさんは、豊臣秀吉が初めて全国統一を果たしたことを知り、「どのようにして豊臣秀吉は、全国統一をしていったのだろう」をテーマに、調べ学習をしました。豊臣秀吉が行ったことを、次の1から5までの中から2つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 全国の大名に手伝わせ、大阪城を築いて政治の拠点とした。
- 2 中国(明)や朝鮮と友好に貿易を行い、富をたくわえた。
- 3 農民が刀ややり、鉄砲などの武器を持つことを禁じた。
- 4 武家諸法度という決まりを定め、大名を厳しく取りしまった。
- 5 関ヶ原の戦いに勝利し、将軍を中心とした支配体制を整えた。

(3)(正答)
1、3
【完答・順不同】
市36.9
県36.4
差+0.5
自校()

- (4) ひろみさんは、豊臣秀吉が行った検地に関する2つの資料を見つけました。



全国でばらばらだったますの大きさやものさしの長さを統一して、田畑の収穫高や面積を調べました。



田畑を耕す農民の名前を検地帳に登録させることで、田畑の持ち主をはっきりさせました。

この2つの資料から、検地を行った目的についてまとめようとしています。次の【ひろみさんのまとめ】を完成させなさい。

【ひろみさんのまとめ】

豊臣秀吉が検地を行った目的は、()です。

(4) (正答)

農民から年貢を確実に徴収できるようにするため

市29.9

県32.8

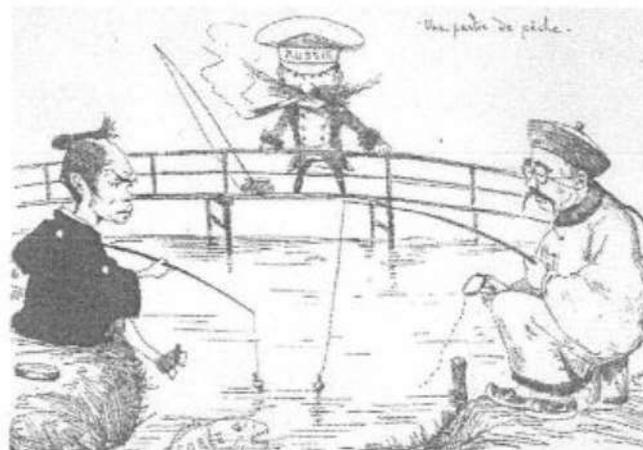
差-2.9

自校()

6 つよしさんは、明治時代の条約改正が行われた頃のできごとを年表にまとめました。あとの間に答えなさい。

年	できごと	調べたこと
1858	日米修好通商条約を結ぶ	
1871	岩倉使節団が外国を訪れる	→ 欧米の国々を視察し、条約改正を求めるが失敗した。
1886	ノルマントン号事件がおこる	→ この事件をきっかけに、条約改正を求める声が高まった。
1889	大日本帝国憲法が公布される	
1894	イギリスとの条約が一部改正される (ア)戦争が始まる	→ 外務大臣の(イ)により、領事裁判権(治外法権)が廃止された。
1904	日露戦争が始まる	→ 戦争の費用負担などで、国民の間に不満が残った。
1911	アメリカとの間で条約を改正する	→ 外務大臣の小村寿太郎により(ウ)が回復された。

(1) 次の資料は、年表中の(ア)戦争がおこったころの東アジアの国々の関係を表した絵です。(ア)の中にあてはまる言葉を書きなさい。



(1) (正答) 日清
市54.6
県53.1
差+1.5
自校()

- (2) つよしさんのグループでは、ノルマントン号事件の様子がかかれた次の資料を見ながら話し合っています。あとの問いに答えなさい。



1886年、和歌山県沖の海で、イギリスの貨物船(ノルマントン号)がちんぼつしました。このときイギリス人船長ら乗組員は全員助かったけど、日本人は全員助からなかったんだね。



船長は、最初の裁判では無罪、その後の裁判でも軽い罪にしかならなかったのは、なぜだろう。



つよしさんは、下線部のようにになった理由を、次のように説明しました。



外国(イギリス)と結んだ不平等な条約のために、外国人が日本国内で罪をおかしても、()からです。

つよしさんの説明の()の中にあてはまる内容を、「法律」の語句を使って書きなさい。

(2)(正答)日本の法律ではなく、外国の法律によって裁判が行われた
市44.4 県45.3 差-0.9 自校()

- (3) 年表の(イ)の中にあてはまる、イギリスとの不平等な条約を対等なものに改める交渉を進めた人物を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 板垣退助 2 西郷隆盛 3 陸奥宗光 4 伊藤博文

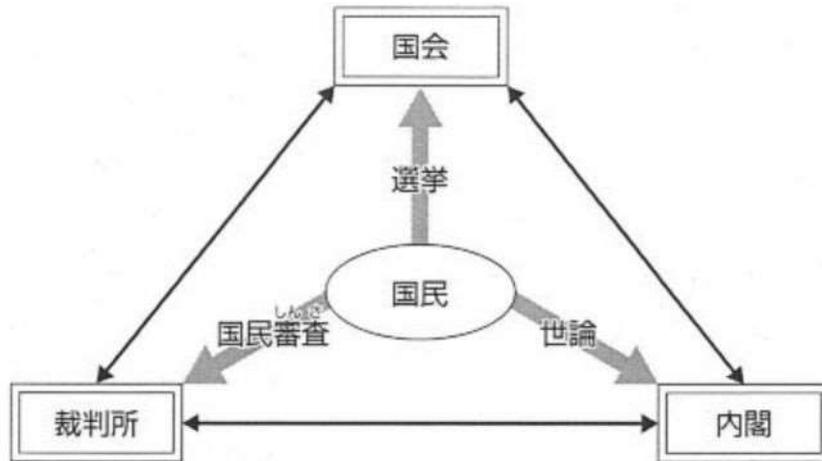
(3)(正答)3 市47.5 県54.2 差-6.6 自校()

- (4) 年表の(ウ)が回復されたことにより、外国からの輸入品にかかる税金を日本が決めることができるようになりました。(ウ)の中にあてはまる言葉を書きなさい。

(4)(正答)関税自主権 市24.6 県29.9 差-5.3 自校()

7

次の図は、国民と、国会、内閣、裁判所との関係を表しています。この図を見て、あとの問いに答えなさい。



- (1) 図中の国会の働きとして正しいものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 国務大臣を任命する。
- 2 法律や予算を決める。
- 3 法律や予算をもとに政治を行う。
- 4 争いごとや犯罪を法律にもとづいて解決する。

(1) (正答) 2
市38.1
県40.9
差-2.8
自校()

- (2) 2009年5月から、刑罰が重いと思われる犯罪の裁判で、訴えられた人が有罪か無罪か、有罪の場合はどのくらいの刑にするかを、国民が裁判官と一緒に話し合っ

て決める制度が始まっています。この制度が導入された理由としてふさわしいものを、次の1から5までの中から2つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 より多くの人に裁判を傍聴してもらうため。
- 2 テレビや新聞の情報を参考に裁判をするため。
- 3 国民に主権者として裁判や法律への関心をもたせるため。
- 4 一般の国民の中から法律のプロを育てるため。
- 5 国民の感覚や視点を裁判にいかすため。

(2) (正答) 3、5
【完答・順不同】
市55.0
県56.3
差-1.3
自校()

中学校 第 1 学年

数学

1 次の計算をしなさい。

(1) $200 - 93$

(1) (正答) 107
市89.9 県91.1
差-1.2 自校()

H25全国調査の類似問題
【422-26】の平均正答
率は85.8%

①

(2) $10.5 + 2.9$

(2) (正答) 13.4
市93.3 県93.8
差-0.5 自校()

②

(3) $80 - 30 \div 5$

(3) (正答) 74
市85.6 県83.2
差+2.5 自校()

H26県調査の類似問題
【16-6÷2】の平均正答
率は、83.3%

③

(4) $\frac{3}{4} \div \frac{3}{2}$

(4) (正答) $\frac{1}{2}$
市92.4 県93.3
差-0.9 自校()

H24県調査の類似問題
【3/8÷9/2】の平均正答
率は、85.6%

④

(5) $1 - 0.5 \times \frac{1}{3}$

(5) (正答) $\frac{5}{6}$
市59.1 県59.3
差-0.2 自校()

⑤

2 次の問いに答えなさい。

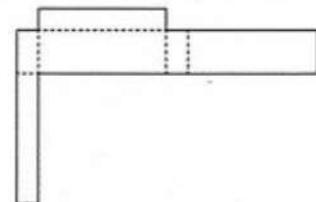
(1) 2Lのジュースを3等分すると、1つ分の量は何Lですか。答えを分数で書きなさい。

(1) (正答) $\frac{2}{3}$ L
市49.3 県47.8 差+1.5 自校()

⑥

(2) 右の展開図を組み立てて立体をつくります。

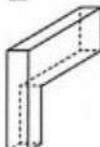
その見取図として正しいものはどれですか。次の
1から4までの中から1つ選んで、その番号を書き
なさい。



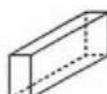
1



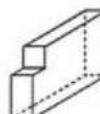
2



3



4



(2) (正答) 3
市75.8
県77.6
差-1.8
自校()

⑦

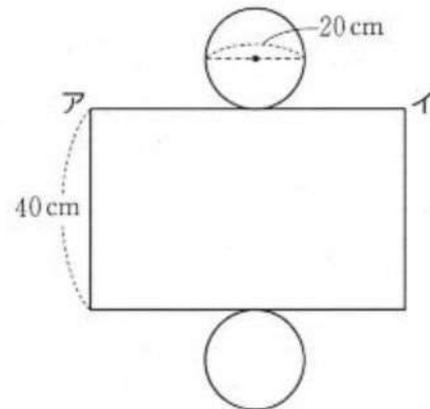
- (3) 次の**1**から**5**のうち、980 mLに最も近い量はどれですか。次の**1**から**5**までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 100L **2** 10L **3** 1L **4** 1dL **5** 0.1dL

(3)(正答) 3
市56.0 県58.0
差-1.9 自校()

- (4) 右の図は、底面の円の直径が20 cm、高さが40 cmの円柱の展開図です。次の問いに答えなさい。

ただし、円周率は3.14とします。



- ① 辺アイの長さは何 cm ですか。答えを書きなさい。

①(正答) 62.8 (cm)
市42.0 県46.9
差-4.9 自校()

- ② 展開図を組み立ててできる円柱の体積は何 cm^3 ですか。答えを書きなさい。

②(正答) 12560 (cm^3)
市51.8 県54.7
差-2.9 自校()

- (5) ある教室の面積は 80 m^2 です。この教室に40人の生徒がいるとき、 1 m^2 あたりの生徒の人数を求める式はどれですか。次の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 $80 - 40$ **2** 40×80
3 $80 \div 40$ **4** $40 \div 80$

(5)(正答) 4
市36.6 県38.2
差-1.6 自校()

3

次の問いに答えなさい。

- (1) たけしさんと妹の量の比が4:3となるように630mLのジュースを分けます。たけしさんのジュースの量を求める式はどれですか。次の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ㊟

1 $630 \times \frac{3}{4}$

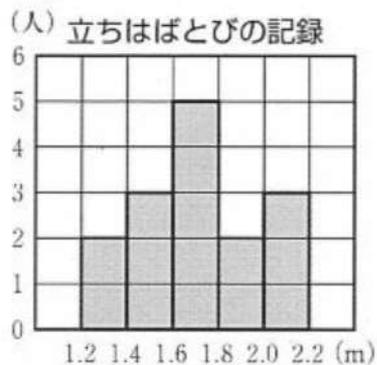
2 $630 \times \frac{4}{7}$

3 $4:3=x:630$

4 $7:4=x:630$

(1) (正答) 2
市49.3 県53.2
差-3.9 自校()

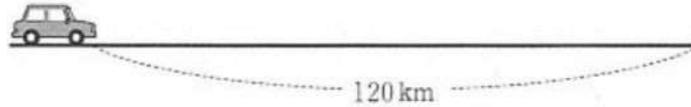
- (2) 次の柱状グラフは、あるクラスの15人の立ちばとびの記録を表しています。このグラフから、例えば、記録が1.2m以上1.4m未満の人は2人いることがわかります。



記録が1.6m以上の人は、何人いますか。答えを書きなさい。 ㊟

(2) (正答) 10 (人)
市86.2 県87.9
差-1.7 自校()

- 4** しょうこさんは、120kmの道のりを自動車で移動するときの、かかった時間と速さについて調べました。



次の表は、120kmの道のりを自動車で移動したときにかかった時間を x 時間、そのときの速さを時速 y kmとして、その関係を表したものです。

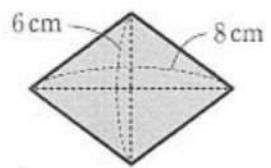
かかった時間 x (時間)	1	2	3	4	5	6	
時速 y (km)	120	60	40	30	24	20	

上の表の x と y の関係の説明として、正しいものはどれですか。次の**1**から**4**までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 **ⓐ**

- 1** x の値が1ずつおおい増えると、 y の値が減っているので、 y は x に反比例しています。
- 2** x の値が2倍、3倍、…になったとき、それにもなって y の値も2倍、3倍、…になっているので、 y は x に反比例しています。
- 3** x の値でそれに対応する y の値をわった商が、いつも決まった数なので、 y は x に反比例しています。
- 4** x の値とそれに対応する y の値の積が、いつも決まった数なので、 y は x に反比例しています。

4 (正答) 4
市32.9 県35.7
差-2.7 自校()

5 えみさん、たかしさん、あきらさん、かおるさんは、算数の授業で、右の図のようなひし形の面積の求め方を話し合っています。次の問いに答えなさい。



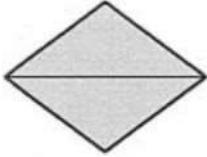
(1) えみさんは、このひし形の面積の求め方を、次のように説明しました。

【えみさんの説明】

右の図のように、ひし形を2つの三角形に分けます。

三角形の底辺は8cm、高さは $6 \div 2 = 3$ で3cmです。

だから、ひし形の面積を求める式は、 $(8 \times 3 \div 2) \times 2$ です。



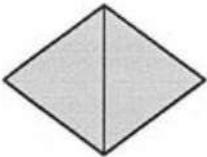
たかしさんは、このひし形の面積の求め方を、次のように説明しました。

【えみさんの説明】を参考にして、下の の中に入る説明を、式や言葉を使って書き、**【たかしさんの説明】**を完成させなさい。 ⑤

【たかしさんの説明】

右の図のように、ひし形を2つの三角形に分けます。

※解答は、すべて解答用紙に書きなさい。



(1) (正答例) 三角形の底辺は6cm、高さは $8 \div 2 = 4$ で4cmです。だから、ひし形の面積を求める式は、 $(6 \times 4 \div 2) \times 2$ です。

市65.2 県66.4
 差-1.2 自校()

(2) あきらさんは、このひし形の面積の求め方を、次のように説明しました。

【あきらさんの説明】

右の図のように、ひし形を4つの三角形に分けます。

分けた三角形のうち、2つを動かして長方形にします。

この長方形の面積を求める式は、です。

①に入る式として最もふさわしいものはどれですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 $(6 \div 2) \times 8$

2 $(6 \div 2) \div 8$

3 $6 \times (8 \div 2)$

4 $6 \div (8 \times 2)$

(2) (正答) 3

市70.5

県72.4

差-1.9

自校()

(3) かおるさんは、このひし形の面積の求め方を、ひし形のまわりに長方形をかいて、次のように説明しました。

【かおるさんの説明】

右の図のように、ひし形アイウエのまわりに長方形オカキクをかきます。

ひし形アイウエを、三角形アイエと三角形ウイエに分けます。

さらに、イとク、イとキをむすぶ線をかきます。

三角形アイエと三角形ウイエは、
とがそれぞれ同じ長さなので、
 面積が等しくなります。

同じように、三角形ウイエと三角形キイエも、
 面積が等しくなります。

だから、ひし形アイウエの面積は、
 の面積と等しくなります。

の面積を求める式は、です。

②, ③, ④に入る言葉を書きなさい。また、⑤に入る式を書きなさい。

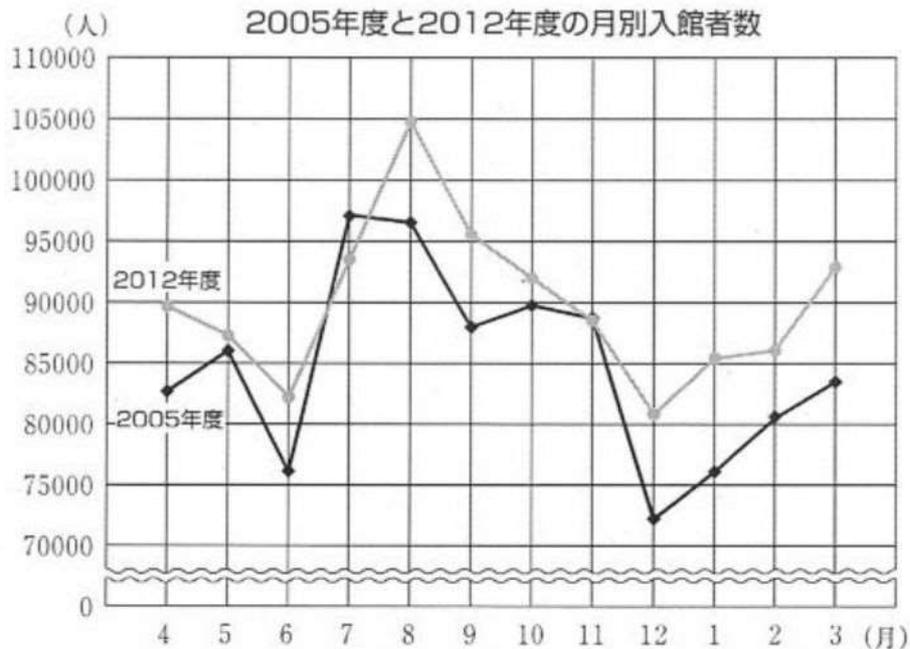
②③(正答)②底辺③高さ【完答・順不同】
 市51.9 県54.3 差-2.3 自校()

④⑤(正答)④三角形イキク⑤ $6 \times 8 \div 2$ 【完答】
 市42.9 県46.2 差-3.3 自校()

6

だいすけさんは、利用者数が全国1位になっている岡山県立図書館に興味を持ち、インターネットを使って調べました。次の問いに答えなさい。

- (1) 次の折れ線グラフは、岡山県立図書館の2005年度と2012年度の月別の入館者数を表しています。



(岡山県立図書館年報)

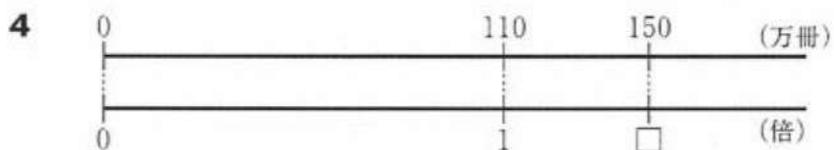
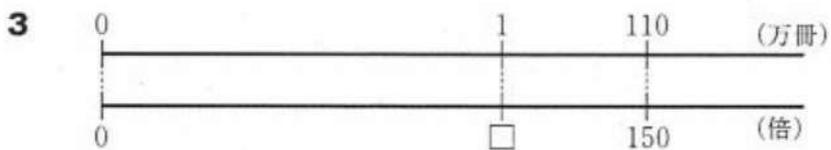
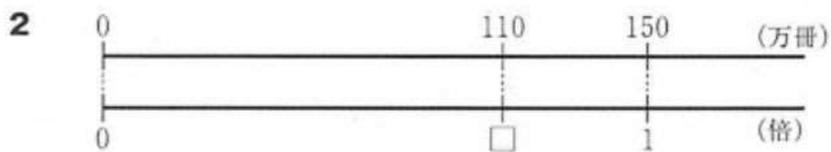
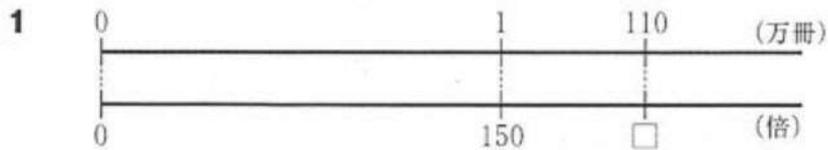
2005年度と2012年度の月別の入館者数の説明として、正しいものはどれですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 どの月も2012年度の入館者数のほうが多くなっています。
- 2 2005年度と2012年度の入館者数の差が最も少ないのは5月です。
- 3 1年の中で最も入館者数が少ないのは、どちらの年度も12月です。
- 4 入館者数が95000人以上だった月は、2005年度の7月と、2012年度の8月と9月だけです。

(1) (正答) 3
市76.7
県77.7
差-1.0
自校()

(2) 岡山県立図書館の貸出冊数について調べると、2005年度は約110万冊、2012年度は約150万冊であることがわかりました。

だいすけさんは、2012年度の貸出冊数が2005年度の貸出冊数の約何倍かを求めようと思います。求める数を□とすると、正しく関係を表した図はどれですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ㊟



(2) (正答) 4
市61.8
県64.2
差-2.4
自校()

- 7 えりさんたちは、遠足で岡山城おかやまに行きました。
次の問いに答えなさい。



- (1) 配付された岡山城のパンフレットには、岡山城の歴代の城主の家紋かもんがかかれています。



家紋の中には、線対称せんたいしょうな図形といえるものがありそうですね。

次の1から4のうち、線対称な図形はどれですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。また、選んだ図形には、対称の軸じくは何本ありますか。答えを書きなさい。

1



2



(1) (正答)
(番号) 2
(対称の軸) 3 (本)
市65.1
県67.6
差-2.5
自校()

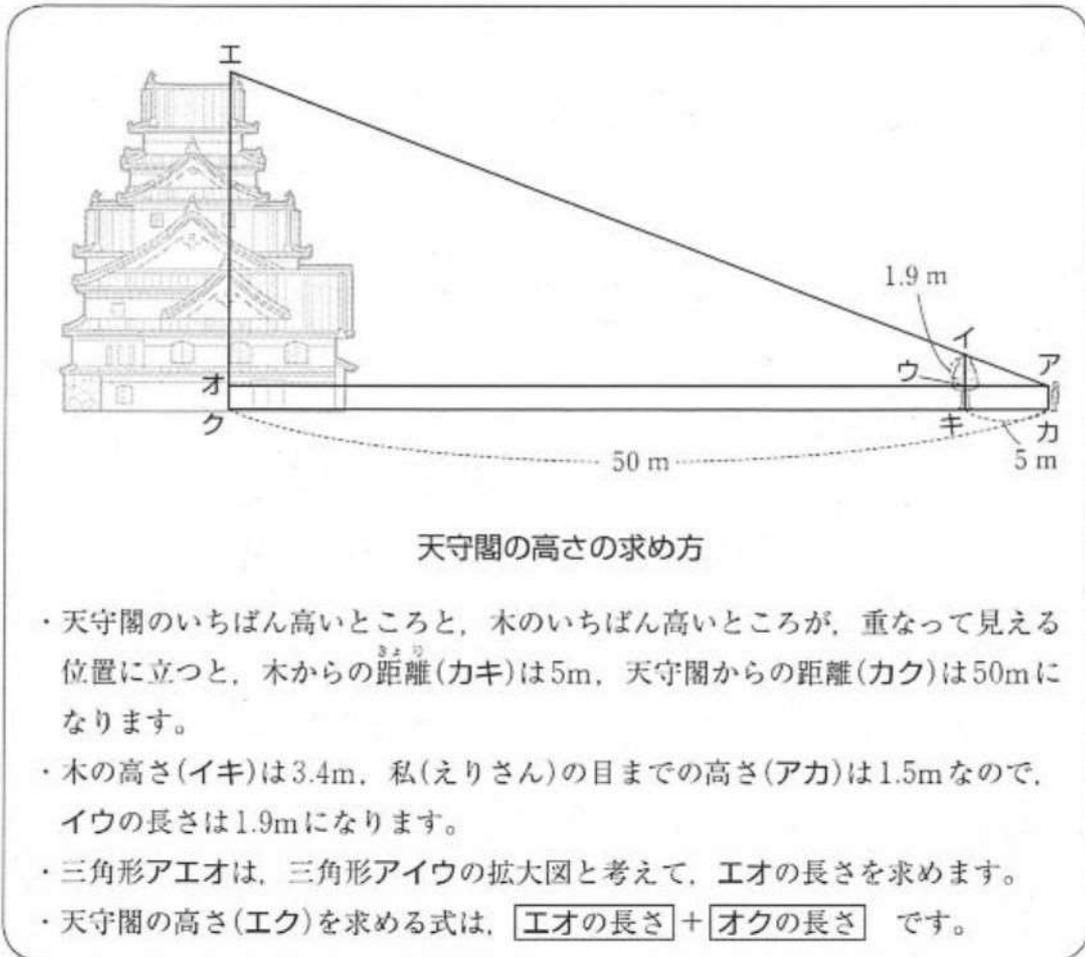
3



4



- (2) えりさんは、岡山城の^{てんしゆかく}天守閣の高さを、次のように求めました。



天守閣の高さ(エク)は何mですか。答えを書きなさい。

(2) (正答) 20.5 (m)
 市20.2
 県22.2
 差-2.1
 自校()

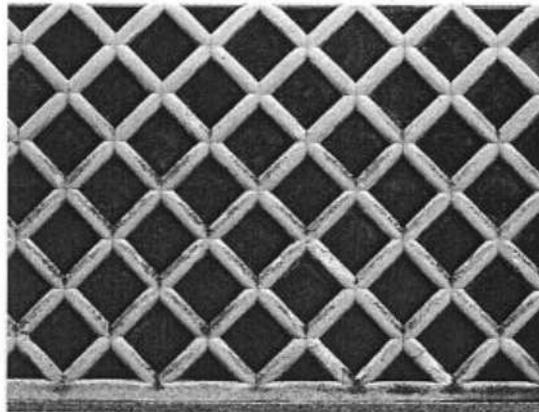
8

ゆうこさんとなおさんは、^{くらしきひかん}倉敷美観地区(写真①)に行きました。



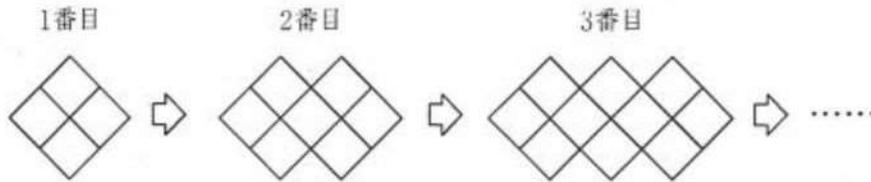
(写真①)

写真①の **ア** の^{かべ}壁をよく見ると、次の写真②のように、正方形のかわらをしきつめた模様をしていました。この壁は、「なまこ壁」というもので、倉敷美観地区で多く見られます。



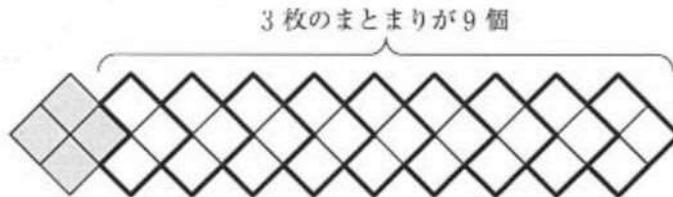
(写真②)

次の図は、ゆうこさんとなおやさんが、なまこ壁を参考に、正方形の紙を順番に並べたものです。1番目の図には4枚、2番目の図には7枚、3番目の図には10枚、正方形の紙があります。



ゆうこさんは、10番目の図における正方形の紙の枚数の求め方を、次のように説明しました。

【ゆうこさんの説明】

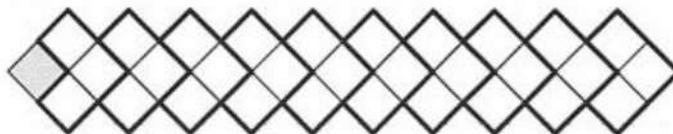


10番目の図は、最初の4枚と、3枚のまとまりが9個あります。
だから、正方形の紙の枚数は、 $4 + 3 \times 9 = 31$ で31枚になります。

なおやさんは、10番目の図における正方形の紙の枚数の求め方を、次のように説明しました。

【ゆうこさんの説明】にならって、3枚の正方形のまとまりに着目して、下の の中に入る説明を、式や言葉を使って書き、**【なおやさんの説明】**を完成させなさい。㊦

【なおやさんの説明】



10番目の図は、最初の1枚と、

※解答は、すべて解答用紙に書きなさい。

8 (正答例) 3枚のまとまりが10個あります。だから、正方形の枚数は $1 + 3 \times 10 = 31$ で31枚になります。
市66.2 県66.7
差-0.5 自校()

中学校 第 1 学年

理科

1

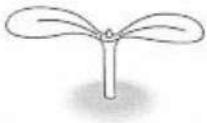
まりこさんは、4月から1年間観察した自然の生物のようすを、次の図のようにまとめました。ただし、サクラ(ソメイヨシノ)の1年間のようすについては、季節の順に並んでいません。あとの問いに答えなさい。

サクラ(ソメイヨシノ)

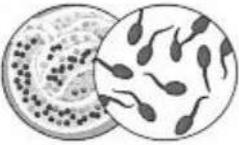
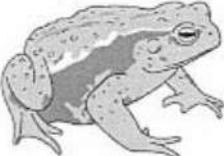
<p>ア</p>  <p>枝には葉がついていなかった。枝には小さく固い芽がついていた。</p>	<p>イ</p>  <p>緑色の大きな葉がたくさんしげっていた。</p>	<p>ウ</p>  <p>葉が黄色や赤色になって、かれてきた。</p>	<p>エ</p>  <p>花がたくさんさいていた。枝には葉の芽がついていた。</p>
--	---	---	---

春 → 冬

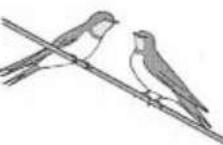
ヘチマ

			
---	---	--	---

ヒキガエル

			
---	---	--	---

ツバメ

			<p>南の国へ</p>
---	---	--	-------------

- (1) 左ページの図のアからエは、サクラの1年間のようすです。アからエを、季節の順に並べかえると、どのようになりますか。春をはじめにして、記号を左から順に書きなさい。

(1) (正答) エーイーウーア 【完答】
市60.3 県58.1 差+2.2 自校()

- (2) 夏から秋になると、ヘチマは実をつけます。ヘチマは、この実の中に何を残して冬をむかえますか。

(2) (正答) 種子 (種も可)
市90.2 県90.2 差+0.1 自校()

- (3) 冬のヒキガエルのように最もあてはまるものを、次の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 食べ物を探して動き回っている。
- 2 南の暖かい地方に移動している。
- 3 数ひきが集まってさかんに鳴いている。
- 4 土の中などでじっとしている。

(3) (正答) 4
市89.3
県90.4
差-1.1
自校()

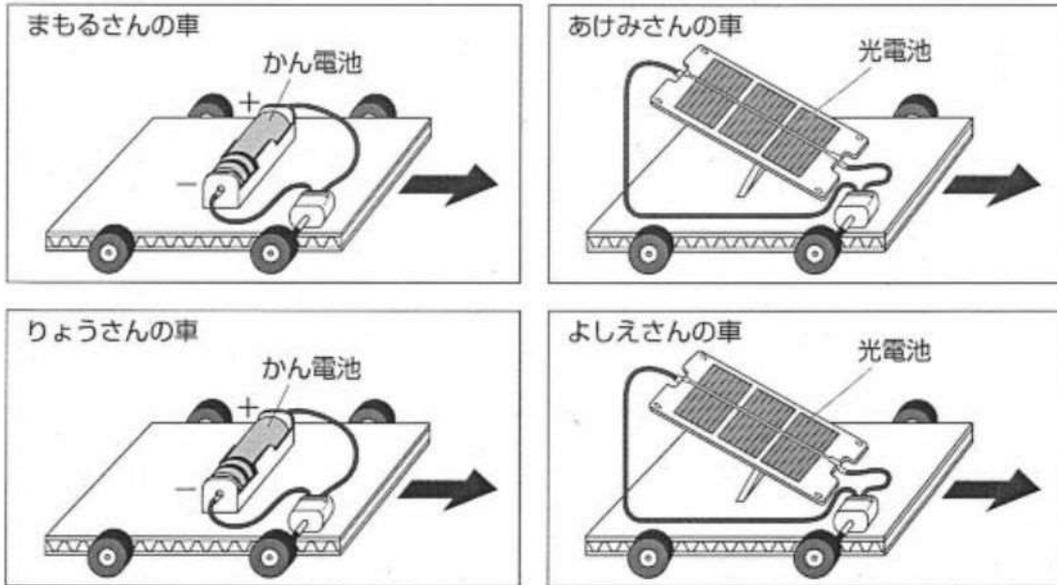
- (4) 暖かくなると、植物と動物のようすはそれぞれどのようにになりますか。次の1から4までのの中から正しい組み合わせを1つ選んで、その番号を書きなさい。

- 1 { 植物のようす…枝やくきがよくなるのびて、葉が増える。
動物のようす…さかんに活動するものが増える。
- 2 { 植物のようす…枝やくきがよくなるのびて、葉が増える。
動物のようす…あまり活動しなくなるものが増える。
- 3 { 植物のようす…葉がかれ落ち、あまり成長しなくなる。
動物のようす…さかんに活動するものが増える。
- 4 { 植物のようす…葉がかれ落ち、あまり成長しなくなる。
動物のようす…あまり活動しなくなるものが増える。

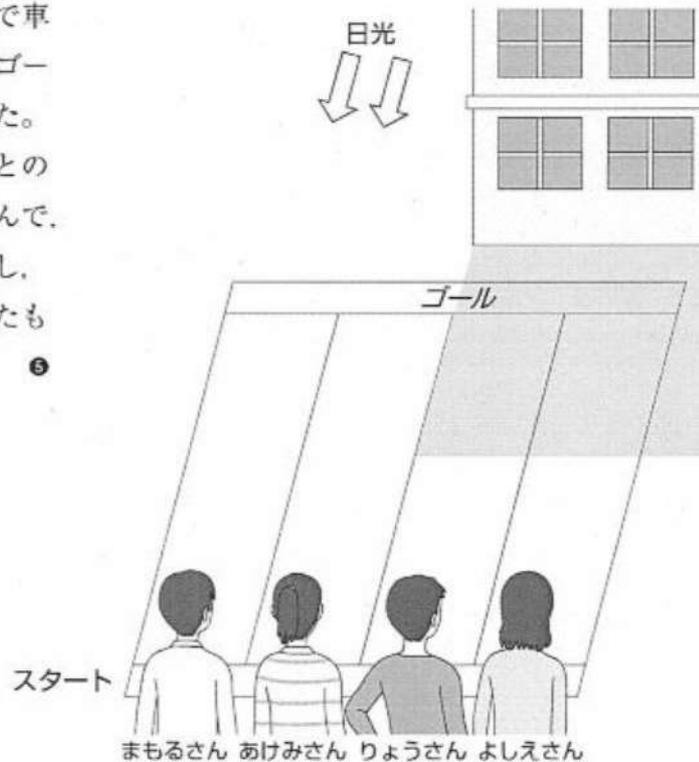
(4) (正答) 1
市89.8
県89.8
差 0.0
自校()

2

次の図のように、まもるさんとりょうさんは、かん電池で走る車を、あけみさんとよしえさんは、光電池で走る車を、矢印の方向を前にして進むように作りました。あとの問いに答えなさい。



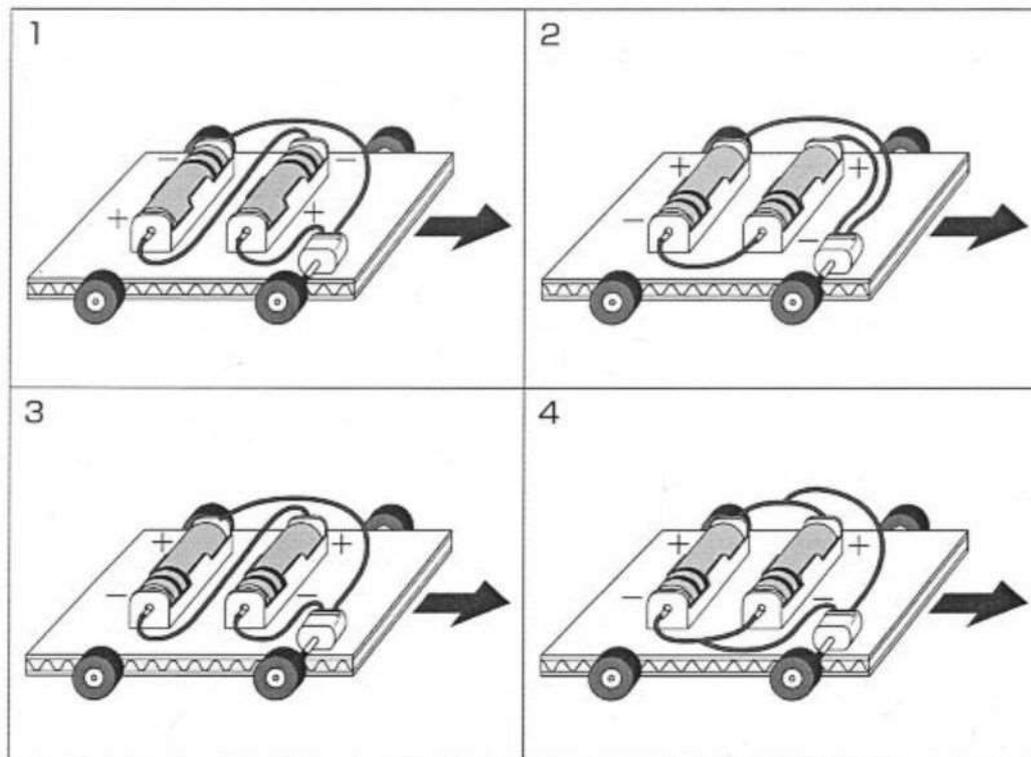
(1) 右の図のように、校舎の裏で車を前に走らせたとき、1つだけゴールできなかった車がありました。ゴールできなかった車を、あとの1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。ただし、かん電池は新しいものを使っただけです。



- | | |
|-----------|-----------|
| 1 まもるさんの車 | 2 あけみさんの車 |
| 3 りょうさんの車 | 4 よしえさんの車 |

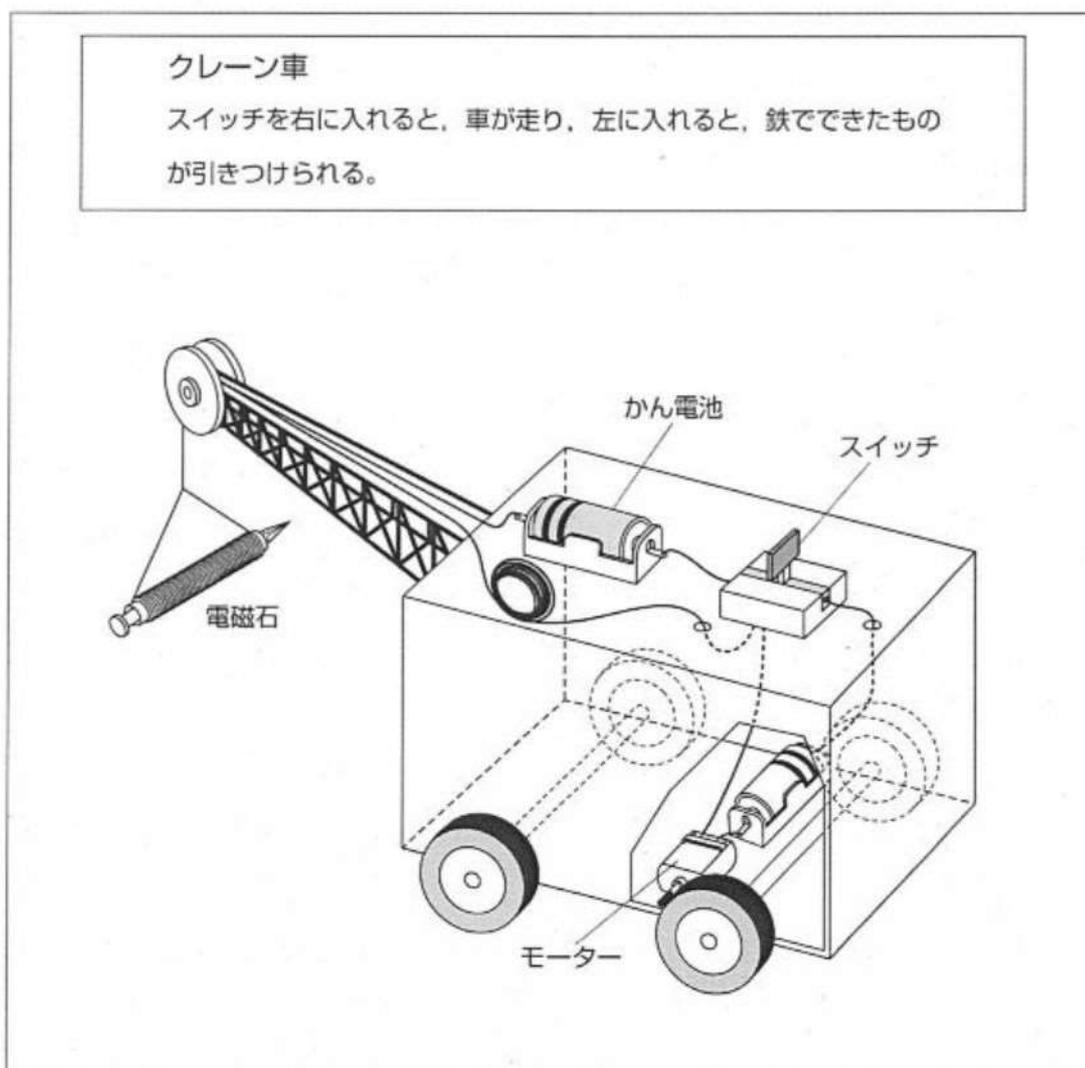
(1) (正答) 4
市91.3
県91.0
差+0.3
自校()

- (2) まもるさんは、かん電池を2つにして、矢印の方向に車を速く走らせようと思いました。車の進行方向を考えて、いちばん速く走る車を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ⑥



(2) (正答) 3
 市46.1
 県45.1
 差+1.0
 自校()

- (3) りょうさんとまもるさんは、これまでに作った車に、次の図のような電磁石でんじしつをつけたクレーン車を作りました。



りょうさんとまもるさんは、電流を強くしたり、コイルの巻数(導線の巻数)を増やしたりすれば、電磁石のはたらきは大きくなり、重いものを引きつけられると考えました。そこで、りょうさんとまもるさんは、自分の考えを確かめるために、それぞれ下の表のように条件を整えて、実験計画を立てました。



りょうさん

電流を強くすると、電磁石のはたらきが大きくなって、重いものを引きつけられると思う。

変える条件	変えない条件
(ア)	(イ) 導線の長さ



まもるさん

コイルの巻数を増やすと、電磁石のはたらきが大きくなって、重いものを引きつけられると思う。

変える条件	変えない条件
(イ)	(ア) 導線の長さ

※同じ電磁石でクレーン車を使って、それぞれ条件を変えて実験します。

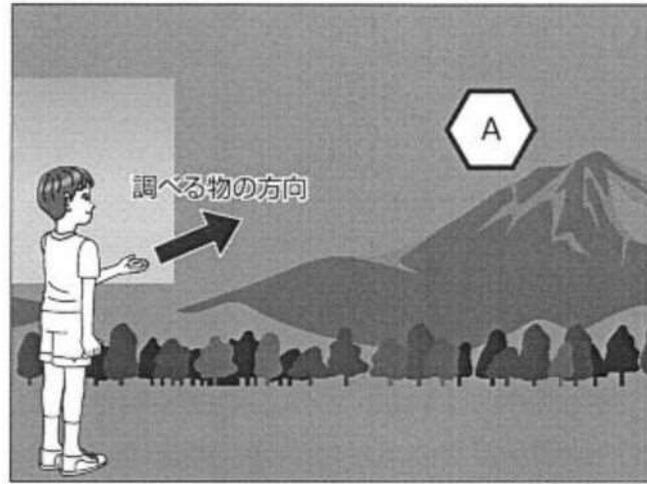
上のりょうさんとまもるさんの会話文の(ア)、(イ)の中にあてはまる言葉を、それぞれ書きなさい。

(3) (正答) (ア) 電流の強さ
(イ) コイルの巻数 【完答】

市68.6
県68.7
差+0.0
自校()

H24全国調査の類似問題の平均正答率は
48.2%

- 3 ある日の夕方、てつおさんは、^{おかやま}岡山県のある山のふもとで、Aの位置に細い月を見ました。てつおさんは、このときの月の方位を調べました。あとの問いに答えなさい。



(1) (正答)
 方位磁針
 市88.8
 県88.7
 差+0.1
 自校()

H24全国調査の
 同一問題の平均
 正答率は89.8%

- (1) てつおさんが使った方位を調べる道具の名前を書きなさい。 ①
- (2) 月の方位の調べ方として正しいものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。また、そのときの月の方位を書きなさい。 ②



(2) (正答)
 (番号) 1
 (方位) 南西
 【完答】
 市35.3
 県36.6
 差-1.3
 自校()

H24全国調査の
 類似問題の平均
 正答率は22.7%

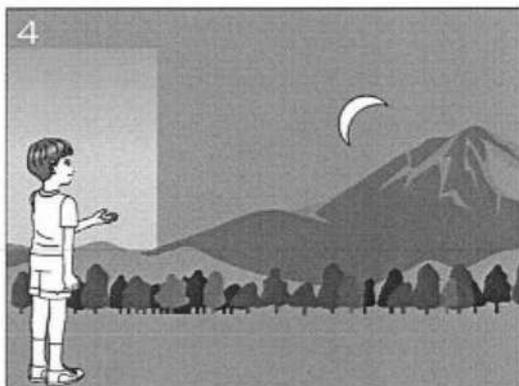
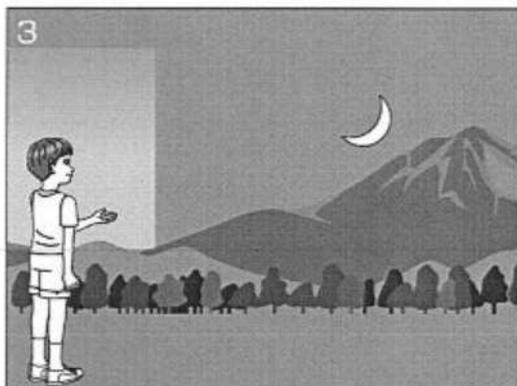
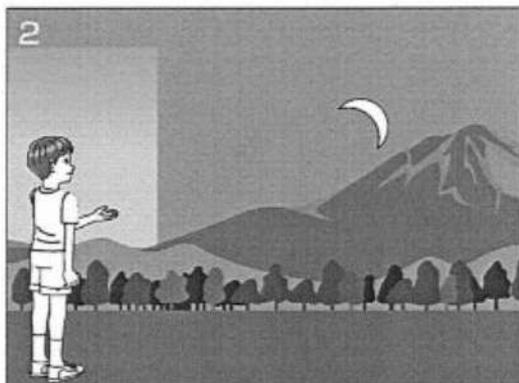
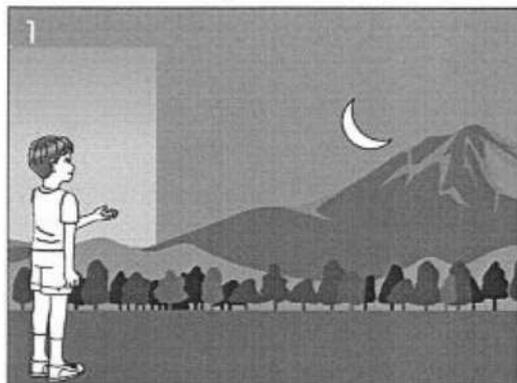


(3) 観察した次の日、てつおさんとお姉さんは、次のような会話をしています。

てつおさん：昨日、細く光る月を観察しました。
お姉さん：月ってどうして光って見えるか、知っていますか。
てつおさん：月は(ア)、光って見えるのだと思います。
お姉さん：昨日観察した月は、どの部分が光っていましたか。
てつおさん：うーん、どこが光っていたのかわからなくなりました。
お姉さん：観察したとき太陽はどこにありましたか。それを考えれば、どこが光っていたのかわかるはずですよ。
てつおさん：暗くなってきていたので、太陽は山の向こう側にしずんだのだと思います。だから、(イ)のように見えるはずですね。
お姉さん：そうですね。また明日からも観察してみましょう。

てつおさんの会話の(ア)にはあてはまる言葉を書きなさい。また、(イ)には、月の見え方を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

10



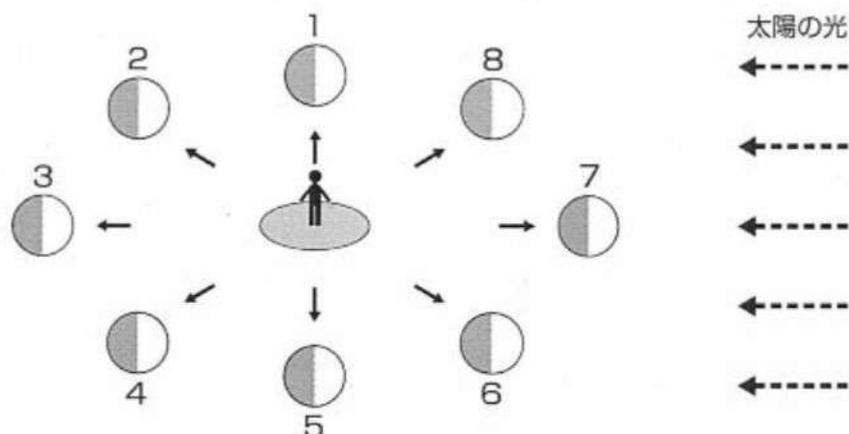
(3) (正答) (ア) 太陽の光を反射するから (イ) 3 【完答】
市68.6 県67.7 差+0.9 自校()

- (4) 月の方位を調べてから30分ほどたったころ、てつおさんが再び月を見ると、月は位置を変えていました。月の動き方を説明しているものはどれですか。次の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ㊦

- 1 太陽と同じように、西→南→東と動くので、南の空へのぼっていた。
- 2 太陽と逆向きに、東→南→西と動くので、西の山の向こうにしずんでいた。
- 3 太陽と逆向きに、西→南→東と動くので、南の空へのぼっていた。
- 4 太陽と同じように、東→南→西と動くので、西の山の向こうにしずんでいた。

(4)(正答) 4 市50.9 県51.9 差-1.0 自校()

- (5) てつおさんはそのあとも、月の観察を続けました。そして、ある日、満月になりました。この日の太陽の光に対する月の位置で、最もふさわしいものはどれですか。次の図の1から8までのの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ㊦

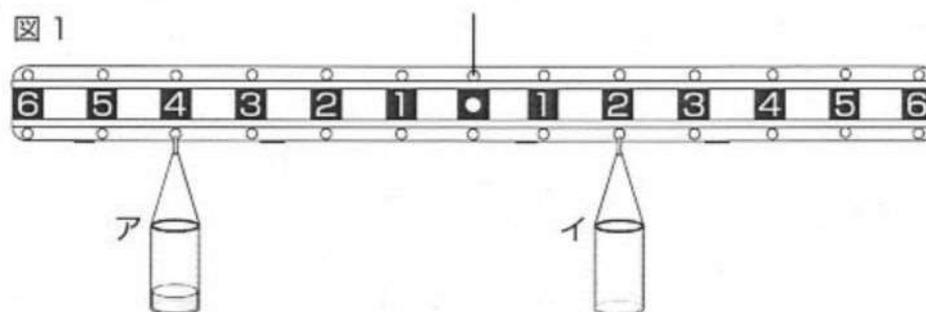


(5)(正答) 3 市70.5 県74.1 差-3.6 自校()

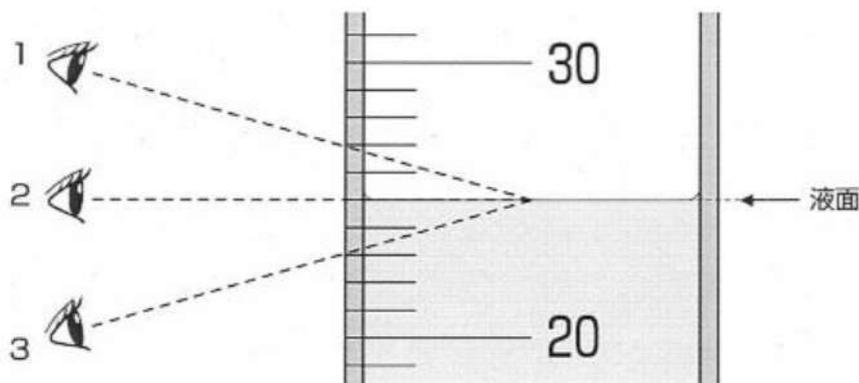
- 4 たかしさんとひろみさんは、重さが50gのふた付きの入れ物を2つ用意し、次のような実験をしました。あとの問いに答えなさい。

実験1 メスシリンダーを使い、水25mL(25g)を用意しました。そして、図1のように、ふた付きの入れ物アに水25gを、ふた付きの入れ物イにいくらかの水を入れて、てこが水平につり合うようにぶら下げました。

図1



- (1) 実験1で、メスシリンダーを使って水の量をはかるとき、液面をどのように見ればよいですか。次の図の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。⑩



(1) (正答) 2
市96.5
県96.2
差+0.3
自校()

- (2) たかしさんとひろみさんは、実験1で、何gの水をふた付きの入れ物イに入れたかを考えています。



たかしさん

実験1のときのアの全体の重さは75gです。
実験1のときのイの全体の重さは、何gかな。



ひろみさん

左のうでのてこをかたむけるはたらきは、
(①)
右のうでのてこをかたむけるはたらきは、
イの全体の重さ $\times 2 = 300$
このことから、イの全体の重さは、150gであることが分かるね。
つまり、イに入れた水の重さは、
(②)
だったんですね。

上のたかしさんとひろみさんの会話文の(①)と(②)の中にあてはまる数字や式の組み合わせを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

⑩

1 $\left\{ \begin{array}{l} \text{①} \cdots 75 \times 2 = 150 \\ \text{②} \cdots 150\text{g} \end{array} \right.$

2 $\left\{ \begin{array}{l} \text{①} \cdots 75 \times 2 = 150 \\ \text{②} \cdots 150\text{g} - 50\text{g} = 100\text{g} \end{array} \right.$

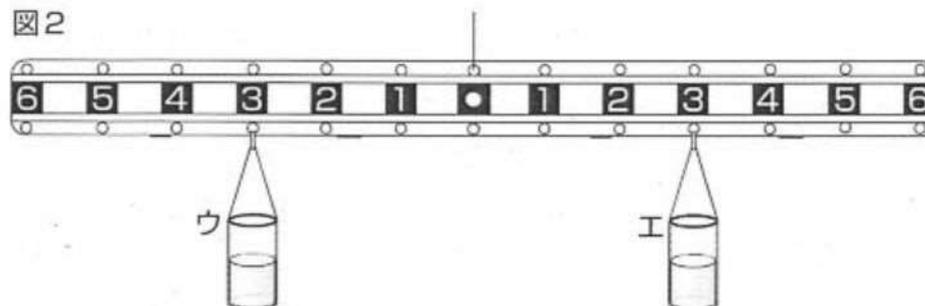
3 $\left\{ \begin{array}{l} \text{①} \cdots 75 \times 4 = 300 \\ \text{②} \cdots 150\text{g} \end{array} \right.$

4 $\left\{ \begin{array}{l} \text{①} \cdots 75 \times 4 = 300 \\ \text{②} \cdots 150\text{g} - 50\text{g} = 100\text{g} \end{array} \right.$

(2) (正答) 4
市31.9
県32.5
差-0.7
自校()

実験2 図2のように、ふた付きの入れ物ウとふた付きの入れ物工にそれぞれ50mL (50g)の水を入れて、てこが水平につり合うようにぶら下げました。

図2



実験3 ふた付きの入れ物ウと工のそれぞれに、食塩かミョウバンのどちらかを15g入れて混ぜました。ウに入れたつぶはすべてとけましたが、工に入れたつぶはとけ残りしました。

このあと、ウと工をそれぞれ再び、てこの3の位置にぶら下げました。

- (3) 実験3で、ウと工をぶら下げたてこはどのようになりますか。次の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ⑬

- 1 ウの方にかたむく。
- 2 工の方にかたむく。
- 3 ウと工は水平につり合う。

(3) (正答) 3
市57.8
県60.3
差-2.5
自校()

- (4) 実験3で、ウの中にとけて見えなくなっているつぶのようすを考えて表した図を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。(●はとけたつぶのようすを表しています。) ⑭



1



2



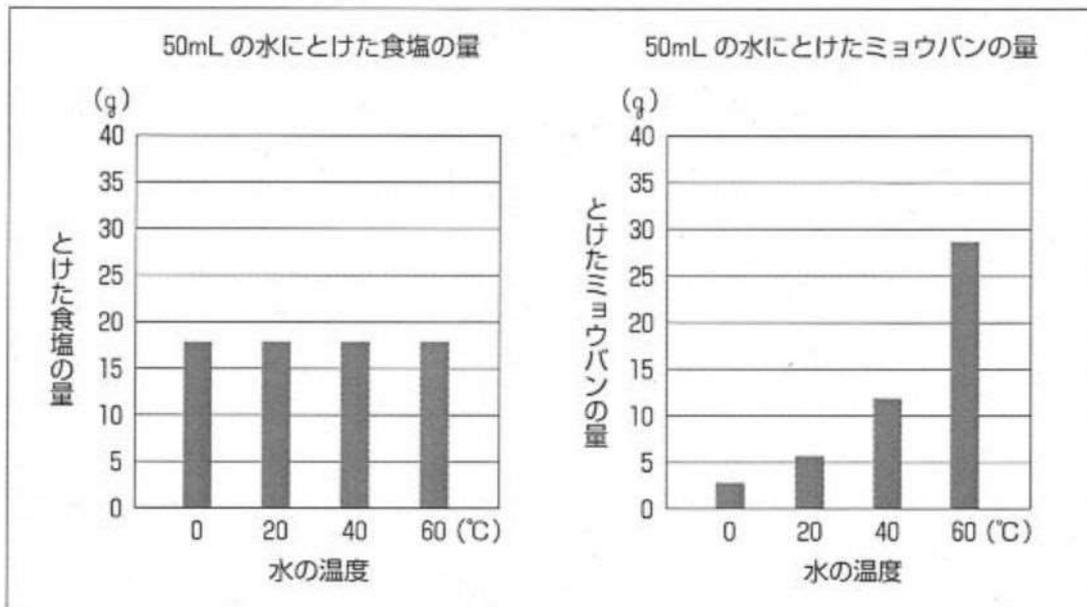
3



4

(4) (正答) 1
市53.1 県54.6
差-1.5 自校()

- (5) 次のグラフは、50mLの水にとけた食塩とミョウバンの量について、水の温度を変えて調べたグラフです。



- ① 実験3で、工に入れて混ぜたのは、食塩かミョウバンのどちらですか。また、そのように考えた理由を、上のグラフのとけた量の数値を使って説明しなさい。(水の温度は20℃とします。) ⑦

- ② 実験3で、工のとけ残ったつぶをすべてとくすためには、どのようにすればよいですか。次の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ⑧

- 1 工の温度を0℃まで冷やす。
- 2 工の温度を40℃まで温める。
- 3 工の温度を60℃まで温める。

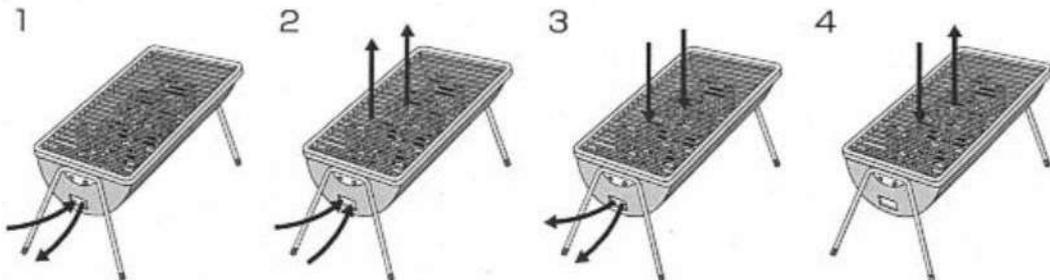
①(正答)ミョウバン
 (理由)水の温度が20℃のとき、ミョウバンは15gとけることができないから。【完答】
 市31.9 県33.5 差-1.5 自校()

②(正答)3
 市77.9 県78.7
 差-0.8 自校()

- 5 ゆうこさんは、家族でバーベキューをしました。次の図のような穴が開いたこんろに炭を入れて火をつけると、炭はよく燃えました。あとの問いに答えなさい。



- (1) 炭が燃えているときの空気の流れは、どのようになっていますか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。 ㊟



(1) (正答) 2 市80.4 県82.5 差-2.1 自校()

- (2) 右の図のように、こんろの穴にふたをすると、炭の燃え方が弱くなりました。そして、再び開けると炭の燃え方が強くなりました。なぜ炭の燃え方が強くなったのですか。理由を書きなさい。 ㊟

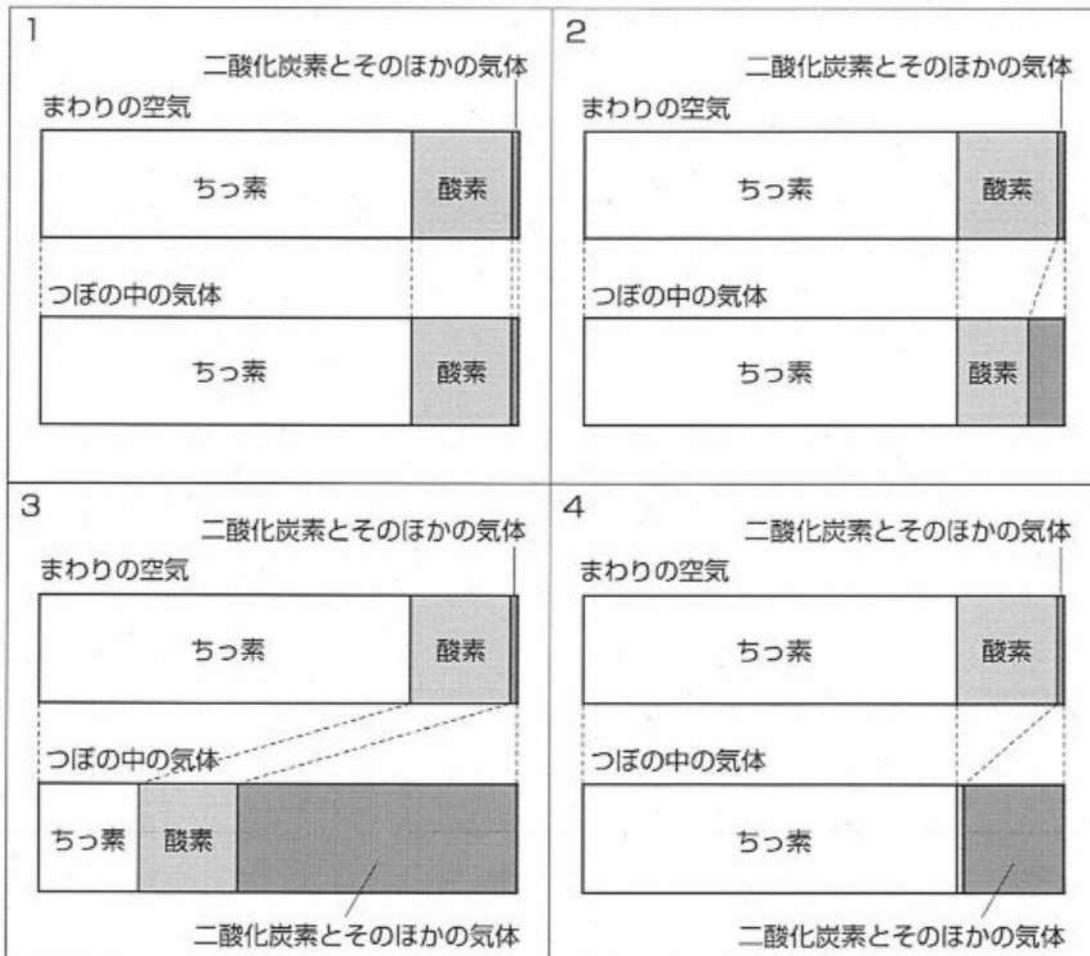
(2) (正答例) 新しい空気が取り入れやすくなるから。
市59.1 県58.8 差+0.3 自校()



- (3) ゆうこさんのお父さんは、バーベキューで使った炭を、右の図のようなつぼに入れていました。このつぼに炭を入れてふたをしておくと、炭の火が消えてしまいます。



ゆうこさんは、なぜ火が消えるのか不思議に思い、気体検知管を使って、まわりの空気と、つぼの中の気体について、気体の体積の割合を調べ、グラフにまとめました。このときの調べた結果として正しいものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。



(3) (正答) 2
市29.6 県29.4
差+0.2 自校()

4 倉敷市の学習状況の特徴

学習状況調査では、66の質問に生徒が回答している。4では、倉敷市の学習状況として特徴的な内容について、下記の項目で分析し、掲載している。

(1) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問（各3問）

(2) 自分自身について（自己意識と生活の様子）

(3) 家庭での様子について

①学習の取り組み方 ②学習時間 ③生活時間

④携帯電話・スマートフォンの使い方

(4) 学校での学習について

①教科等に関する意識 ②学校の授業

(1) 肯定的な回答の割合が高い質問・低い質問

① 肯定的な回答の割合が高い質問（高い方から3問）

[%]

質問内容	市	県	差
(7) 友達との約束を守っている。	97.7	97.9	-0.2
(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	97.3	97.1	0.1
(1) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	96.1	96.5	-0.4

○ 全体的に、昨年度よりも肯定的な回答の割合が高くなっている。

○ (7) については、H24から毎年、肯定的な回答をした生徒の割合が最も高く、友達とのかかわりを大切にしようとする意識の強さがうかがえる。(H24は97.0, H25は97.4, H26は97.2)

○ (12) から「いじめは絶対に許さない」という意識は引き続き高い。(H24は96.3, H25は96.4, H26は96.7)

② 肯定的な回答の割合が低い質問（低い方から3問）

[%]

質問内容	市	県	差
(32) 学校の授業などで、自分の考えをほかの人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいとは思わない。	29.1	30.2	-1.2
(38) 学校の授業の予習をしている。	46.8	49.5	-2.7
(5) 今住んでいる地域の行事に参加している。	55.4	67.1	-11.7

○ (32) については、過去3年と同様に肯定的な回答をした生徒の割合が最も低い質問であった。しかしその割合は、年々上昇してきている。「(45) 授業の中で、学級全体で話し合いをしていた」の割合も上昇していることから、授業内での言語活動の充実が図られていることが分かる。

○ (38) については、肯定的な回答をした生徒の割合が年々増えていたが、今年度は、割合が下がった。(H24は41.0, H25は47.1, H26は49.4) 家庭での学習時間は伸びているので、内容についての具体的な指導の充実が大切である。

○ (5) については、依然低い状態であるが、昨年度よりは、やや改善している。(H26は、54.2)。まったく参加していない生徒の正答率は、参加している生徒に比べやや低い結果となっている。

③ 肯定的な回答の割合が県よりも高い質問（高い方から3問）

[%]

質問内容	市	県	差
(49) 国語の勉強は好きだ。	56.2	55.6	+0.6
(59) 理科の勉強は好きだ。	74.8	74.4	+0.3
(34) 学校の授業で、私語が少なく、落ち着いた雰囲気の中で学習できていた。	74.6	74.5	+0.2

- 全体的に肯定的な回答の割合が増えたことで、昨年度は、県よりも肯定的な回答の割合が高い質問は1問のみであったが、今年度は、6問に増えている。
- (49) については、県との差が昨年度より 2.3 ポイント上昇している。(H26は県との差が-1.7)「(50) 国語の授業の内容はよくわかる」の県との差も(H26は-3.1, H27は-1.6)となっており、分かることが楽しい国語学習を実感している生徒が増えていることが分かる。
- (59) についても、県との差が昨年度より 0.7 ポイント上昇している。(H26は県との差が-0.4)

④ 肯定的な回答の割合が県よりも低い質問（低い方から3問）

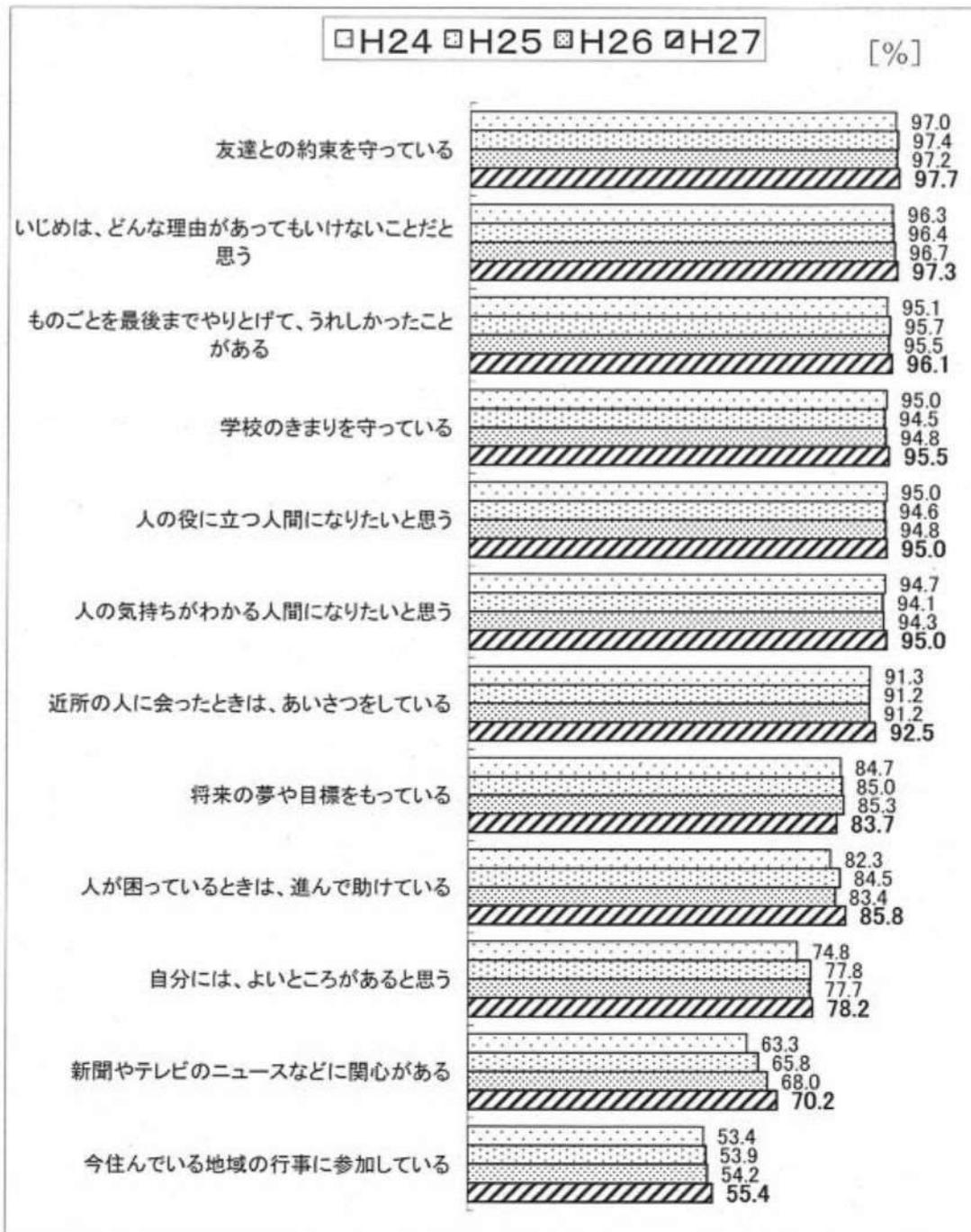
[%]

質問内容	市	県	差
(5) 今住んでいる地域の行事に参加している。	55.4	67.1	-11.7
(32) 学校で、将来の夢や目標について考える学習や活動をした。	75.7	81.0	-5.2
(57) 数学（算数）の授業の内容はよく分かる。	74.3	78.4	-4.0

- (5) は、県の平均と比べ、H24から引き続き、10ポイント以上も低い結果となっている。「(9) 近所の人に会ったときには、あいさつをしている。」(92.5, 県との差-1.1)は、肯定的な回答の割合が高いので、日常的な地域とのつながりはあるものの、行事には参加しづらい状況にあることが推察できる。
- (32) については、県との差は大きくなっているが、肯定的な回答の割合は、昨年度に比べてわずかに増えている。(H26は、-4.1)引き続き、キャリア教育の充実に向けた取組が重要である。
- (57) については、「岡山型学習指導のスタンダード」に示された「授業ファイブ」に基づいた授業の推進により、授業自体の質は向上していると考えられることから、定期的な復習によって、新しい課題を解決するための基盤となる既習事項の定着を図ることが大切である。

(2) 自分自身について（自己意識と生活の様子）

◇次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。

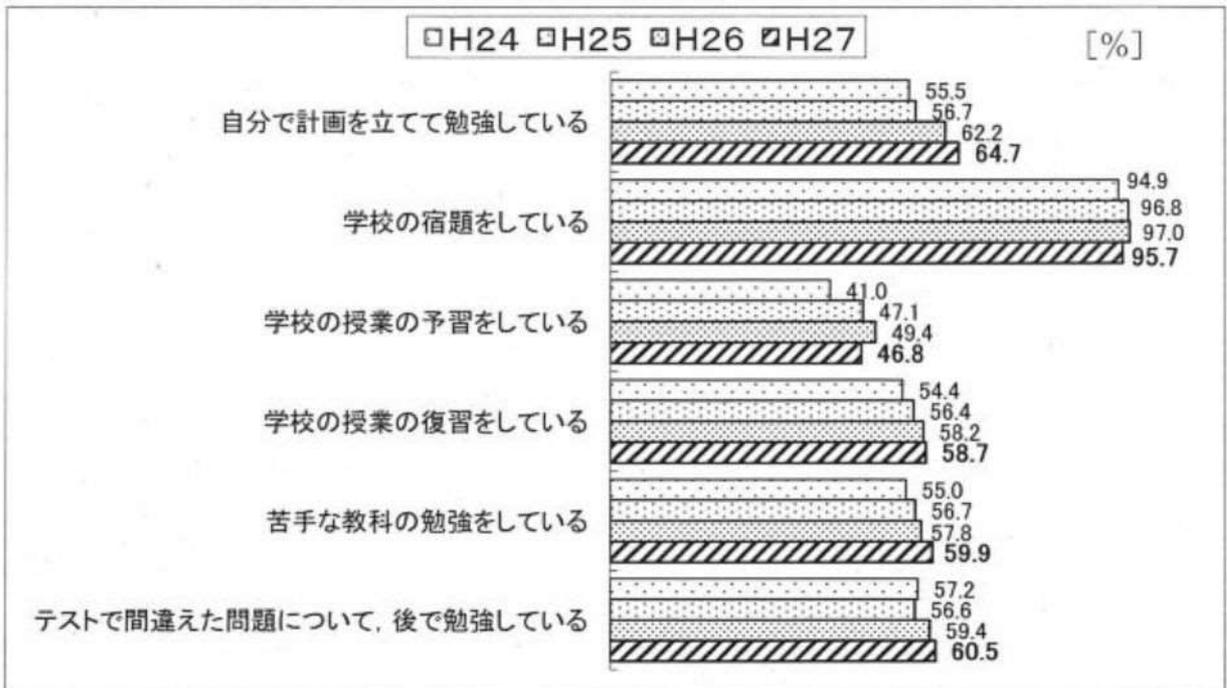


- 自己意識と生活の様子について尋ねた質問の回答結果では、H24から肯定的な回答の割合が、少しずつ増える傾向にある。
- H27は、「将来の夢や目標をもっている」の項目で肯定的な回答の割合がやや減少したが、他の項目では4ヶ年で一番高い割合になっている。
- 4ヶ年とも、肯定的な回答をした生徒の割合が90%を超えているのは、きまりや約束を守ること、近所の人にあいさつをすること、ものごとを最後までやりとげてうれしかったこと、望ましい人間像についての意識、いじめに対する意識である。

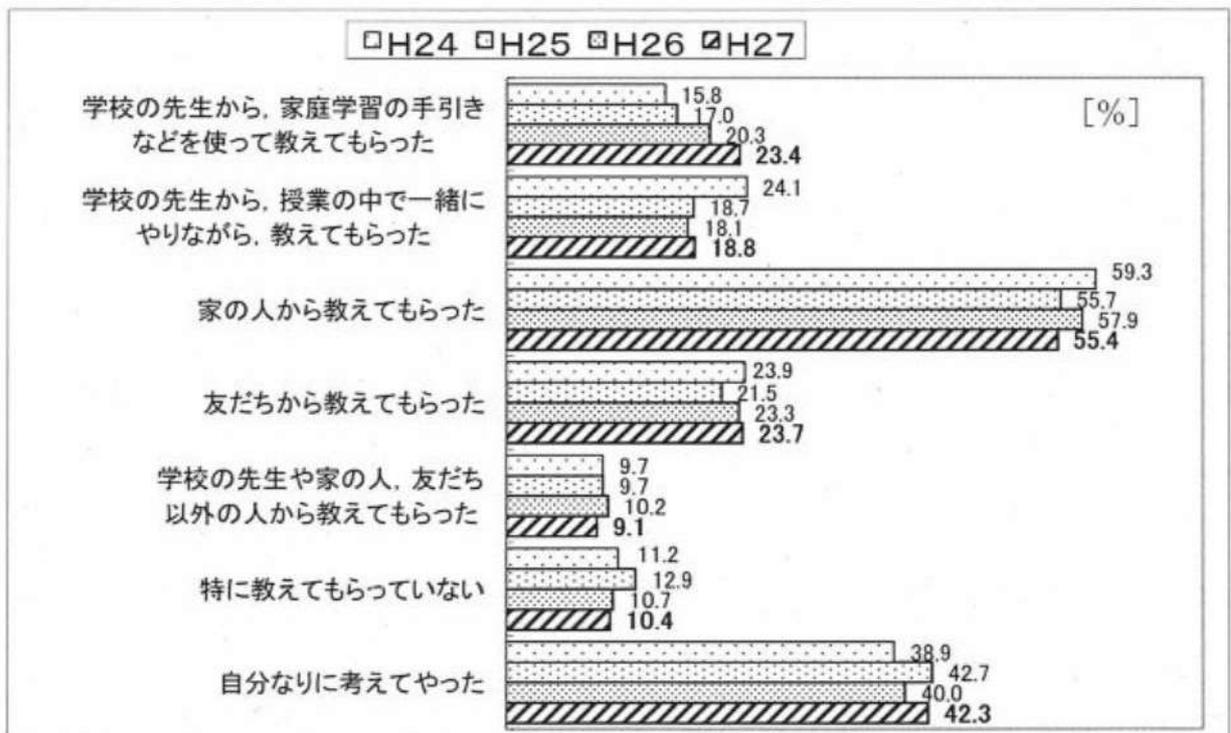
(3) 家庭での様子について

①学習の取り組み方

◇家で次のようなことをしていますか。



◇学習内容や方法について、だれからどのように教えてもらいましたか。



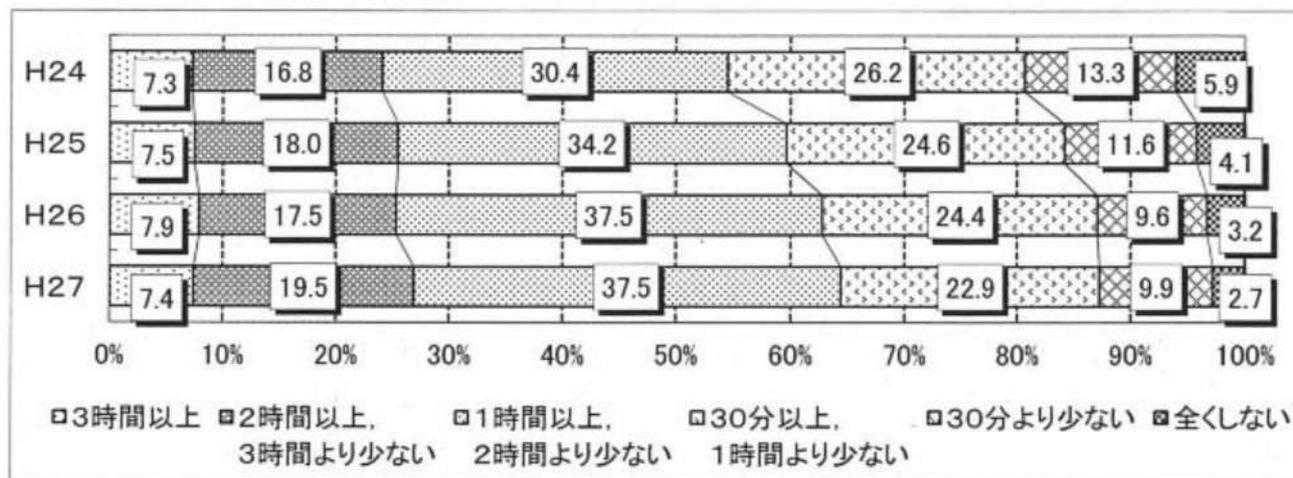
○計画的な学習・苦手な教科の学習・授業の復習等、家庭での学習の取組について、肯定的な回答をした生徒の割合は、全体的に増えている。予習の項目がH26と比較して2.6ポイント減っているため、予習することを意識して家庭学習の取組を進めることが大切である。

○学習の内容や方法を、家庭学習の手引き等で教えてもらう項目が年々増えているため、さらに家庭との連携を図りながら、意欲的に家庭学習に取り組むことができる手だてを講じるのが大切である。

②学習時間

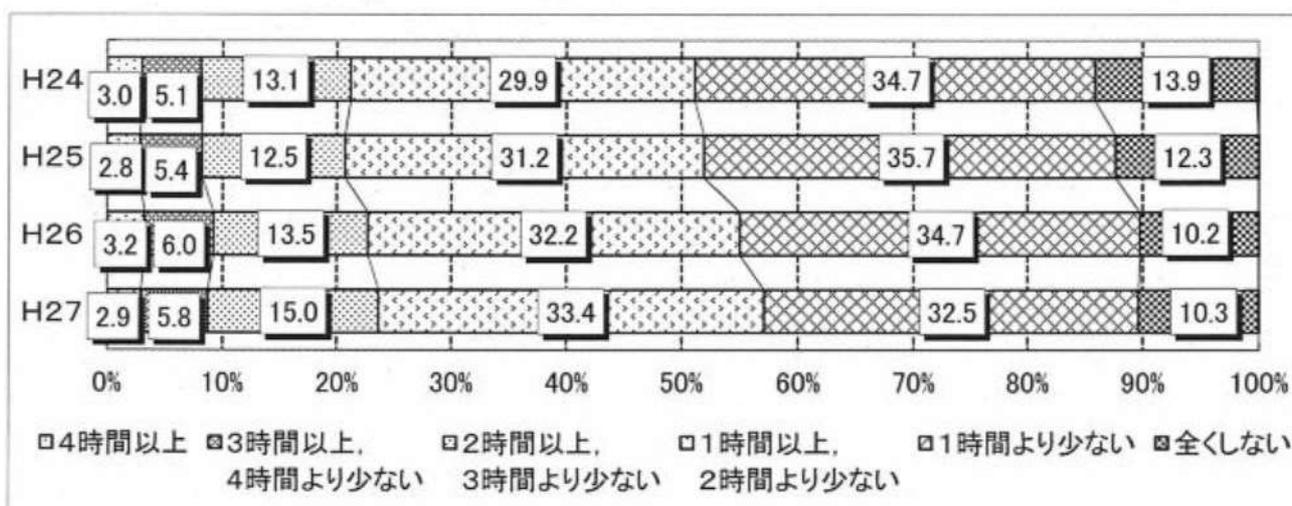
◇平日の学習時間について

学校の授業時間以外で、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（放課後に先生や地域の方に教わっている時間、学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくむ。）



◇休日の学習時間について

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（地域の方に教わっている時間、学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくむ。）



○平日1時間以上勉強している生徒の割合は、年々増えており、県平均との差は縮まっている。

- ・ H24 (58.3%) → H25 (59.7%) → H26 (62.9%) → H27 (64.4%)
- ・ 県平均との差：H26 (-1.6ポイント) → H27 (-0.8ポイント)

○平日、全く勉強しない生徒の割合は、年々減っている。

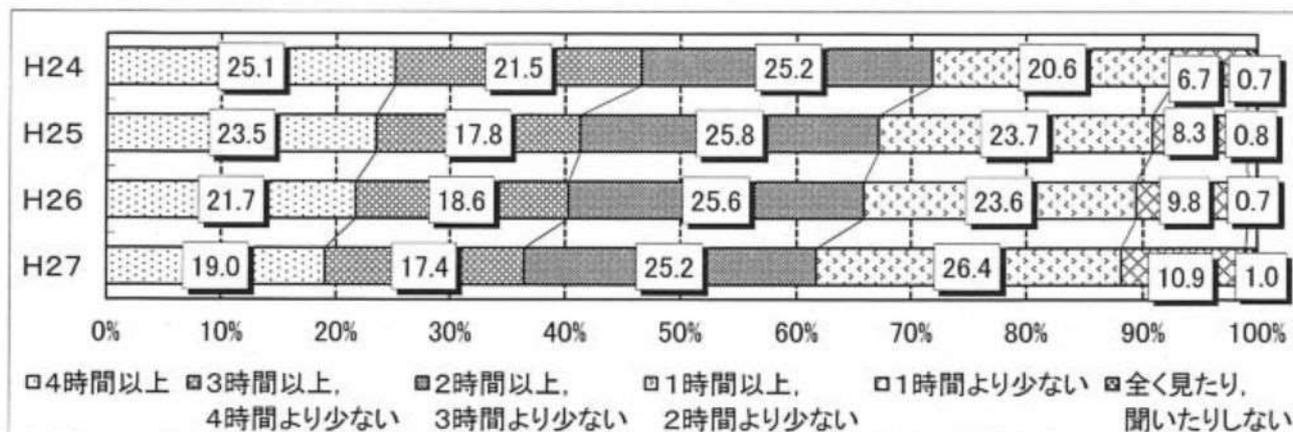
- ・ H24 (5.9%) → H25 (4.1%) → H26 (3.2%) → H27 (2.7%)

○休日の学習時間についても、同様の傾向が見られる。今後も生徒が学習習慣を身に付け、計画的に毎日一定の時間以上家庭学習をすることができるように、課題の出し方についてのさらなる工夫が必要である。

③生活時間（メディア視聴時間、ゲーム時間、通話・通信時間）

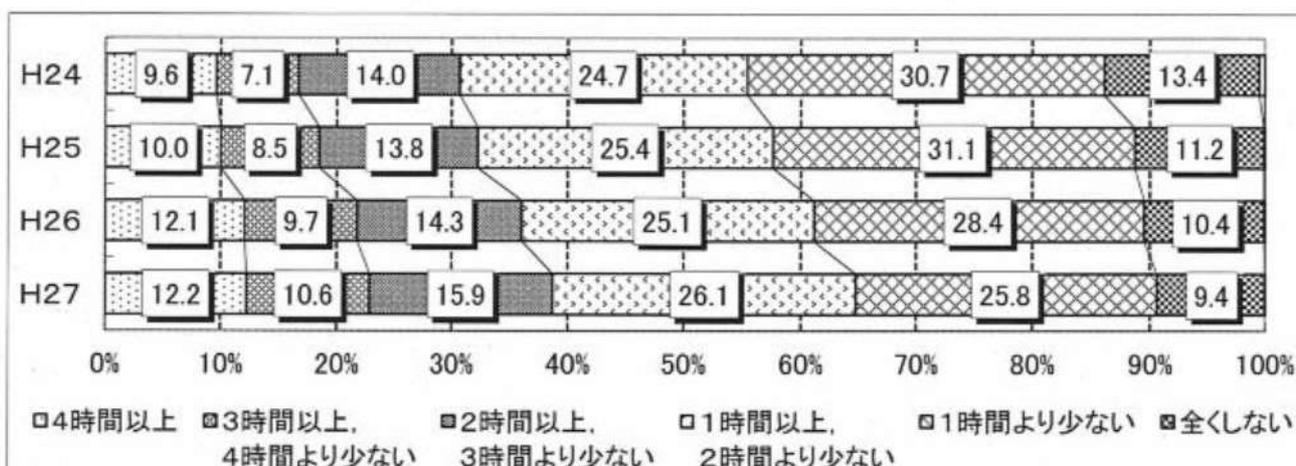
◇メディア視聴時間について

ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見ますか。（テレビゲームをする時間は除く。）



◇ゲーム使用時間について

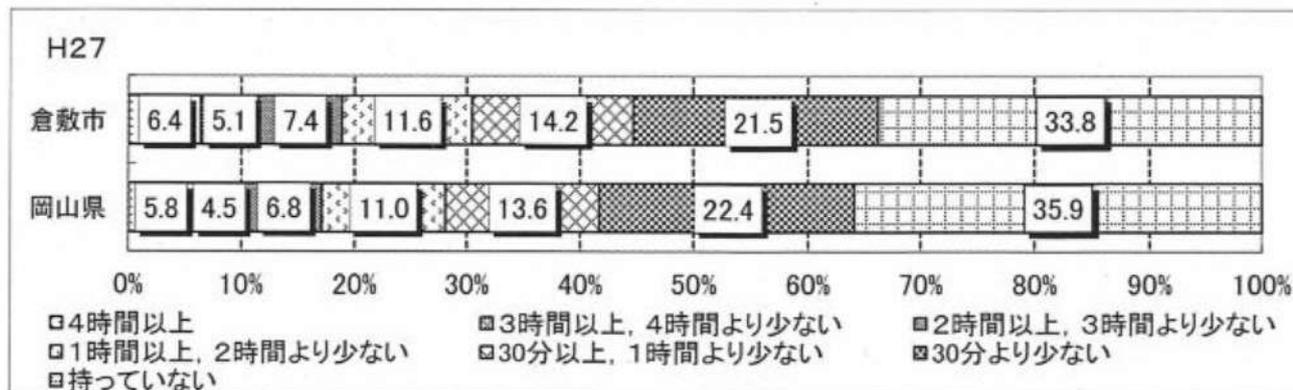
ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームもふくむ。）



◇携帯電話・スマートフォンでの通話・通信時間について

ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く。）※H27から質問項目に追加



○メディア視聴時間については、長時間視聴する生徒の割合は少しずつではあるが、年々減ってきている。

○ゲーム使用時間については年々増えており、平日に1日1時間以上ゲームをする生徒の割合は、64.8%となっている。

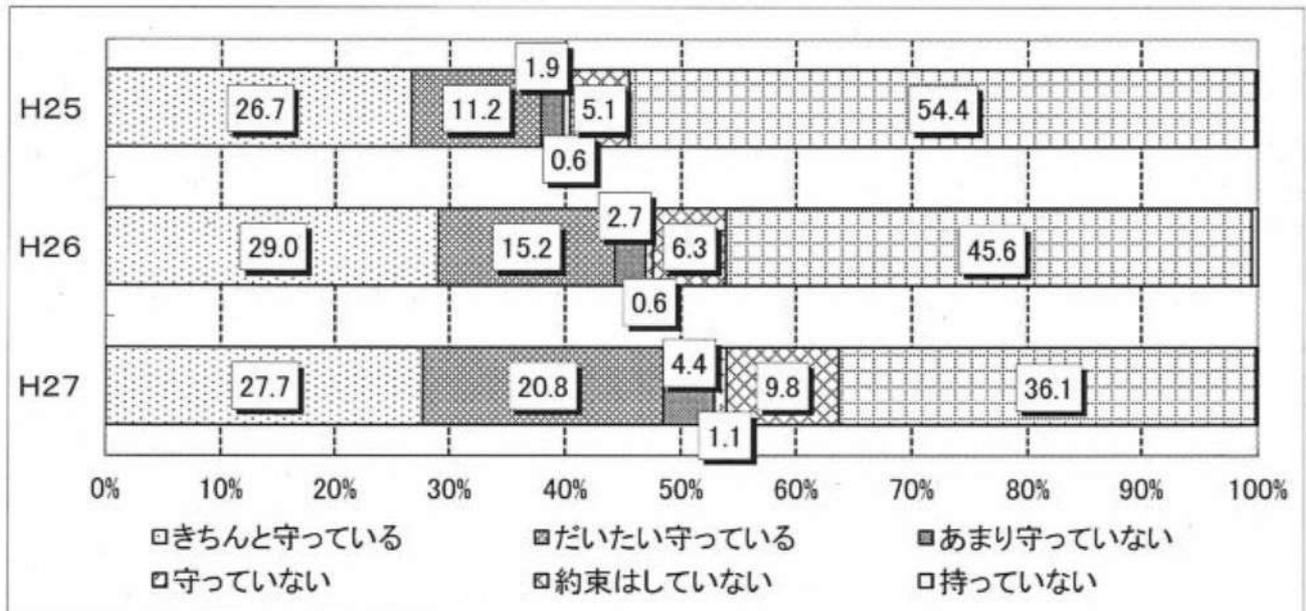
・H24(55.4%)→H25(57.7%)→H26(61.2%)→H27(64.8%)

○今年度から質問項目に加わった携帯電話・スマートフォンでの通話・通信時間については、平日に1日1時間以上の生徒の割合が30.6%となっており、県平均と比べても通話・通信時間が長くなっている。

○ゲーム時間、通話・通信時間の合計時間を考えると、電子・通信機器の長時間利用傾向がさらに進むと考えられる。ネットモラルの視点も含め、継続的な課題として生活時間の改善に取り組む必要がある。

④携帯電話・スマートフォンの使い方

◇携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



○携帯電話やスマートフォンを持っていない生徒の割合が年々減っており、携帯電話やスマートフォンの所持率が高くなっている。

・ [所持率] H25(45.6%)→H26(54.4%)→H27(63.9%)

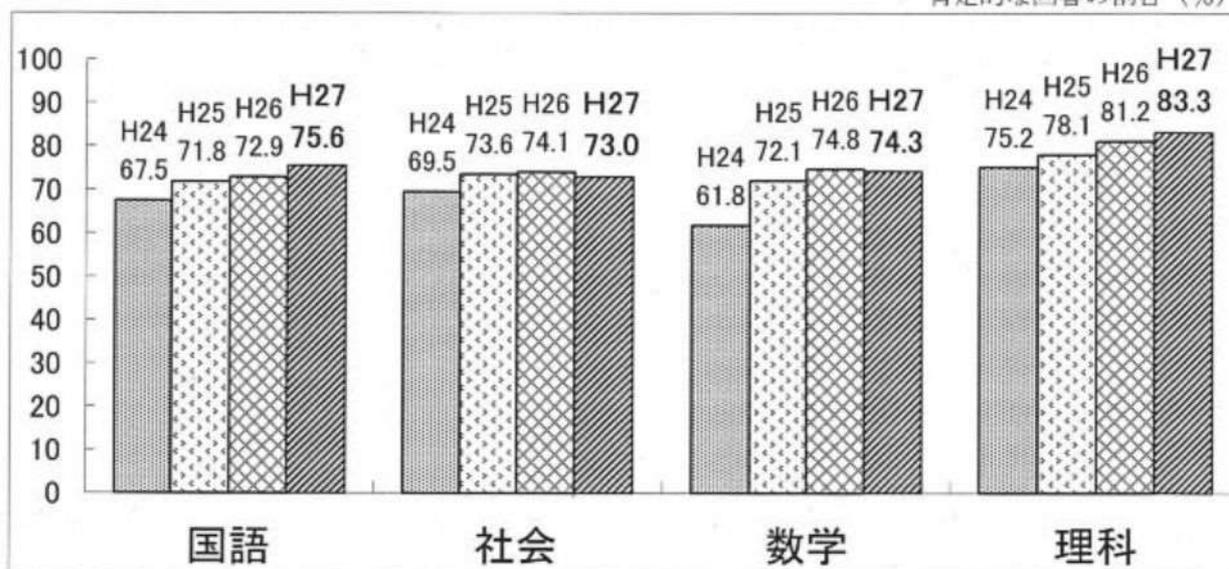
○約束をしていない生徒や、約束しても守れていない生徒の割合が増えていることから、使用方法や使用時間帯について定期的に確認したり、話し合ったりすることが大切である。

(4) 学校での学習について

①教科等に関する意識

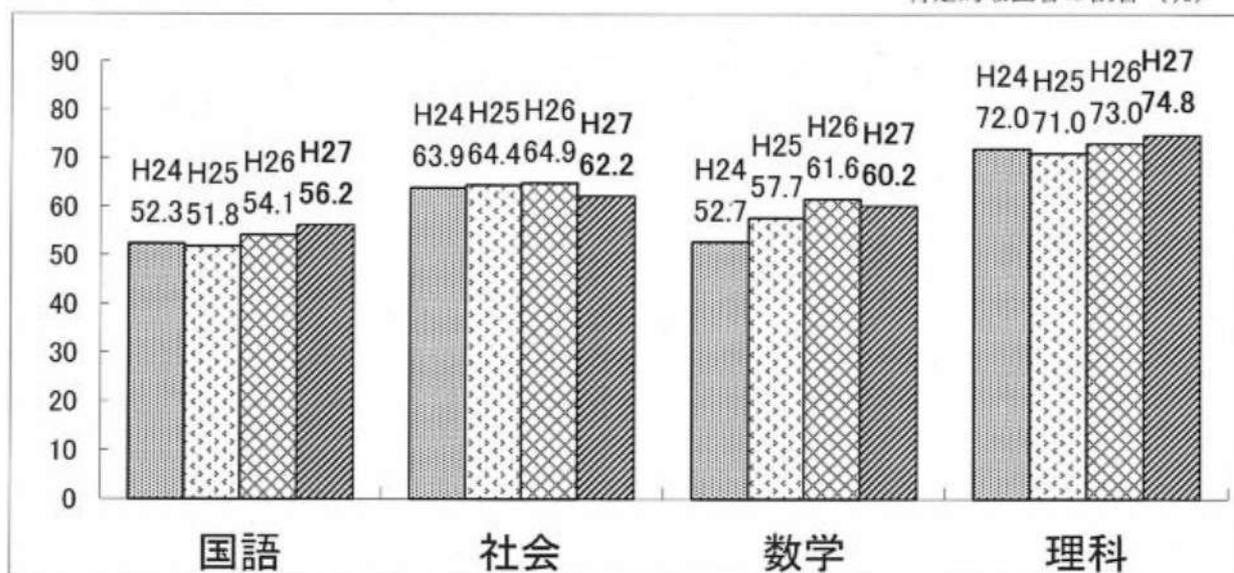
◇授業の内容はよく分かる。

肯定的な回答の割合 (%)



◇教科の勉強は好きだ。

肯定的な回答の割合 (%)



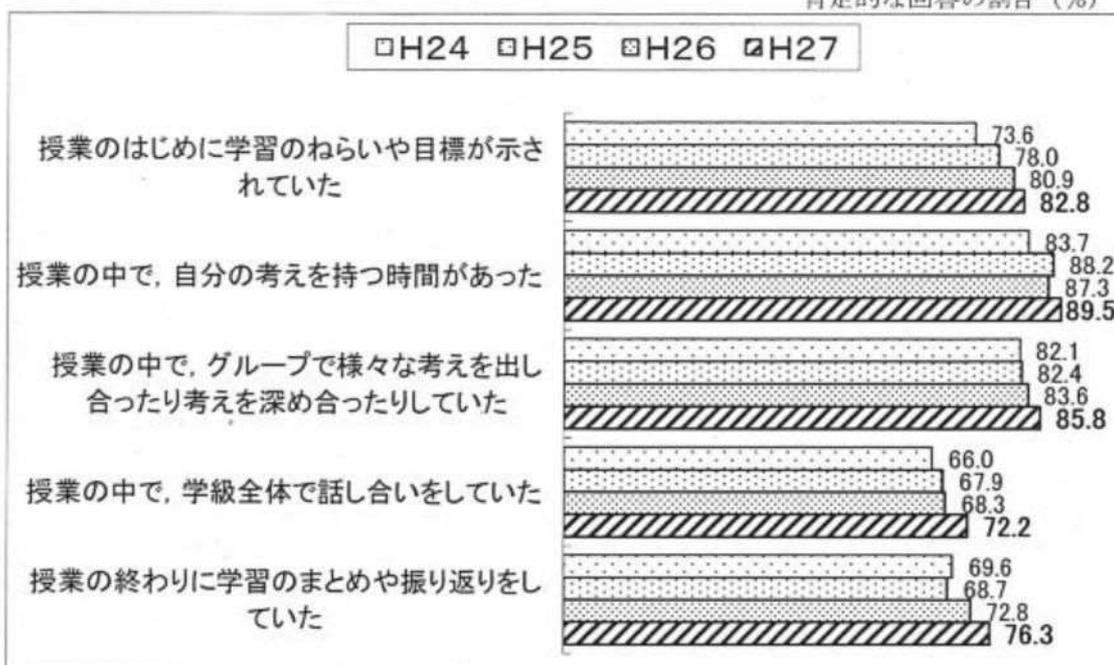
○「授業の内容はよく分かる。」「教科の勉強は好きだ。」の項目については、社会と数学でH26をやや下回っているが、全体的には年々肯定的な回答をした生徒の割合が増えている。

○分かる授業を目指して授業改善に取り組んでいることの結果であると考えられるので、今後もこれらの傾向が続くように授業改善の取組を継続していくことが大切である。

②学校の授業

◇学校の授業では、どのように学習が進められていましたか。

肯定的な回答の割合 (%)



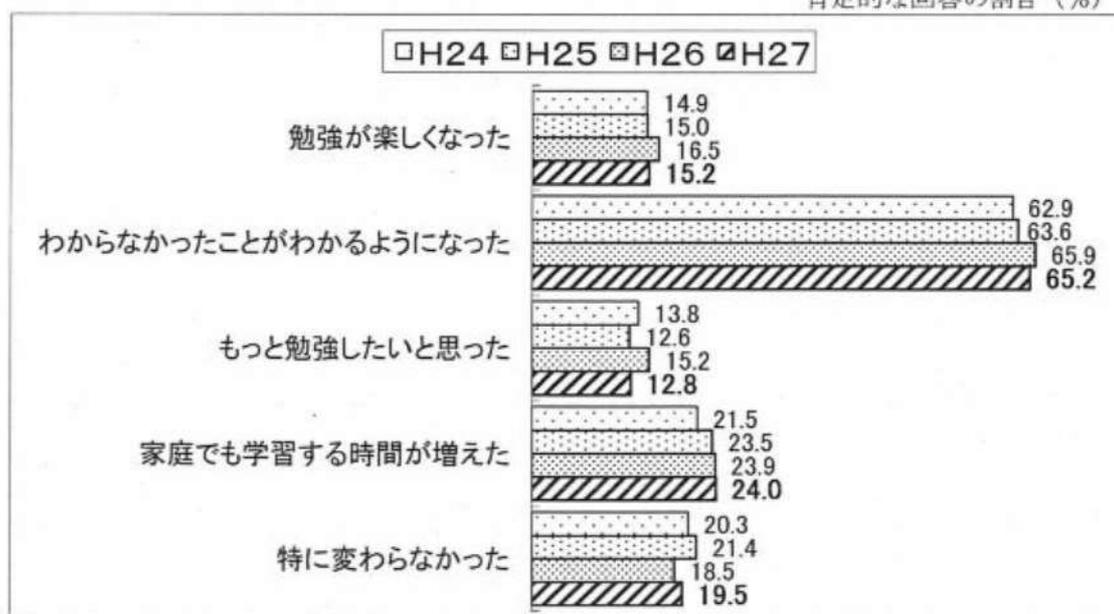
○5つの項目すべてで、肯定的な回答をした生徒の割合が経年比較で最も高くなっており、昨年度配付した「岡山型学習指導のスタンダード」の活用について、各研修会等で市全体に周知し、授業改善に取り組んだ成果が現れていると考えられる。

○しかし、県平均との比較では、5つの項目すべてで下回っており、「ねらいや目標の明示」、「まとめや振り返り」の項目では、それぞれ4ポイント差がある。スタンダードを活用した授業改善を引き続き、周知・継続することが大切である。

(5) その他の学習について

◇放課後や土曜日、夏休みなどで学校の先生や地域の方などと勉強して、どうでしたか。

肯定的な回答の割合 (%)



○その他の学習については、肯定的な回答をした生徒の割合は、H26と比べると全体的にやや減っている。

○授業以外の学習により、分からない学習内容やつまづきが解消されていることから、今後も、放課後・夏休みの補充学習や個別学習等、授業以外の学習の場を工夫して設定することが大切である。

5 総括

(1) 学力調査の結果から【○成果 ●成果及び課題 ●課題】

◆国語について

- 平成26年度の全国学力調査で課題の見られた「一文を二文に分けて書くこと」をはじめ、「主語と述語の関係」「慣用句」に関する問題での改善が見られ、課題克服の取組が進んでいることがわかる。
- 漢字の読みについては、4問すべてが8割を超える正答率になっている。一方書きについては、より下学年で学習した漢字ほど正答率が低くなっている。5年生で学習する「モウける・ヒキいる」の書きでは、無回答率が2割を超えている。
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成やよりよくするための考えや意見を記述する設問において、正答率が低く、無解答率が高い。

◆社会について

- 岡山県の様子(河川、平野、海洋、周辺の県)や自動車生産に関する問題では、正答率が高かったり、県平均を大きく上回ったりしており、身近な事象に関する知識はよく身に付いている。
- 領域別では、地理的分野において、県平均を上回っている一方で、歴史や政治の働きの分野においては、県平均を下回っている。
- グラフ等、資料の読み取りや情報の抽出が必要な設問において、一定の理解が見られるものの、条件に従って答えたり、複数の資料から抽出した情報を根拠にして、既習事項を説明したりする設問に課題が見られる。

◆数学について

- 数量についての技能に関する問題を中心に基礎問題の正答率が高く、県平均との差が小さくなっている。
- 数と計算の領域においては、過去の学力調査と同一、類似の問題が4問出題された。そのすべてが、過去の平均正答率を上回っている。
- 領域別では、図形領域の平均正答率が最も低く(50.8)、県平均との差も最も大きくなっている。(-2.8)
- 必要な情報を読み取り、目的に応じて、数学的に問題を解決し、その方法を説明することについては、課題が見られる。

◆理科について

- ヘチマの実の中に種ができること、暖かくなるときの植物と動物のようす、冬のヒキガエルのようす、方位磁針の名称等、知識・理解に関する基礎的な問題では、概ね正答率が高く、県との差も小さい。
- 設問別に比較してみると、昨年度は最大-4.5ポイントあった県平均との差が今年度は、最大-3.6になっており、つまずきのある生徒が減ってきている。
- グラフを基に、実験結果を科学的な言葉や概念を使って表現する設問、実験結果を示すグラフを分析して、全体の傾向を読み取り数値を用いて説明する設問に課題が見られる。また、観察・実験の結果を基に、自分の考えを数的に処理したり、表現したりする設問においても課題が見られる。

(2) 学習状況調査の結果から【○成果 ●成果及び課題 ●課題】

◆自己意識と生活の様子について

- 友達との関係、自尊感情や規範意識に関する項目について、肯定的な回答をした生徒の割合が、引き続き高い。
- 地域の行事への参加や、新聞やニュースへの関心については、県との差はあるものの、年々少しずつ高まっている。

◆家庭での学習・生活について

- テレビやビデオ、DVDの視聴時間は年々減少する傾向が見られ、中学校区などで統一して取り組んでいるノーメディアデー等の取組の効果が見られる。
- 家庭での学習については、ほとんどの項目で改善が見られる。特に自分で計画を立てている生徒や間違えた問題について勉強している生徒が増えており、家庭学習に進んで取り組む意識が高まっている。
- ゲーム使用時間や携帯電話・スマートフォンでの通話・通信時間は増加傾向にある。携帯電話・スマートフォンの所持率も上昇しており、使用に関する自律的意識を喚起する取組が重要である。

◆学校での学習について

- ねらいや目標の提示、グループ学習の設定、自分の考えをもったり、全体で話し合ったりする時間の確保、まとめや振り返りの実施等で改善が見られ、授業改善が進んでいることがわかる。
- 上記の項目について、本市の経年比較では年々割合が高くなっているものの、県平均とは差がある。教師がより強く「授業ファイブ」を意識し、児童生徒が学び方を自覚するための「振り返り」を大切にした授業が求められる。
- 各教科の学習が分かる・好きと答えた生徒の割合がわずかに減少しているものがある。学習に対する意欲を高める授業が求められる。

◆その他の学習について

- 授業以外の学習（放課後・土曜日・夏休み等）については「わからなかったことがわかるようになった」と回答した生徒の割合が高い。補充学習を通して、学習のつまずきが解消されていることがうかがえる。

(3) 考察

- ◇春休みの課題の類似問題は、高い正答率となっている。学習内容の確実な定着のためには、適切な時期に繰り返し復習することが大切である。
- ◇漢字や計算等の基礎問題は、昨年同様、県の平均正答率を上回る問題が増えており、少人数指導や補充学習等、基礎・基本の定着を目指した取組の成果が見える。今後も基礎基本の定着のための有効な取組を継続しつつ、活用問題を意識した授業のあり方について検討する必要がある。
- ◇家庭学習について学校での指導を受けた割合が増えており、家庭学習の時間も増加している。適切に指導することが、家庭学習の習慣化や、学習内容の確実な定着につながるため、今後も家庭学習に対する指導の充実を図ることが大切である。
- ◇携帯電話・スマートフォンでの通話時間と正答率には相関があることが明らかになっている。携帯電話・スマートフォンの所持率や使用時間が上昇傾向にあることから、使い方について、児童・生徒や保護者への啓発の充実が必要である。
- ◇論理的な思考が求められる問題や、記述問題については、改善がみられるものの、依然として正答率が低い傾向にある。自分の考えやまとめを字数や内容についての条件に当てはめて書いたり、的確な言葉で論理的に説明をしたりする力が身に付く授業が求められる。「岡山型学習指導のスタンダード」で推進している「授業ファイブ」に示されたそれぞれの要素が充実した授業の推進を続けていくことが大切である。

倉敷市の取組 (県の取組を含む)

① 学力・学習状況調査の分析・研修

- 倉敷市教育委員会指導課により調査結果の分析を行い、学力向上研修会や教育課程連絡協議会等において、結果を説明する場を設け、小・中学校の教員が情報の共有をする。

② 授業力アップ支援事業

- 授業の経験が豊富で優れた指導力をもつ退職教員等を授業力アップ支援員として任用し、授業力アップ支援員が指定校の教員に指導方法や教材研究等について指導・助言等の支援を行うことにより、教員の授業力を向上させる。
- 授業力アップ支援事業指定校が、市内の学校の教員を対象に授業を公開し、研究協議会を開催することにより、市内の学校の教員の授業力向上に役立てる。

③ 学力向上支援事業

- 基礎学力の定着や基本的な生活習慣の確立等に支援を必要とする児童生徒に対して、授業時間や放課後等の時間に、教員と連携しながら学習支援員が児童生徒に効果的な個別支援等を行うことにより、基礎学力の定着を図る。

④ 学力・学習状況改善プランの作成及び実施

- 岡山県及び全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校の課題を改善するために「学力・学習状況改善プラン」を作成する。目標を設定し、12月、3月に達成状況の確認を行う。

⑤ 小・中学校の連携による学力向上の取組

- 管理職研修や教員対象の研修会・説明会等において、中学校区で情報交換や取組状況等についてグループ協議を行う。
- 岡山県及び全国学力・学習状況調査の結果を活用し、中学校区の研修会を開催する。
- 中学校区において、行事や公開授業等の機会を通じ、小・中学校が互いの理解・連携を深めるとともに、基本的な生活習慣（学習習慣を含む）等について、具体的取組を行う。

⑥ 確かな学力の基盤となる基本的な生活習慣の確立

- 全国及び岡山県学力・学習状況調査における学習状況調査等の結果を分析するとともに、子どもミーティングを開催し、携帯電話・スマートフォンの使い方について自ら考える機会をつくる。
- 倉敷市PTA連合会及び倉敷市公立幼稚園PTA連合会等、PTAとの連携を深め、働きかけを行う。

⑦ 春休みの課題の作成・配付

- 学年末・学年始休業中に、学習習慣を継続し、基礎・基本の事項を再確認することで、円滑に次学年及び中学校での学習への接続ができるよう、小学校第5・6学年、中学校第1・2学年に春休みの課題を教育委員会が作成・配付する。

⑧ 指導教諭・授業改革協力員による公開授業

- 指導教諭及び授業改革協力員による、所属校での校内研究の企画・運営や各地域に向けた授業公開等により、地域の授業改革の核として、学力向上の取組を推進する。（岡山県事業）

⑨ 学習到達度確認テストの活用

- 各学校に配付されており、県総合教育センターのホームページからも配信されている学習到達度確認テストを活用し、児童生徒の学習到達度を確かめるとともに、学習指導の充実を図る。（岡山県事業）

⑩ 魅力ある授業づくり徹底事業

- 指導主事や退職教員等の積極的な派遣により、授業改善に向けた指導・助言等や校内研修等の支援を継続的に行うことで、教員の授業力向上を図り、児童生徒に確かな学力を育成する授業の実現を図る。（岡山県事業）

⑪ 放課後学習サポート事業

- 小・中学校に支援員を配置し、放課後等に補充的な学習を実施することで、児童・生徒に学習内容の確実な定着を図る。（岡山県事業）

⑫ 学びのチャレンジコンテスト(小学生対象)

- 児童が様々な課題に、個人やグループ、クラスで挑戦することを通して、考える楽しさや解けた喜びを味わうことにより、自ら進んで学ぼうとする意欲やチャレンジ精神の喚起を促す。（岡山県事業）

⑬ 授業改革推進リーダー・推進員の配置

- 地域内の学校を継続的に訪問し、授業改善や校内指導体制への指導・助言を専門的に行う「授業改革推進リーダー・推進員」を配置することで、教員の授業力向上や学校の学力向上の取組を支援するとともに、児童生徒の学力向上を図る。
※推進リーダー2名・推進員8名、本務校・兼務校合わせて市内26校に配置
（岡山県事業）

〈参考資料〉

平成27年度岡山県学力・学習状況調査の調査対象である中学校1年生が、平成26年度に小学校6年生として調査した全国学力・学習状況調査の結果との比較。

※教科は、国語、算数・数学について掲載。

※下記の【県調査】の数値は、県立中学校等に進学した生徒の数値を含むため、当報告書のP3(1)の数値とは差異がある。

教科	国語			算数・数学		
	A問題 【全国調査】	B問題 【全国調査】	【県調査】	A問題 【全国調査】	B問題 【全国調査】	【県調査】
年度	H26		H27	H26		H27
倉敷市平均	71.7	54.9	63.6	77.8	55.6	62.7
岡山県平均	71.4	54.5	62.7	77.8	56.6	63.4
全国平均	72.9	55.5		78.1	58.2	
県との差	+0.3	+0.4	+1.0	0.0	-1.0	-0.7
国との差	-1.2	-0.6		-0.3	-2.6	